（昭和八年十二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

發行人 鈴木 勇　編輯人 橋本賢代治　印刷人 木村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢　郵稅 金十五錢　一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

支那軍匪賊を援けば我軍はこれを膺懲す
陸軍當局きのふ聲明

【東京二十二日發】陸軍當局は談話の形式を以て本日左の聲明をなした

（前略）關東軍はよく自制、隱忍只管事態の平和的解決に努力したるも、何等誠意なき張學良は依然抗日を標榜し錦州を足場として計畫的挑戰的に滿洲の治安攪亂を企圖する以上關東軍の有する使命上自衛權發動も亦已むを得ない、而して匪賊討伐權は國際聯盟においても之を確認した處で、匪賊討伐を徹底する結果はこれを妨害せんとする何ものをも排除するに至るべきは現實に卽した適切なる措置と信ず、萬一錦州附近の支那軍が匪賊を援助して挑戰的態度に出るにおいては、我軍は自衛上完全に之を膺懲す、今や遼西における匪賊討伐のため不幸なる慘事を起すも、全滿洲民の幸福と安寧を招來するものなれば一部の犧牲は已むを得ざる處なり、斯くて天に代り不正不義を打倒する吾人の赤誠も徒勞とならざるべし

關東軍當局談

南滿洲一帶に活躍しつゝある匪賊は逐日猛威を逞うしてゐるが、之を概觀するに南滿鐵道以西、卽ち遼西一帶のものは同線以東のものに比し漸次其數を增加すると共に、これが組織統制もまた日を經るに從ひ整ひつゝあり十一月下旬關東軍が平和的顧念をもつて新民方面より西進するの企圖を自制中止し只管支那側の覺醒を待つて匪勢の衰ふるを期してゐたるが、事豫期に反し、遼西一帶は殘忍兇暴なる義勇軍、別働隊、正規軍、公安隊並に純馬賊等合計十萬强の武裝團の蟠居地帶と化しその勢漸次東進して停止する所を知らず、軍の行動は隱忍に隱忍を重ね、その發動するや規を越えずして今日に及びたるも情況旣に斯くの如くなるに於てなほ忍ぶときは南滿洲の治安は遂に根底より覆されるに至るべきに鑑み、軍は已むなく遼西一帶匪賊の剿滅に着手するに至れり、若しそれわが討匪行爲を妨ぐるもののあるに於てはその何者たるを問はず　これを除去するに寸毫も躊躇するものに非ず【奉天電話】

自警團や土民に變裝集結中の各地匪賊團
わが軍を邀擊の作戰

二十二日朝十時半ごろ獨立守備隊第○大隊は法庫門を距る四キロの地點まで賊軍を掃蕩して追擊したが賊軍はわが威力に恐れ秘かに兵を收めて村落の自警團或は土民に變裝しつゝ續々西方に集結し公太堡に約四〇〇、通江口西方に二一〇〇〇、嘉平に騎馬隊約六〇〇〇騎を集結しつゝわが軍を邀擊せんと計畫中で通江口、法庫門附近で彼我衝突し激戰が行はれるものと想像されて居る【開原電話】

法庫門通江口占據
我軍きのふ正午過ぎに

獨立守備隊第○大隊は二十二日朝七時から進擊を開始し馬關子で二手に岐れ八寶子、家子を經てケイウン塞で主力を結成し三家子、龍王廟を經て二十二日正午過ぎ威風堂々として通江口に入った、而してこの部隊と相呼應し共同戰線裡に行動を開始した第○○旅團は獨立守備隊第○大隊と共に同時刻に法庫門（人口五萬、法庫縣縣所在地）を占據した、賊團は漸次分散部隊を集結して西方に移動し嘉平方面に主力を持し逆襲準備行動を起しつゝある【開原電話】

法庫門方面狀況

法庫門方面を掃蕩進擊中の我獨立守備隊第○大隊は二十二日午後一時半頃法庫門南方に於て大砲を有する數百の敵と遭遇し互に壯烈なる砲火を交へたが我軍は戰死二名負傷者十名を出した、また混成旅團は二十二日正午頃大門嶺（法庫門南方四里）附近に到着攻擊準備中である【開原電話】

通江口方面狀況

通江口方面の兵匪掃蕩のため進軍せる我第○大隊は二十二日午前十時から十一時に亘り龍王廟附近にて數百名の兵匪團と遭遇激戰の後完全に敵を敗走せしめた、敵の遺棄した死體二十餘、馬三十その他馬三十頭を捕獲したこの時東北方から第○大隊の砲擊殷々として聞えてゐるが、右大隊も盛に敵と激戰中と思はれる【開原電話】

各村落で掠奪放火
兵匪が我軍の進擊前に

通江口、法庫門に向け兵匪を掃蕩しつゝ前進中の○○守備隊より東所に入った確實なる情報によれば古城子附近の村落は兵匪のために掠奪、放火されて損害著るしく慘狀は見るものをして面をそむけしめる程の痛々しさで兵匪は各所に密偵網を張りわが軍の進擊に先立つて村落を掠奪、放火して逸早く姿を晦ましわが軍をやり過ごして再び兵を集結しわが軍の後方を襲擊すべく計畫中で討伐軍の苦心は一方ならぬものがある【開原電話】

馬家塞の敗兵を裝甲列車で掃蕩

通江口馬家塞に於て我軍のため擊破せられたる敗殘兵約百五十名は中……

別働隊
開原近郊出沒

固驛の西南方約四キロの地點に兵力を集中し山頭堡附近を北進中との報により森獨立守備隊司令官は二十二日午後八時半第○裝甲列車に出動せしめ兵匪掃蕩を命令した【開原電話】

二十二日午後四時ごろ開原驛を距る東北方約半里の地點に騎馬の兵匪約二、三十名現はれたとの報により獨立守備隊では一個小隊を裝甲列車にて派遣、開原署からも警部補部下十名を率ゐて急行、賊はわが軍の威嚇射擊に驚き逸早く宵暗に紛れて姿を消したがこの賊はわが守備出動の後を襲つて後方攪亂を企てゝ居る別働隊の尖兵と見られわが軍では開原署と協力しこれが搜査中である【開原電話】

六里の開原城內へ森司令官が遠乘り
開原驛內の司令部緊張ぶり

廿二日開原にて　森義夫特派員發

◆…遼西一帶に蟠居する三萬の兵匪討伐を開始した森中將の率ゐる○○守備隊は討伐命令を發すると共に部隊を指揮するに地理的便宜のため二十一日朝司令部を四平街から開原に移動した

◆…特產の輸送に忙殺されてゐる驛構內は司令部附殘留部隊の將士、討伐部隊の指揮に當る司令官以下の幕僚連の往來で非常な活氣を呈し、特產の都は一夜にして戰鬪を畫策する兵隊街と化した

◆…殘雪が皚々として輝く驛前の廣場には、紅白の手旗を持った地上勤務員が連絡機の來るのを待構へてゐる、賊軍掃蕩に進擊する守備隊の前衛として偵察、爆擊の任務に服する長春飛行隊の偵察機はひつきりなしに輝かしい銀翼を寒天に響かせて、第一線から歸來する鮮かな低空飛行で驛樓上百米突の空から豆粒のやうな通信筒が落ちる

◆…驛應接室におかれた司令官室は通信筒と軍用電話の情報で張り切った緊張を見せる、驛事務室には既に司令部に隨つて移動した新聞記者班の十餘名が防寒具姿凛々しく情報を待つ、情報機を擁へた齋藤副官が元氣な顏を現はす「案外敵の逃げ足が早いやうだ、今日は法庫門を拔く筈だよ」と自信ありげに發表する

◆…討伐の師を動かして二日目の二十二日朝九時頃、森司令官は前夜來の疲勞も見せず颯爽な馬上姿で幕僚七、八名を連れて開原城內の視察に向つた、驛から往復六里の城內までの鐵蹄に白雪を踏む三時間の遠乘りにも將軍の胸中には早くも通江口、法庫門を拔き、遼西の兵匪を殲滅する作戰が湧いてゐるのであらう、開原驛に集まった守備隊首腦部の颯爽たる英姿は酷寒の遼西曠野に兵匪と戰ふわが守備隊員の姿を反映して心強い感激が滿ち溢れる【＝寫眞は森司令官】

外國武官を通じて巧みに對日惡宣傳
張學良一派の苦肉策

【奉天特電二十二日發】張學良は山東、山西、西北代表を集めて協議の結果大體北方派の意見が纏まりさうで蔣介石も他日參加するとの內諾を與へた、これに依つて先づ北方地盤を固める基礎とし日本に對しては錦州を死守する事は勿論便衣隊を派遣して日本軍の後方を攪亂する事に依つて日本軍を釣り出し日本軍が先に手を出すやうに仕向け支那軍は已むを得ず應戰するに至つたといふが如き計畫をめぐらし目下盛に實行してゐる、それがため關內の支那正規軍から優秀な便衣隊の指揮者數十名を選拔して各地へ密かに派遣した、一方國際聯盟の失敗を幾分でも取返すために外國武官の關外視察者は出來る限り優待し阿附迎合に努めて支那側に有利な宣傳に利用せんとし殊にドイツ領事に最も巧に取入つてゐるが、英公使ランプソン氏の歸平を待つて錦州地方の現狀視察を乞ひ一流の對日惡宣傳を吹込まんとしてゐる、軍事輸送機關の如きも豐臺に置き天津は通過するだけであつて外國人の耳目を出來るだけ避けてゐる

戰時氣分漲る門司
滿洲出動部隊を歡迎

【門司特電二十二日發】滿洲出動の久留米○○隊○○兵は百武大尉引率二十二日午前八時十三分久留米發同十一時二十分門司驛到着しまた小倉○○○○聯隊及び○○○○○○聯隊○○大隊本部と○○中隊は二十二日午前九時小倉北方兵營を出發、步武堂々と五里の途を徒步で午後零時半門司に着したが沿道市民は堵列して萬歲歡呼見送りたなし殊に門司市は煙火と萬歲に湧き返る賑はひで全市を擧げて……

敗走した兵匪集結今曉飛行機で爆擊

通江口附近で擊破せられた兵匪團は金家屯を去る北方約四邦里の地點に於て主力二千を集結し、我軍を邀擊せんと準備中である、守備隊では○○飛行隊に命令し二十三日拂曉これを爆擊し守備隊を以て一擧に粉碎の豫定である【開原電話】

河北の兵匪を討伐
營口部隊に出動命令

河牛以北の兵匪は我軍隊に敵對行爲益々惡化しつゝあるので○○聯隊が斷然これを討伐することになり二十三日早朝を期して○隊を○○方面に向つて出動せしむることになり二十二日深更出動命令が下つた【營口電話】

彰武方面の鮮農避難
打通線別働隊

打通沿線一帶の各部落は張學良の別働隊の跳梁により何れも掠奪暴行を受けつゝあるが二十一日來彰武方面の鮮農は續々新民へ避難し來りつゝあり、右は同地方にある騎兵第三旅の暴壓甚だしくなれるためであると【奉天電話】

愛犬を連れて渡滿の南前陸相

二十日午後十時四十三分大船驛發列車で東京に直行することゝなつた南前陸相は滿洲軍の慰問かた〴〵滿蒙建設策につき現狀視察の重大使命を帶び愛犬をもつれて渡滿する

熱河の湯氏近く意思表示
奉天に代表を派して
臧氏と共同動作に出でん

熱河の湯玉麟氏に對しては奉天新政府成立前後より代表を特派して投降を勸告してゐるが數日前もまた某特使を承德に派し說伏に努めた結果湯氏も大勢の赴く所を知り不日代表を臧省長の下に派し共同動作を執るべき意思表示をなす筈であると【奉天電話】

宇品港出發
姫路と岡山部隊

【廣島二十二日發】昨日出征兵を送つた宇品港は本日又姫路隊輸送で朝まだきより動搖めき午時零時三十分廣瀨第○師團長は運輸前廣場にて出征兵に訓示激勵し官民の歡迎してゐる、今夜一泊二十三日午前十時から東泰丸、第十一平榮丸の兩船に乘込み午後五時出發○○に向ふ筈、なほ福山○○隊を乘せた宇品丸は二十二日午前四時半關門海峽を通過したが、宇品で○○隊及通信隊、衞生隊を乘せた大華丸は今朝門司入港、又山口○○隊を乘せた中華丸も今朝入港何れも炭水補給後午後三時門司發、鳥取○○隊を乘せた第七平榮丸は二十二日午後四時半關門海峽通過の筈であるが二十三日朝姫路混成○○旅團兵を乘せた吳淞丸も門司で炭水補給同日午後四時發の筈で關門は戰時氣分旺溢してゐる

沸くが如き歡呼裡に姫路部隊は吳淞丸にて午後三時三十分岡山部隊は第十一平榮丸にて午後三時四十分一路目的地に向け出發した

閻、馮兩氏近く會見
北支の時局に重大影響

【北平二十二日發】久しく時局の表面から遠ざかつてゐた馮國祥、閻錫山兩氏は近く太原で會見することゝなつた、右は張繼氏の斡旋に依り會見實現を見るものであるが漸く複雜化した北支時局は兩氏の表面的活動開始と共に一層混沌化せんと見られてゐる

金毓紱氏近く教育廳長後任

前教育廳長金毓紱氏は事變以來引籠り中であつたこの程自由の身となり二十一日の省政府祝賀式にも參列したが近く教育廳長に復活するものと見做されてゐる【奉天電話】

全體會議開會式
中央黨部大禮堂で擧行

【南京二十二日發】第四次執監委員の第一次全體會議開會式は午前九時中央黨部大禮堂に擧行南京、廣東兩派委員に過般辭職した蔣介石、王正廷等も出席した、明日から會議を開く筈である

蔣夫妻奉化へ

【南京二十二日發】蔣介石氏は夫人宋美齡同伴飛行機で鄉里奉化に向つた

大冶附近に共匪來襲
軍艦小鷹警戒

【漢口二十二日發】昨二十一日大冶下流五十支里の澄源溝に共產軍約一千名襲擊大冶を脅かし軍艦小鷹が嚴重警戒してゐる

國際協報を强制閉鎖

【ハルビン特電廿二日發】ハルビン發行の國際協報は張學良より多額の補助を受け常に極端な排日記事を掲載し國交を阻害することと大なるため張景惠氏は再三注意をうながしたるも態度を變ぜざるにより二十日發行停止を內意したるも肯かずして發行を繼續してゐるので二十二日遂に强制的に閉鎖を命じた、晨光報も排日紙であるが二十日發行停止の命令受領後幹部を入替へ今後張景惠氏の機關紙として發行することゝなつた、國際協報の如き極端な誣罔な記事を掲載する新聞は支那においてすら例もない程でその發行を停止するのは已むを得ざる適當の處置でその結果ハルビンにおける日支關係は著るしく改善するものと觀られてゐる

東北艦隊動搖
凌霄以下逮捕

過日來東北艦隊の謀叛說傳へられたが聞く所によれば東北海軍第一艦隊司令凌霄以下の各艦長は最近北支の反張學良派の策謀に應じ全艦隊を率ゐる勞山灣に至り獨立を宣言せんとしたところ沈鴻烈司令は事前にこれを探知し各所の艦隊を勞山灣に急行せしめ凌霄以下を逮捕し青島海軍司令部內に拘禁張學……

新民府で自治委員會を組織

新民府維持委員會は奉天省政府の成立と共に二十一日限り解消し新に自治委員會を組織したが二十三日午後一時より縣署に於て吉屋領事、嵯峨守備大隊長臨席の下に開廳式並に祝賀會を催すが當日は同地日支官民多數參列の筈である【奉天電話】

本庄軍司令官兵器廠等を巡視

本庄關東軍司令官は二十二日朝七時住友副官その他幕僚を隨へ兵器廠、航空隊、馮庸大學跡飛行場及び迫擊砲廠巡視に出掛けた、このため城內は同朝來支那保安隊員及び我兵にて嚴重な警備網が張られた【奉天電話】

東北御救恤金

【東京二十二日發】東北地方の凶作地へ畏くも兩陛下より多額の御救恤金を下賜されたが秩父宮家首め各宮家十三方も弗般來寄々御內議中であつたが廿二日開かるゝ宮家評議會議で打合はせる……

童話　雀と鷄（下）

八木橋ゆじろ

或日でした。夕日が西のお山をもやして居りました。間もなく暗くなるのも忘れて、小雀たちはお屋根の上で歌つたり、はれたりして居りました。そこへ親雀が、あはて丶飛んできました。

「み、み、みなさん」

「な、な、なあに？」

小雀達も、そのたゞならぬ樣子に、親雀のまはりへ集つて小首をのばして、親雀のくちばしが何を言ひ出すかを待ちました。

親雀は、ぐつとつばをのみこむと、胸を押へながら、

「み、み、みんなに、み、み、見せたいことがあるのよ。こつちにおいで」

親雀の飛んでゆく方に子雀たちもついて行つて見ました。

「あ、あれをごらん！」

親雀が指さしました。

「あッ！」

「あッ、こわいッ！」

「あれーつ」

子雀達は、枝からすべり落ちるほど、びつくりしました。

「どうしたんでせうねえ母ちやん あの鷄は」

子雀達は、みな異樣な瞳をして親雀に聽きました。

「まあ、よーく見てゐて……」

親雀は落ちついて言ひました。

雀達が枝から、胸が破裂しさうな驚きで見てゐるそれは何でせう。それは、鷄が人間の爲に殺されて、羽をぬかれてゐたのでした。丈夫な若い人間でした。

たくましい腕が、力のありさうな指先が鷄の體にさはるごとに、ポリツ、ポリツと音をたて丶、やや羽が引きぬかれました。

やや羽がぬかれてゆく跡が、半殿の事が引きぬかれて土の臓が見れるやうに、黄つぽい鳥の肌が見えてきました。

つぶ〳〵の毛穴が、ザラ〳〵してゐます。

「母ちやん、どうしてあんなことをするでせう」

「可哀さうだわ」

「あたし達が、あんな事をされたらどうしよう」

「ほんとにどうしやう」

「こわいよ」

「聞いたゞけでぞつとするわよ」

親雀は、靜かな聲で言ひました

「みんな分つて？人間に飼はれることの不幸が」

子雀達は、だまつてうなづきました。

「追はれて、逃げて、貧乏してそれでこそ幸福つて言つたこと、もう分つたでせう？」

子雀達はまた一せいに小首をうなづかせました。

「ねえ母ちやん、わたし達が自分で餌を探すことの幸福が、今はつきり分りました」

「分つて？ありがと、みんなかしこいよい子！」

「母ちやん、人間があんなにして鷄を殺してどうするの？」

「にたり、燒いたりして食べて了ふの」

「あゝさう？」

「まあ、こわい」

「それで人間が鷄を買つてるの、母ちやん」

「さうです。さ、今夜恐くて眠れなかつたり、恐い夢でも見たりするといけないから、巣にかへりませう」

「歸らう」

「もうこんなに暗くなつちやつたわよ」

雀達は、連れ立つて巣にかへりました。

今まで、むさくるしい巣だと思つてゐた屋根裏の巣も、今夜は御殿のやうな感じがしました。

白い月が、氷のやうな夕暮の空に浮んでゐました（終）

アサヒノボル

中滿しんいち作　河野ひさし画（十六）

㊀コヒハ　八十八ピキノ　コドモタチト　イッショニ　タイチャン　ニ　オゴチサウ　ヲ　ナラベタ

㊁ソノ　ウマイコトツタラ　ホッペタ　ガ　オチサウ　アレモ　コレモ　タベテ　オナカガ　ハチキレサウ

㊂ヤガテ　コヒハ　タイチャン　ニ　マルイ　ベッコウノタマヲ　クレタ　コマッタトキ　ナデロ　トイフ

㊃オモヒドホリ　ニナルト　イフノデ　オトウサン　ノ　キドコロヲ　キカウ　ト　タマヲ　ナデテミ

Xマスの眞の内面的要求を皆さんご存じですか

一般化に伴ひ酒屋の廣告やカフエなど迄に利用される

この頃どこのショーウインドを覗いて見てもクリスマスのデコレーションが美しくかざられて教會やクリスチャンの家庭では指折りかぞへてたのしいクリスマスの宵を待つてゐます、で一體クリスマスといふのは何でせう？いふまでもなくキリストの誕生を祝ふ祭であります

▼▽…**正確に** いへば今年はキリストの誕生から一九三五年目に當ります、ところが何故基督誕生の年を紀元元年とした筈の西暦が一九三一年であるかといひますと今の西暦が定められたのは第六世紀の中頃でこの暦を制定したデオドシユースといふ有名な學者が惜い事に基督傳の研究が不充分であつた爲に四年の誤算をしてしまつたからです、近年日本でもクリスマスが一種の

▼▽…**流行物** となつてラヂオにもクリスマスのプログラムが組まれ一般の家庭にまでクリスマスツリーが飾られ愛と平和のシムボルであるサンタ、クロースのお爺さんまでが酒屋の廣告に使はれて酒樽をかつがされてゐるといふ有樣です、由來我國ではキリスト教の產み出した文明を急速にこれを輸入し乍らその中心を流れるキリスト教はなか〳〵とり入れやうとはしませんでした、ですからクリスマスは輸入してもその眞の内面的要求たる

▼▽…**理解し** てゐるものはきはめて稀です、近年のクリスマスが一般化するにつれて教會内で基督教徒が行ふクリスマスにさへともすれば内面的なその精神を忘れる傾きがあるやうですがクリスチャンとしてこれは充分反省の餘地がありませう、ましてこの神聖なるべき宗教的祭典が俗化して

▼▽…**酒屋の・廣告**やいかゞはしいダンスホールやカフエーにまで利用されるやうになつてはその惡影響は決して小さいものではありますまい、キリストは一九三五年の昔寒い〳〵十二月二十五日の星の美しい夜ユダヤのベツレヘムの馬小舍の中で產聲をあげその搖籃はうまぶねでありました、その兩親は富裕な人ではなくて貧しい勞働者でした、

▼▽…**ユダヤ** の國の戸籍調査の時で近所の村の人たちは皆小さなベツレヘムの邑に集まつてゐました、ベツレヘムの旅館といふ旅館は滿員で人々は血眼になつて宿る所を奪ひ合つてゐました、謙讓なキリストの兩親は自ら他にゆづつて馬小舍に宿つたのです、このやうにキリストは誕生の時からすでに住むべき處がなく幼子としてその受くべき搖籃をさへも持たなかつたのです

▼▽…**私共が** 平常口にする愛といふのは己のみを愛して他を省みないきはめて利己的な「自愛」に過ぎないことが多いのですクリスマスを祝ふ氣持はキリストの兩親のへりくだつたまづしい心に倣つて奪ふ愛から與へる愛への轉化でなければなりません、クリスマスにはプレゼントを贈り合ふ風習がありますがこれも自分を他に與へることを學ぶためで「受くるより與ふるは幸なり」の心の

▼▽…**用意が** なくては折角のプレゼントも何の意味もなしません、今度大連でも婦人團體聯合會が社會事業協會や方面委員會と協力して生活苦に喘ぐ氣の毒な人達の爲にせめてお正月だけでもと同情週間の運動を興してゐますがこの氣持もやはりクリスマスの精神と同じ心に出發するもので社會をより明るくより住みよくするよい企てだと思ひます

子たち向きのXマス料理（上）

樂しませてやるに相應しいでせう

近づいたクリスマスも時局柄一般に質素に行はれませうが、子供を樂しませてやる程度の獻立を次にお傳へいたしませう、これは高價な料理道具なしで出來ます

獻立表

一、チキンブロース
二、ビッグ・イン・ブランケット
三、ベコナイズド・ミートボール
四、ロースト・ターキー
五、クリスマス・キャンドル・サラダ
六、プラムプディング
七、フルーツ
八、コーヒー

チキン・ブロース

▲材料＝鳥肉三斤又は四斤、セロリ二葉、パセリ同右、玉葱一個鹽、胡椒、少量

製法 鳥肉をバラ〳〵にして適宜に水を加へ、強い火にかけ上へ出た泡をよく吸ひ取り、火を弱くして他の品々を全部加へ、四時間か五時間煮込み、篩で漉し良く冷まし、上へ出た脂肪をすくひ取り必要なだけを温めて供します、チキンスープをかなり煮詰め一夜冷藏庫に置きますとヂエリーになります、ヂエリーを供する時はクリームを泡立て丶、鹽、胡椒を加へた物と一緒に供します

ビッグ・イン・ブランケット

製法 大きな蠣二十四個を良く洗つて水を切り、鹽、胡椒を振りかけ薄く切りたるベーコンにて各自に卷き小楊子でおさへ、フライ鍋にて五、六分又はベーコンが燒けるまで燒いて供します

ベコナイズド・ミートボール

▲材料＝ベーコン（薄く切つたもの）四切クラッカー又はブレッドクラムス（パンかクラッカーを細かく碎いた物）カップ一杯熱湯カップ半杯、挽肉一斤、玉子一個、鹽茶匙一杯、胡椒茶匙八分の一、玉葱汁茶匙四分の一、セロリー鹽茶匙四分の一、香料（サイム、セージ、オールスパイス）メリケン粉茶匙二杯

製法 ベーコンを細かく刻み鍋でいためこれにクラムスを加へよく攪きまぜ熱湯を加へ更に攪きまぜ、丼に取り肉と鹽、胡椒、玉葱、セロリー鹽、香料の順序で加へ、玉子を打つて加へよく混ぜボール型に造りメリケン粉をまぶし附け、フライ鍋で燒くか又は脂肪で揚げ、グレヴイを添へて供します、グレヴイは鍋の底に出た汁で造ります、先づ鍋の汁の中に適當のメリケン粉を入れ鹽、胡椒をふりかけドロ〳〵に造ります、右の肉はまた蒲鉾型に造り天火で燒いて供してもよいのです。

オイスター・スタッフィング

▲材料＝ブレッドクラムス（パンを細かく碎いたもの）カップ四杯、バター（溶かしたもの）カップ半杯、牡蠣カップ三杯、牡蠣の汁カップ半杯、玉葱（きざみて）一個分、水又はストック（スープ）カップ一杯、鹽茶匙三杯胡椒茶匙半杯、セージ大匙一杯

製法 バターの中へ調味料、玉葱、水、蠣汁を加へ、ブレッドクラムスを混ぜます、固い時は更に少量の蠣汁を加へ蠣をきざんで加へます

滿日各地版

掠奪放火人質凌辱 學良別働隊の暴虐 公太堡附近の被害

【奉天】張學良の別働隊、兵匪等が公太堡一帶を横行し附近村落を襲撃し掠奪、放火、殘辱、人質等鬼神を泣かしめる慘虐を敢行してゐることは既報の通りであるが五道溝、法哈牛象、朴家窩棚を襲撃せる被害につき調査の結果左の通りである

五道溝

鮮人部落にて郭在根妻金氏（四九）は全身に瀕死の燒傷を負ひ驢馬一頭燒死す、勸業公司小作人大人十四名小人卅三名合計七十七名は家屋なきため親戚その他の家に行かしめ又五間房、孤家子、洪家堡等の農場事務所附近農區に引揚げ空家となてゐる所に收容され公司、領事館警察側から色々厄介となつてゐる

朴家窩棚

朴洪然（五〇）は射殺せられたる後猛火の中に死體を投げこまれ燒却された十戸中燒、九戸全燒一戸九十圓の損害として合計八百十圓

法哈牛象

朴警夙は頭部に瀕死の重傷を負ひその他は全部毆打せらる、同地より賊に拉去された妙齡の婦女子十二名は凌辱せられ鮮人石綀法の息子の妻は臨月の腹を抱へ暴行されんとしたのを拒んだ爲銃にて腹部を滅多打ちにせらる、同地支那側では自警團員中射殺せられたる三名、負傷せるもの三名拉去され凌辱されたる婦女子は廿二名馬、驢馬を合せ十五戸その被害七百廿圓、家財道具五百七十圓、合計千二百九十圓、三戸全燒一戸四十圓として百廿圓、その他掠奪されたるもの一戸平均卅圓として十六戸四百八十圓、支那側家屋燒き拂はれたるもの延數七十軒、一軒百元として七千元家財道具その他を合して十萬元以上に達してゐる

不逞鮮人の一味 馬賊と化す
西豐東豐一帶を荒す

【鐵嶺】從來淸源縣下に本據を構えてゐた不逞鮮人共産黨の一團三十餘名は時局勃發以來全く馬賊と化し最近は西豐縣北大溝に本據を移し西豐一帶から東豐縣橫道河子一帶に亘つて盛んに跳梁し兵匪に虐まれ路頭に迷ふ同胞鮮人に對して飽くなき迫害を加へてゐると

馬賊頭目に朝鮮人夫婦

【遼陽】遼陽縣境李恰們河子一帶には數日前來約三千名の匪賊團現はれ本隊を同地に置き四五隊に別れて各地に掠奪を行つて居るが頭目中には朝鮮人夫婦占東洋及び仁義軍老北風其の他が參加し機關銃、迫擊砲等を所持し長銃實に三千挺と目されて居る

馬賊と結託

【鐵嶺】新臺子東方鄒路居住の馬國福といふ男は去る十一日馬賊と結託して同村自警團本部を襲ひ長銃十五挺を強奪逃走したが大膽にも去る十九日單身歸村して自警團幹部を脅迫し又復長銃一挺づゝを提供せしめたるを村民が知り二十日早朝村民が馬の宅を包圍逮捕せんとしたところ馬は逸早く逃走し

自警團の馬賊

村民追跡の結果隣村楊家臺入口にて發見交戰したるが通行人一名負傷し馬は何れかへ逃走したと

【鐵嶺】開原縣下四臺子の自衞團六十三名は去る十六日團長黄海濤指揮の下に無報酬の自衞團より馬賊となるに如かずと稱して銃器携帶の儘脱走し行方搜査中であつたが此程突如下沙河堡を襲擊し大掠奪を行ひ尙賊團から脱走歸村せる自衞團員三名の家を襲ひ放火逃走せりといふが未だ討伐隊と遭遇せず巧に出沒してゐるやうである

徐文海の一隊

【鳳凰城】徐文海の匪賊團はその後數隊に分れて各地に於て狂暴を恣にして居るがその一隊約七十名は最近盛んに大堡附近を荒し廻つて居るとの情報に接した當地守備隊では二十日未明西川中尉は部下一小隊を率ゐて當地駐在の警察官と共に同地に急行し附近を大搜索せしもさらに賊影を認めず同日午後四時半頃引揚げ歸還したが情報によれば右の徐文海の一隊は十九日午後六時頃達子堡に於て頭目不詳の約三十名よりなる馬賊團と交戰し三名を射殺し二十四名を捕虜として一旦大窪に引揚げ更にまた雙河屯に集中し居る馬賊を討伐する目的で間もなく同地へ向つて進發した模樣であると

鐵道電線切斷

【奉天】廿日午後九時頃柳條溝分遣隊を南方に距る三百米の天理踏切先の電線が何者かに切斷されてゐるのを發見し直に警官隊守備隊が現場に赴き取調べの結果犯人は二人らしく高粱殼二本に麻細繩を卷きつけ九十一號電柱の電線を根元より竊取したもので目下搜査中である

各方面の美擧

義金を寄附

【金州】去る十八日小學校講堂に於て行はれた金州小學校同窓會主催の活動寫眞の會費の純益金二十五圓九十錢（内加世田彌二郎氏から同窓會に寄附したる金五圓を含む）を金州時局後援會を通じて寄附を爲したので、後援會では近く委員會を開き寄贈先を決定すると

小學生の獻金

【鳳凰城】鷄冠山小學校の三年以上の兒童は今回各自思ひ〳〵の品を販賣し、之によつて得た利金を軍隊に獻金すべく、二十日日曜日を利用して健氣にも各戸を訪問し注文をとつてゐたが、この美擧に對して在住民は非常に感激してゐた

兵營で餠搗き

山田一等兵に金一封を贈る

ラヂオを寄附

…湯崗子温泉陸軍療養所に療養中の傷病兵士慰問の爲め二十一日ラヂオ一臺を寄贈した

貧困者に寄附

【奉天】小西門内扇利洋行主上田利一氏は貧困者救濟のため白米十俵、メリヤスシャツ二打、金五十圓を又千代田カフェー及び千成は白米十五俵を何れも奉天署に寄附した

災害地救濟金

【旅順】旅順家政女學校生徒は數日前から日頃習つた優しい手で飴を作りこれを街頭進出して賣上げた合計金七圓二十錢を二十一日正午代表者三名が市役所を訪れ我が母國東北地方の大饑饉救濟金の一部として傳達方を依頼し陰山助役は大に感動された

愛國デーマーク賣上高

【旅順】弁般舉行された青年聯盟旅順支部主催の愛國デーマーク賣上總額は三百八十九圓五十錢、支出額マーク代旗、印刷實費百二十六圓二十一錢にて殘額二百六十三圓五十九錢を軍部へ慰問金二百十三圓五十九錢、警察官へ慰問金五十圓を贈呈した、尙一中高女は各々毎月十錢宛獻金してゐたのでマークは無代提供した

露國婦人の感激
この美しい情形は 他國では見られぬ
嘉村旅團出動の點描

怪盜事件で長春の警戒

歲末と病院

軍隊慰問に藉口 不良團體擡頭す
當局でも取締に腐心

萬事は戰時氣分 門松も影を潜む
例年にない旅順の歲末

入江滿電專務

不景氣故の多忙
安東署保安係の昨今

【安東】金錢貸借の説諭願其他保安關係の事件は毎月安東署に持込まれ多忙を極めてゐるが不況と歲末の昨今は益々増加の傾向を示し…

旅順青年義勇警備隊後援會

滿鐵現業員河北へ派遣

匪賊威嚇射擊

鐵嶺中學校長

奉天施粥開始

鞍山の銘酒

戰死者弔慰金

新年互禮會

長崎縣慰問團

驛員家族避難

遼陽若陸場の附屬建物竣工

海城送電工事

蓋平民會成立

旅順

本年火災件數

兎耳驚目

沿線往來

鳳凰城
スケート大會

鞍山
新年の祝賀式

商協役員會

青訓所修了式

市場休業

遼陽
年賀郵便取扱

瓦房店
年末の郵便局

森修一氏逝く

普蘭店
納骨祠參拜

警察武道納會

金州
小學校學藝會

悲しき煙り

第二の反抗 (110)
三宅やす子　阿部金剛畫

女同志(十四)

SANTE

肺結核の革命的治療藥

醫學博士 藤澤好雄氏創見

臨床大家四十餘博士實驗推奬

「サンテ」を實驗推奬せられたる

臨床諸大家

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山暢昂氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 濱田良輔氏
醫學博士 牛田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 豐田正達氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 渡邊貞作氏
醫學博士 川上理惠氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 高橋三千彥氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 內藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 內田謙益氏
醫學博士 內野淺次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 蘆名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寛氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀費氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂保氏
醫學博士 杉田貞之氏

【イロハ順】

何が故に革命的治療藥と云ふか？

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。勿論、熱が高く、食慾進まず、盜汗甚だしく、下痢を伴ふ、などといふ場合には、患者の疲勞を救ひ、不快感を除く爲めに、此等症狀に對する對症的處置を講ずべきであるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の効を爲さないのである。又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絶滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて、舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上効果あるべしと稱せられたもので、臨床上の効果擧がらず、期待の裏切られるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい効果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せられる所である。

藤澤博士は、その報告書の中に於て、結核に對する自己の信念を述べ、本藥發見の苦心を多大の滿足を以て回顧せられてゐる。

其他四十餘氏の著名なる諸博士が「サンテ」を臨床に應用して、如何にその驚異的偉効を讃嘆して居られるか、如何にその効驗に滿足して居られるか、委しくは各博士の報告書に依つて知る事が出來るが、斯くまでに知名の諸博士が口を揃へて賞讃せらるゝ事は他に全く例のない事である。

◎先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

◎「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、一號（有熱用）、二號（無熱用）、三號（虛弱質用）、の三種がある。これも藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有効に働く事か云ふ迄もない事である。

◎「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用、習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徵としてゐるから、他の藥物と併用する塲合があつても何等妨げないのである。

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管支加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】
「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

【藥價】

種類	一二〇錠	三六〇錠
「サンテ」一號	二円八十錢	八円十錢
「サンテ」二號	二円八十錢	八円十錢
「サンテ」三號	二円五十錢	七円二十錢

◎別に醫家調劑用粉末の用意あり

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核治療劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に

結核藥オンパレード の感がある

位であつて、惱める患者か、あれこれと迷ひわずらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す効力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制限するとか、食慾を進めるとか、咳嗽を抑へるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜藥にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとて、たとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる害がない。その正當に就ての認識が足らず、結核藥と名かつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は、自分自ら

治る希望を捨てた人 と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない害ではあるまいか——

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾、結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理効果を及ぼし根本的治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見ねやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し、而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに

その源を究めずして 單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その効果の手近な證明は、「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

——食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌をとるに至る
——微熱去り、平温となる
——ねあせ止み、夜間安眠する事を得
——胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
——咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
——肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
——ラッセル消失す
——下痢頓挫す

斯くの如き著明な症狀の減退が、「サンテ」の服用後、早きは四五日

おそくも一週間目頃 からメキメキと現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、歩一歩全快への堅實な步みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられ、その効果を賞讃せられてゐる。

單なる症狀の沈靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏効を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ樣作用して忽ち殺菌排毒の効果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ

始めて本當の治癒が そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑か、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又、少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれども其の必要なし）唯一劑のみにて充分各種の効果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せられる所である。

御注文方法

◎御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◎御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用か御便利、前金の御注文には送料を要せず
◎代金引替便ならば御注文主にて送料御負擔の事

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部
振替貯金大阪三五七番

新春雜誌界の花形

(本号特價八十錢 郵稅五錢)

新年五大附錄號

滿蒙生命線の擁護に立つ婦人

本社特派員飛行便

★遼陽の留守宅に多門師團長夫人と語る★不安の長春に長谷部旅團長夫人を訪ふ★北滿の曠野に可憐な乙女の活躍★滿洲を守る婦人(步兵第三旅團一麿大尉夫人瀧本せつ)

一將校の戰地日記

(……く晴れば[illegible]を落して[illegible]の哀愁が廣がつてゆく。私はうなだれて二戰闘を思ふと同時に、荒野の果てに死んだ部下のことを思つて涙を止めることが出來なかつた。悲壯な心よ、戰ひの胸の地の果、チチハルの夜がいとも靜かにやつて來た。富士子よ安心してくれ。俺は生きてゐる。今年の正月はこの雪に埋れて迎へやう。……)

滿洲派遣軍×聯隊附中尉

◎出征兵士慰問の大役を果して……東京日日 根岸 出高女 澤 子

今年から斯うして家庭生活の無駄を省きませう

■日用品の上手な買ひ方■私の實行してゐる小額貯金法……(田中良)■豫算生活による現金買ひのお勸め……(島田房吉)■中產家庭の家計簿公開

(そしてここに浮んだ時間とお金とで、今日に生きる方策と明日に生きる用意とをゆつくり考へませう。)

澁澤榮一傳

白柳秀湖

(明治日本が晴やかな產聲をあげた時、澁澤翁はその產婆にも等しい人でした。以來、進みゆく我が國運の中には、翁の血のにじむやうな大勢力が織り込まれてゐます。今この巨人の終焉に當つて、翁が日本史に描いた一筋の太い線を辿つてその功績を偲ぶことは私共の義務です。)

時事問題の解說……前田多門
誰れにもわかる銀行の話……松村金助
新聞經濟面の見方……芳川徹
經濟封鎖と婦人の覺悟……道野久
經濟封鎖と自給自足……下田將美
實修で特殊な男女共學……特派員
畫人の舞臺……田口掬汀

米國婦人にわれら何を學ぶか……賀川豊彦
嫁姑和合の秘訣……前內相夫人 安達雪子
冬生れの赤坊の育て方……宮川浩
子供の躾け方についての注意……青木誠四郎
變つた婦人の生活探訪 處女を捧ぐる巫女の生活……三條榮

早川雪洲第二世をめぐる愛の三重奏

雪洲と青い眼の名女優との間に生れた混血兒雪夫君をめぐる父性愛と母性愛の痛ましい物語

■猿蟹合戰後日物語・松井翠聲 ■衣服整理十二ヶ月(正月の卷)・山下榮藏
■猿と人とのロマンス・藤澤衞彥 ■(洋裁講座)子供服の作り方實際・牛込ちゑ
■猿廻しのアトモスフエア・堀川與二郎 ■(奥樣大學)醬油と砂糖の使ひ方・一戶伊勢子

創作欄

小說 秘密の信賴……廣津和郎
小說 心中櫛……佐々木味津三
連載小說 鳩笛を吹く女……吉屋信子
小說 怠屈夫人……里見弴
連載小說 焰姬……三上於菟吉
連載小說 スペードの女王……大佛次郎
長篇小說 半處女……丸木砂土
諧謔小說 求婚五十三次……高田保

花形選手の母を訪ふ

リーグの花 早大の至寶 伊達投手の卷 柳川麗子

渡邊崋山と母……笹川臨風
映畫俳優自傳 黑い胡蝶……高田稔
美容小說 第二の誕生……早見君子 草村三四郎
長篇譯小說 四人姉妹……松本惠子
この他料理、手藝、スポーツ、映畫記事滿載

漫畫
浪費癖と貯へ癖……前川千帆
孫悟空物語……水島爾保布
ケンチヤンのお正月……麻生豊
モダン人情百人一首……田中比左良

今月の衞生
子供の齒痛の應急手當……杉山不二
凍瘡ひびあかぎれの豫防と手當……田村一
女教員の冬の衞生……平石貞市
婦人病によく効く溫泉の話……谷口梨花
私の實踐鬪病術……岡戶武平
冷え込みを手輕に癒した體驗……

第一附錄 山脇敏子女史創案 四五歲女兒用外套 着色假縫型紙

(洋裝研究の權威者山脇女史の創案になるもので、絕對に他に類のない獨特の型紙です。在來の印刷したものや、裁ち放しの手數を要し會得に困難な型紙と異つて、これは先づ實物そのまゝの着色が施してある爲め色彩の配合と考へる必要がなく、假縫してあるから、出來上りの形が容易に會得され、如何な初心者にもお手にとればすぐに出來るのが特長です。)

第二附錄 本社編輯部新案 直ぐに役たつ一年中のお料理寶典

(料理の種類は多いが、實際に[illegible]手順の順序に示し、誰方もまごつかなくて出來ます。一流大家二十七先生の四季の代表料理三百餘種と主婦に必要な料理と食事の知識悉く滿載。これだけでも實に[illegible]書です。)

第三附錄 牛込ちゑ先生考案 三四歲兒 胸継ぎ型スモツク・ドレス型紙

(スモツキングをした女兒服は、スマートで實的に愛らしいものです。どなたにも、簡單に手早く出來るのです。そして出來上つた服は、胸のあたりの飾りはとてもシークで、飛びつき度いほど愛らしく外着にはこよなくモダンなものです。)

(一目見れば直ぐ誰にも出來る着色型紙)

第四附錄 本社編輯部案 愛兒のための玩具の選び方與へ方

(よき玩具はよき玩具を選びます。玩具の良否は實に、愛兒の運命を支配するものです。それは、玩具は子供の日常目的であつて、しかも、是れ程大切な玩具が案外にも世間ではなほざりにされ勝です。そこで、男女兒童を各年齡別に應じて、懇切に說いたものが此の附錄です。)

第五附錄 本誌編輯部新案 一家族で樂しめる野球双六

(初春のお目出たいお遊びのうちに、知らず識らずに皆さんを立派な野球通にしてあげようと云ふ「婦人世界」が新春雜誌界に放つたホームラン・ヒツトです。どうぞお年寄りもお子さまも御一家總動員のチームをお作りになり、幾度も幾度もお遊び下さい。時はいま、本當の「野球狂時代」です。)

十六日發行

今すぐ書店へ御申込下さい

東京市芝區愛宕下町一ノ一
振替東京一三三七七番
婦人世界社

安奉線不安に練習生二百名急派

各附屬地の警備充實

相次いで起る安奉線の附屬地襲撃事件に鑑み關東廳警務局ではこの際附屬地の安全を期し警備を充實するため、廿三日午前六時四十分旅順驛發列車で警察官練習所生二百名全部を酒井警部引率の下に奉天及び安奉沿線各地に急派應援することゝなつたなほ練習生は過般九州各縣下及び滿洲で募集され二十日初めて入所したばかりの新入生全部であるが何れも最近まで兵役に服してゐた優秀者である

去る十九日他の警官十名と共に萬歳の聲に送られて奉天驛を發した時の姿が未だ目のあたりに浮かんでゐる、練習所から實社會に出でたばかりの前途有爲の青年を匪賊のために失つたことは警官の責務遂行のためとはいへ氣の毒に堪へぬ、わづかの間でも奉天署になりその元氣な顔を見てゐる私は眞面目な部下を失つた悲しみをしみじみと味はされた、安奉沿線の匪賊の跳梁は極度に達し先日の秋木莊驛の襲撃といひこの高麗門驛の襲撃といひ彼等を一日も早く撲滅し亡き人の靈を慰めてやられねばならぬ【奉天電話】

高麗門の匪賊交戰し逃亡

死傷者を馬車に乘せ

高麗門に出動した高山安東警察署長の一隊は守備兵と協力し匪賊の掃蕩に努めてゐるが二十二日午前九時三十分頃高麗門東方十五支里の地點で約六、七十名の賊團と衝突交戰の結果、賊七、八名を殪したが賊は死傷者を馬車に收容し東方に逃走せり、わが軍には被害なし【安東電話】

立川署長語る

日午後三時安東公會堂において執行されることゝなつた【安東電話】

廳内巡査は遭難當日附で安東署勤務を命ぜられた、藤内巡査遭難について立川署長は部下を失ひ寂しげに語る

故藤内巡査けふ署葬

安東にて執行

二十二日午前三時過ぎ高麗門派出所を襲撃せし匪賊と交戰名譽の戰死を遂げた藤内昇二氏の遺骸は二十二日午前八時五十分着の輕油動車で安東に運ばれ安東署演武場に安置、各方面よりの花環に埋められ香煙縷々として哀愁をそゝつたなほ葬儀は高山安東署長葬儀委員長となり安東署々葬として二十三

皇太后陛下多摩陵御拜

【東京二十二日發】皇太后陛下には二十二日午前十時十五分大宮御所御出門十時半原宿驛御發車にて多摩御陵御參拜あらせられ午後二時五分原宿驛御着にて還啓あらせられた

兵匪討伐軍の懷德縣城入城

滿洲と内地のラヂオ交驩

軍隊在滿人慰問

滿蒙事情の紹介

朔北の滿洲に身を切る樣な酷寒と暴戻飽くなき支那兵匪共と戰ひつゝ治安維持の大任についてゐる派遣將兵並に在滿邦人の消息は新聞映畫等により内地へ紹介され多大の同情と感激とを集めてゐるが内地各放送局ではこれ等軍隊並びに在滿邦人へ呼びかける内地の人々の慰問の辭を直接ラヂオにより聽かせたいと去る十月三十日東京放送局に於て在滿軍隊慰問の夕を催し若槻前首相や南前陸相の慰問の辭その他を放送したのを始めとして十一月二十七日には仙臺放送局同二十九日には東京放送局、同十二月六日には大阪放送局、同十三日には東京放送局、同二十日には名古屋放送局で各在滿軍隊慰問の夕を催し大連放送局中繼により奉天放送局から放送されたが頗る好成績を示したので今後は毎日曜毎に大連中繼で内地各放送局から放送される事になつた尚滿洲に於ても滿洲の事情を直接ラヂオにより内地の人々へ聽かすべく十一月十五日奉天放送局に於て母國への夕を催し大連中繼により本庄關東軍司令官、林奉天總領事、内田滿鐵總裁、松井少佐、尹大尉、池田小佐等が戰況の辭や滿蒙事情、戰況ニュース等を試驗的に放送した處これまた多大の良果を收めたので今後も適時放送して内地人へ滿蒙の事情を紹介し雙互ラヂオを通じて交驩することゝなつた

妻女を射殺

二十二日朝十時半塔灣部落太平昭居住農民金永萬(三〇)方に附近掠奪中の兵匪の一味七、八名侵入、拳銃を擬し金を脅迫し逃れんとする同人の妻を射殺の上大洋十元を強奪逃走した、急報に接し奉天署では署員急行取調べ中【奉天電話】

陣中、時局文庫關東廳でも應援

各團體に趣旨を宣傳

既報、陣中文庫については愈々二十二日から一般の書籍寄贈を受けることゝなり滿鐵社會教育係及び圖書館代表者が同日各方面の團體を訪問諒解を求める處あつたが一方關東廳に於ても右趣旨に贊同し廿二日總務社會主事が滿鐵地方部を訪問、協議の結果州内にあつては關東廳が隅々まで趣旨を徹底させ廣く書籍を集めることゝなつた又奉天圖書館が中心となつて設置される時局文庫についても關東廳圖書館が參加することゝなつた、なほ奉天における圖書館主事會議に出席した中根滿鐵社會教育係主任は廿一日夜歸連したが氏は語る

陣中文庫については全員一致で贊同し大いに努力することになつた、たゞ一言斷つて置きたいのは陣中文庫は圖書館が主體でやるのではなく圖書館は取扱をするので一般の熱誠に俟たねばならぬ幸ひ各團體とも趣旨を諒解してくれ關東廳も大に力を入れてくれるので力強く思つてゐる、時局文庫は既に着手し本年中には第一回分の索引を完成するつもりである【寫眞は宣傳ポスター】

小さき同情を同胞兒童へ

慰問金に手紙を添へ

暴虐なる支那兵匪のために父母兄弟を失ひ或ひは住所を追はれた同情すべきわが同胞の兒童達に對し大連民政署管内各小學校生徒にこの十日より十五日までの間慰問金を醵出し合つたが人員一萬四千百二十名、金額三百六圓三十五錢に達したので左の手紙を添へ二十二日午後二時民政署に持參これが分配給與かたを依頼した、なほ學校別醵金高は左の如くである

▲伏見臺四〇、五六▲朝日一八〇〇▲日本橋一七、七七▲常盤二九、〇〇▲大廣場一七、一〇▲春日一九、七二▲松林八、一三▲南山麓三六、六〇▲嶺前三〇、二〇▲沙河口二一、四四▲大正二六、八八▲聖德七、〇五▲早苗一六、〇四▲下藤一四、二三▲柳樹屯〇、七四▲周水子二、九〇▲計三〇六、三五

手紙文は左の如くである

ミナサンハ　センソウデ　ホンタウニ　ヒドイメニアハレマシタ。マヂメニハタライテキタ　ミナサンノオトウサンヤ　オカアサンハ　ホンタウニ　キノドクデ　ナリマセン。サムイトコロデ　コマツテイラッシャル　ミナサンノコトヲ　カンガヘルト、ジットシテハ　キラレマセン。ワタクシタチハ　アタヽカイ　トコロデネテキマス。ソシテ　ゴハンヲタクサン　イタヾイテキマス。オナジ　ニッポンジン　トシテワタクシタチハ　ミナサンニスマナイキガシマス。ワタクシタチハ　チイサイノデ　ミナサンニ　ミマイニ　ユクコトハ　デキマセン。ワタクシタチハ　オクワシデサンニ　タノンデ　オカネヲ　ミナサンニ　オトヾケイタシマス。コレハ　ワタクシタチト　オモッテクダサイ。サヨナラ。

昭和六年十二月
大連市内各小學校生徒
朝鮮の兄弟姉妹へ

懷德攻擊部隊は大部分引き揚ぐ

兵匪の逃足早くて氣合拔け

十五日長春發、懷德縣の兵匪討伐を決行、十八日同地を占據した〇〇第〇〇中隊及び〇〇守備隊は廿二日早朝懷德發、長春に向け行軍の途に就いたが、その先發として〇〇少尉一名、曹長一名、通譯一名が零時三十分長春着、二十日某方面に出動した〇〇旅團司令部の本隊への受命指揮を乞ふところあつたが、往訪の記者に語る

十五日長春發後、雪の曠野を公主嶺より西北に向け行軍、懷德攻擊は十七日夜から開始、城門城壁を破壞、兵匪の損害も相當あつたが、同夜死傷者を片づけ西方に向け逃走、十八日入城三日間滯在目下小部隊を殘し引揚げた、しかし敵はあまり手應へがなく退却してしまつたので氣合ひぬけがした、引揚げ部隊は懷德より大嶺を經て一路長春へ向つてゐるが二十二日午後五時頃長春着にならうと思つてゐる【長春電話】

津山中學の五年生が血書して激勵文

派遣軍隊指揮官に送る

【岡山二十二日發】岡山縣津山中學五年生二十七名は全員揃つて指を切り血書の激勵文を作つて二十一日渡滿の途についた岡山聯隊の指揮官山本少佐に送つた右は去る十一月津山市を中心に行はれた師團對抗の秋季演習に際し津山中學生徒が山本少佐の指揮を受けたのと同少佐の滿洲事變に關する講話に大いに感激したためである

兒童館の獻金

北公園兒童館は十九日協和會館で、沙河口兒童館は二十日大正小學校で軍隊慰問の爲め募金の爲め募祭りを擧行したが入場料及び寄附金は協和會館で二十七圓八十一錢大正小學校で四十一圓九十四錢合計六十九圓七十五錢となつたのでこの内二十五圓は大連警察署へ四十四圓七十五錢は軍司令部へ夫々獻金の手續きをなした

二外人の義擧

慰問袋を寄贈

廿一日午後當地宮島町居住のギリシャ人洋酒、煙草商ステラ滿洲人フォギャデスの兩氏は軍部副官部に出頭し酷寒と戰ふわが皇軍將士に慰問袋二百個の寄贈を申出でた【奉天電話】

英國飛行家日本飛來

元旦英京出發

【東京二十二日發】イギリス飛行家ジエー・コッチ・チエムバーレン氏は乘組員ローソン氏と同伴明年一月元旦にイギリスを出發日本訪問飛行を試むべく二十二日遞信省に許可を申請して來た使用機はハビラント・モス型飛行機でイギリス出發印度支那經由一月十一日香港出發汕頭に向ひ復州上海經由十二日青島間京城を經て十三日福岡間十四日東京間の豫定である

地震で採石人夫四名が卽死

【熊本二十二日發】二十一日午後三時ごろ八代郡植柳村麥島で採石作業中九州一帶に亙る可なりな地震のため岩石崩潰し作業中の岩本

廿五日擧行の柔劍道試合

京城高商對全大連と中等校選拔紅白試合

滿洲劍友會及び大連講道館有段者會主催、滿洲體育團體聯盟後援の全市中等學校選拔柔劍道紅白試合及び朝鮮高專武道界の雄、京城高等商業柔道劍道部對全大連の對抗柔劍試合は愈々來る二十五日午前十時より大連道場に於て開催するが廿二日兩部役員協議の結果左の如く決定した、なほ柔道は午前十時劍道は午後一時より夫々に開始する　會員諸子ではすでに對戰も決定しその場前では僅かしか配布し得ないから希望者は聯盟加入團體でそれぞれ求められたしと

柔道の部

△大連中等學校選拔紅白試合(審判小谷澄之五段)

紅軍

大將加藤(一中)副將堀部(大商)宮後(一中)村上(大商)海熊(一中)工藤(大商)角田(一中)山口(大商)藤沼(二中)穗科(大商)唐溝(一中)西山(大商)森田(一中)

白軍

深川(大商)濱田(一中)大西(大商)中西(一中)石丸(大商)藤井(一中)先鋒岡村(大商)補缺下島(大商)

大將荒木(二中)副將根來(育成)馬島(二中)城戸(育成)野村(二中)岡藪(育成)河原(二中)蒲地(育成)橫田(二中)長澤(育成)大内(二中)今村(育成)廣瀨(二中)濱島(育成)北條(二中)山本(育成)岡川(二中)富田(育成)伊藤(二中)先鋒山下(育成)補缺河野(育成)

△京城高商對大連道場戰

京城高商		大連道場	
大將	佐野	大將	桑名
二段		二段	
副將	宗	副將	山野
初段		初段	
初段	今田	初段	田村
初段	窪田	初段	野村
段外	渡島	段外	城戸
段外	稻富	段外	毎熊
段外	庄司	段外	藤井
段外	峯島	段外	北條
段外	中山	段外	大野
段外	石山	段外	下島

劍道の部

△大連中等學校選拔紅白試合(審判岡田正美五段　波多江知路五段)

紅軍

大將岩田(一中)副將立花(二中)梁(一中)高見(二中)難波(一中)木下(二中)永島(一中)古川(二中)船田(一中)松本(二中)伊藤(一中)山本(二中)樋口(一中)野村(二中)士屋(一中)櫻庭(二中)栗田(一中)星村(二中)藤原(一中)先鋒林(二中)

白軍

大將溝口(育成)副將原田(大商)橫峰(育成)木村(大商)丸山(育成)丹村(大商)松元(育成)小森(大商)植村(育成)岩本(大商)稻森(育成)土井(大商)勞田(育成)山崎(大商)中園(育成)相川(大商)内海(育成)川原(大商)先鋒久富(育成)

△形之部

大日本帝國劍道形　打太刀　辻丸靜雄五段　仕太刀　柴藤茂巳五段

小野派一刀流五行組太刀　打太刀　高野慶壽五段　仕太刀　中西俊爾五段

心形刀流拔刀法　打太刀　岡田正美五段　仕太刀　波多江知路五段

大森流居合　永淵清次四段

大森流居合　波多江知路五段

△京城高商對大連道場戰(審判小關教政範士、高野茂義範士)

京城高商		大連道場	
大將	田中義治	大將	櫻木四郎
副將二段	朝永三夫	副將二段	關與志雄
二段	樋口武治	二段	安藤昌二
二段	佐野敏夫	二段	加藤一郎
初段	福場清彦	初段	白永清七
初段	田原侃	初段	大森政雄
初段	野田武彦	初段	所崎弘
初段	河野林	一級	溝口初芳
初段	本城辛正	一級	高見泰治
初段	松本和夫	一級	原田隆夫
先鋒初段	西浦隆代	先鋒一級	岩田仁信

戰歿軍馬慰靈祭

廿五日に奉天で擧行

關東學生乘馬協會では今回の滿洲事變に當りわが權益擁護と邦人の生命、財產保護のため寒氣凜烈の間に奮戰し四個月に亙り皇軍に隨ひ空しく戰場に屍をさらした軍馬の隱れたる努力に對しその靈を慰むるため來る二十五日午後二時奉天獸醫場で日本學生馬術協會ほか十四團體の後援で戰歿軍馬慰靈祭を擧行することゝなり當地在鄉軍人聯合會分會で準備中である【奉天電話】

民政署員獻金

大連民政署員は時局に鑑み年末年始の贈答品および忘年會、新年宴會を廢し家庭に於ける諸儀禮も努めて簡素にし以て節約した金員の

同胞へ同情金

在滿朝鮮同胞に對する日本内地鮮人よりの同情は事變以來翕然として集り、現に關東廳地方課扱ひの分だけでも愛知縣相愛會から金五百五十圓、福井縣鮮人有志二十五圓五十錢の送附を受けてゐるが今回又東京深川區の鮮人ルンペン達が組織した在滿朝鮮同胞救援會では本月四日から十三日迄の十日間連日連夜一同街頭救援金を募集して得た金百四十一圓に添へて

これは甚だ少額ですが私等勞働者の眞心として滿洲の奧地に居住し酷寒と不安とに彷徨してゐる人達に分つて下さいそして氣の毒な同胞の人達を見るに忍びず寒風にさらされて街頭募集した私達の氣持をあの人達に傳へて下さい

といふ慰問狀を付けて送つて來た

美髮代値下

大連美髮美容組合では大連署衞生係の慫慂により過般來から値下問題を協議中であつたが、今回左の如く値下げを決定大連署に認可を申請した

▲特等　高島田五十錢、洋髮ウエーブ六十錢、同普通五十錢、丸髷四十錢

▲一等　高島田四十五錢、洋髮ウエーブ五十五錢、同普通四十五錢、丸髷三十五錢

▲二等　高島田四十錢、洋髮ウエーブ五十錢、同普通四十錢、丸髷三十錢

▲三等　高島田、洋髮、丸髷各二十五錢均一

吉三(二五)外三名は卽死岩本光雄(二五)外四名は重傷を負ひ下敷となつた四名は目下發掘作業中である

全國大會へ滿洲代表

工專と鞍中

來年一月二、三、六日の三日間大阪花園球場に於て開催する全國高等專門學校ラグビー大會に滿洲代表チームとして出場する南滿洲工業專門學校ラグビー部藤島主將一行廿名は滿洲ラグビー協會理事安藤武雄氏小松大一マネイヂヤーに又一月三、四、七日の三日間大阪甲子園球場に於て擧行する全國中等學校ラグビー大會滿洲代表として出場する鞍山中學ラグビー部一行十七名は同校三宅渡邊兩教諭に引率され來る廿五日出帆のはるびん丸で遠征することゝなつた、工專宿舍は大阪市道頓堀日本橋南詰三國屋旅館、鞍中は甲子園グランド前スポーツマンホテルである、兩軍のメンバー左の如し

工專軍

▲引率者安藤武雄▲マネイヂヤー小松大一▲選手橫田三次郎、宮崎英藏、松本憲郎、小熊光一、伊東久彌、古野正三、山本彌與吉、松尾强、松木豐美、西山玉司、兒島哲夫、鹿毛博人、藤島司、嘉納敏夫、村里豐、茂木末吉、佐藤甲、藤田管一、綱田進一郎、堀井民比古、所武、藤島進

鞍中軍

▲引率者三宅、渡邊兩教諭▲選手櫻庭一、住吉清、德滿慈娠、大竹一男、永書博達、中村勇、淺野虎龍、池内悅雄、山口登、大竹香、平林宗光、吉田義雄、池田俊彦、宮野告、田

賃餅搗で獻金する

工專學生が

南滿工業專門學校學生一同はこの冬期休業を利用して勞力奉仕によつて獻金を集めやうと廿五、六、七の三日間同校に於て賃餅を搗くことゝなつた先日來全市に亙つてビラを撒布し一般の依賴希望者を募つてゐたが、この企ては一般からも非常に歡迎をうけ廿二日朝までに既に八石以上の申込があつた搗賃は一升に對し八錢五厘で消費組合よりもなほ一錢安であり米は内地糯の上等一升廿七錢の割で、餡餅、胡麻入、餡入、海苔入等も希望に應じなるべく廉價に引受けるさうである、なほ申込は廿三日限りであるが配達希望期日の申込に從つて三十日頃迄には學生がそれぞれ學校の自動車を運轉して各家庭に配達するさ

一部を醵金し酷寒中身命を賭して匪賊討伐に活躍中の出動軍隊および警察官の慰問の資金に充つる事を申合せたさ

食はぬ顏で立ち去うとする外國婦人を事務員が發見大連署に引渡した、右は市内柳町六一番地露人ナタリヤ・パンコビッチ(三七)といひ餘罪多數の見込みである

師走の街に掏摸横行

ロシヤ女萬引

二十二日午前十時ごろ大連郵便局通信事務員福屋一二(二〇)が常盤橋で三號電車から下車の際オーバのポケットに入れてあつた現金三圓九錢入りの蟇口を寄り添ふてゐた支那人がスリ取つたのに氣付き、取押へやうとすると蟇口を電車内に投げ出し信濃町市場内に逃げ込んだので「泥棒々々」と連呼しつゝ追跡、附近の人の應援で漸く取押へ大連署に突き出した、右は奧町四〇番地裕通旅館止宿張鳳亭(三〇)といふスリ常習者で餘罪を取調中、また二十二日午後二時大山通三越吳服店で店員の目を掠め陳列の蟇口二個、靴下二足を萬引、何

西園寺公容體

【清水二十二日發】西園寺公の容體は昨日午後發熱夜に入りて三十八度を超えたが今朝下熱した原因は咽喉部に炎症があるためで今後もなほ相當に發熱を見るかも知れない

満洲事變がわが同胞鮮人に與へた衝動は色々な形になつて現はれてくるが殊に支那側の暴戾な兵匪土匪に血涙をしぼらされた鮮農が我が駐滿軍隊に感謝してゐる有樣は筆紙に盡せない。

……◇……

最近天津から歸つた船客の談によると、在天津の鮮人は今度の滿洲事變は全く萬寶山事件や鮮農壓迫に端を發したもので、皇軍が多大の犠牲を省みず正義の爲に戰つてくれるのは全く我々の爲だと云ふので香椎軍司令官のところへは毎日「何か仕事をさせてくれ」と賴み込んでゐると云ふ。

……◇……

とくに第二回天津事件の際中原公司の最も危險な土嚢築きの裏には、こうした感謝の念に燃えた鮮人の死に身の努力があつたものので更にうれしく感じるのは香椎軍司令官が謝禮の意味で金一封を送つたところ「當然なすべき事をしたのだ」と云つて受取らなかつたと云ふ、斯の如く同胞鮮人の皇國に對する感念が大きな變り方をしてゐるのは事實である【カットは安東驛の記念スタンプ】

曙の鐘（147）

倉田潮　作
河野想多　畫

冬の旅（二）

あけみは人力車からおりて、薄暗い農家の敷居をまたいだ。十疊も敷かるゝだゞ廣い土間が家の右側にあつて、その一番奥のながしもとに紅々と火が燃えてゐた。が、幾度訪れても、返事が無かつた。留守なのかと思つて其の火のあたりをよく見ると、四十五六の袢纏を着た女房が片面を紅く灯の色に染めながら焚木をくべてゐる。農家の人の耳には小さい聲は這入らぬのかと思つて、今度は鋭く、

「もしもし」と叫んだ。「こちらにたえ子さんと云ふ人はをりませんか」

女房は吃驚して、火の前で振り返つた。顔が暗く、ごましほの髮が明るく見えた。彼女はやや暫くあきれてゐたが、長い火箸を持つたまま、あけみの側に歩みよつて

「春木さんは警察によばれて行きやんしただよ。それに、たえ子さんて人は昨日恥しいとか云つて外へ移つて行きやんしただがれ」と答へた。「あんたはハア東京から御越しでござんすかい」

「さうですわ」とあけみは暫く考へこんでゐたが、「で、たえ子さんは何ちらへ移つて行かれたの」

「あんでもハア梨木とか云ふ赤城山のふもとの礦泉だとか溫泉だとか云つてましただよ。とてもハア安くてひとて五十錢であがるさかで、春木さんが別れるときに、「そけへ行つてろ、警察へついがれても直ゆるされべえから、そけへ行つて養生してろ」ちつたもんで……」

「その梨木と云ふのは何處から行くんですの」

「あんでもあしゆう（足尾）鐵道へ乘んだとか云つてたつけが、何處から何う行くもんだかハアちつともわしにあ解んねえだがれえ」

あけみは車夫に聞いたら解るだらうと思つて、一と先づ其の家を辭した。車夫は案の條道順を知つてゐた。こゝからは伊勢崎へ出た方が早いとのことだつた。あけみは殆ど失望を感じなかつた。何處までも追つて行つてやれ――さういふ烈しい氣持で、すぐまた車上の人となつた。

人力車は利根川の岸の雜木林の路を川下に下り初めた。夜が來てゐた。樹をすかして星をちりばめた冬空が薄青く、車夫の吐く息が暗がりに白く見えた。林の絶え間には岸の下に唸つて流れる川水が凄く光つて、反對の側には赤城の山腹に野火が紅い一文字を畫いてゐた。

あけみは夜を恐ろしいとは思はなかつた。

夜氣は冷たかつたがガラスの切口のやうに淸くすんで快よかつた。

足尾鐵道を赤城山驛でおりたのは夜の十時過ぎだつた。驛の前に將棋の駒のやうに散つてゐる寂しい人家は、總て戸をさざして眠つてゐた。驛に戻つて訊くと、梨木まではまだ山路二里あるとのことだつた。あけみは大膽に其の山路をたつた一人で歩いて行かうと思つた。

道は割合にひろく、斷崖の上に切りひらかれてあつた。が、右の深い谷間をのぞくと渡瀨川の溪流が蛇の鱗のやうに光つて流れてゐた。左には杉林が空に高い黒壁を立てかけたやうに見えた。しかしあけみは寂しいとも思はなかつた。落つきはらつて、フエルト草履の歩みをゆつくりと運んで行つた。

道は川と別れると、杉の壁をも捨てゝ、雜木林の中に這入つた。左には細い谷川がせんかんとして流れてゐる。夜更けて出る冬の月が利鎌のやうに梢の梢に引つかゝつて、薄白い煙草の煙に似た雲を切つてゐた。

あけみは淸い山の空氣にますます心が澄んで來るのを覺えた。自然がそつと人間に隱しておいた冬の夜の秘密の中に、一人足を踏こんだやうな神秘的な氣持がした。

と、其の時忍びやかな小さい人の聲が、下の谷川の中からかすかな山彦を伴つて聞えて來た。やゝ驚いて立ち止まつて崖の灌木の間からそつと下をのぞいて見た。銀線の束を投げたやうに月光に輝いた水を櫂切つて、黒い二つの人影が何事をか小聲に語りながら、こつちの岸に近づいて來るのが見えた。近づくと炭燒きの人夫だつた。あけみはその二人から梨木礦泉がすぐ近くに迫つてゐることを聞いた。

新刊紹介

▲毒鼓（十二月號）新樂土の建設（田中智學）國民性と社會的實踐（山川智應）妙法蓮華如來神力品講義（長瀧智大）重大時局と國民の覺悟（星野武男）價五十錢、東京下谷鶯谷天業民報社

▲愛誦（新年號）詩話（三木露風）討篇愚かしき英雄（加藤介春）ほか十篇、我が郷土の謠と傳說（大塚徹）詩壇人國記東海の卷（澁谷榮一）民謠、小曲童謠に水仙の花（生田花世）悲劇 問司恒美）など十二篇、短歌に星を仰ぐ（生田蝶介）谿へ小瀧空明）など（價四十錢、東京市小石川區江戸川町十八交蘭社）

▲實業の滿洲（十二月號）價三十五錢、大連市紀伊町八十五番地滿洲農事協會

▲青泥（第二十一號）價十錢、大連市久方町五大連川柳社

▲東京パツク（新年號）現代日本の國運を賭した大問題たる滿洲事變のその波紋を受けて編輯された東京パックを見るのも面白いだらう 價二十錢、東京府巣鴨町宮下一六六三番地東京パック社

▲報告（創刊號）創刊の辭に、我々は報告すべきものを持つが故に報告する、とある（價三十錢東京市外入新井町本原山一七二番地チップトップ書店）

▲進擊（十二月號）價十五錢、東京市外代々幡町代々木初臺六二一大衆日本社

▲神道の友（一月號）價二十錢、東京市外目黑町下目黑九六四双人社

▲極東評論（第三十卷）價五十錢東京市麹町區內幸町一ノ六極東評論社

けふの放送　大連 JQAK　十二月二十三日

▲午前七時ラヂオ體操

▲午後五時二十八分（內地中繼）

▲家庭電氣講座「電氣治療の効果 各種家庭用保健衞生器具に就て」醫學博士田村春吉（以下大連放送局より六時）

▲ニュース（以下內地中繼六時三十分）

▲座談會「今年の景氣を顧る」（大阪より）東洋紡績株式會社社長阿部房次郎、大阪商船會社專務村田省藏、大阪鐵工所專務倉島幡、大阪商工會議所理事法學博士高柳松一郎、大阪商科大學長法學博士河田嗣郎、三井物産大阪支店長田島繁二、山口銀行常務佐々木駒之助、東京火災保險取締役平生釟三郎（司會者）大阪毎日新聞社經濟部長下田將美（東京より）「來年の景氣は」慶應義塾大學教授向井鹿松、東京商工會議所理事渡邊鐵藏、日本愛國生命保險會社長原邦造、朝日新聞編輯局顧問牧野輝智、王子製紙會社長藤原銀次郎（司會者）中外商業新報社長簗田鉃次郎（以下大連放送局より）

▲合唱（イ）四部合唱サンタルチヤ（ロ）同里祭「山田耕作作」（ハ）三部合唱野ばら「シユーベルト作」滿鐵音樂會、演奏部員

▲職業紹介事項

▲天氣豫報

▲ニュース

少年倶樂部の威容

新年號少年倶樂部は山を守る兄弟（大佛次郎）仰げ榮へ（三上於菟吉）地底の影（野村胡堂）その他新載八篇は皆童讀物として淸新潑剌、附錄は軍艦三笠の大模型、公極探險大双六、熱狂大野球盤、日本一大畵報、少年美談讀本、漫畵愉快文庫を綴じいまゝにしてゐる

キング新年號

正月の家庭讀物として材料精選豐富なる點に於て又安價なる點に於て讀界の王と歌はれるキングは特に紐育の或女優のキッス代收入の慈善會の話や發明王エヂソンの話等社會萬般物知り漫畫讀本の名を縱しいまゝにしてゐる

メンソレータムの美擧

世界的家庭常備藥として有名な同品は今般滿洲軍慰問品として大連關東軍司令部あてに一萬五千個を寄贈した由

滿洲日報
(明治四十年十月二十五日 第三種郵便物認可)

別働隊本據地へ向ひけさ七時進撃を開始
わが部隊の士氣振ふ

廿一日夜高中橋、古城子に假泊した獨立守備第〇大隊は廿二日朝七時を期して通江口方面の匪賊討伐のため進撃を開始し、石佛寺、娘々廟に假泊した第〇及〇〇旅團は廿二日朝七時共同動作の上、法庫門方面に向け進撃中である【開原電話】

(別報)兵匪の夜襲に備へつゝ肌を劈く寒氣の中に一夜を鐵嶺西北方七里老爺廟に宿營した〇〇旅團は二十二日朝六時三十分同地出發いよく別働隊の本據たる〇〇〇へ向つて進撃を開始した、將卒意氣軒昂にて午後二時頃〇〇〇の敵を一擧に殲滅し入城を期してゐる

掃蕩區域二十五邦里
昌圖奉天間に亘る廣範圍

二十一日午後五時守備隊發表＝獨立守備隊第〇大隊は自動車にて奉天より進軍し廿一日夜石佛寺に宿營の筈なほわが軍は目下行動中のもの總〇〇〇名にして賊の掃蕩區域は昌圖奉天間百三十キロ三十五邦里に及ぶ廣範圍である【開原電話】

第〇大隊營口に到着

廿一日午後臨時列車にて營口に到着した〇〇〇〇第〇大隊は同夜民家に分宿した【營口電話】

對日開戰進言
榮臻、馬占山から學良に

【天津二十二日發】榮臻、馬占山から張學良に宛て次の如く對日開戰を進言した

戰機愈々切迫す一日遲れる事はそれだけ日本軍に準備の餘裕を與へるものである、日本軍は皇姑屯で大々的戰備を整へてゐるからこの際卽日對日態度の決定をなし積極的軍事行動開始命令を發せられたし

匪賊掃蕩行動終日繼續

奉天以北滿鐵線以西の三角地帶の匪賊殲滅行動は廿一日終日繼續され匪賊の大部分を西方に驅逐し日沒と共に一旦討伐を中止し逆襲を警戒野營してゐる【奉天電話】

退却する兵匪を追撃

二十一日午後五時守備隊發表＝四平街を二十一日午前七時出發せる第〇大隊は正午慶雲堡に到着せしが兵匪はわが軍の前進を知り西方に遁却しつゝあるをもつて全部隊はこれを追撃しつゝ前進中なり二十一日夜は前双樓臺二道溝(四平街西方六邦里位の地點)に宿營の筈である【開原電話】

常な緊張裡に出發の準備を整へ夜となつてから碎氷船奉天丸およびライターに積込を終へ準備を整へてゐたところ同夜深更に至つて突然出動は取止めとなり積込みの荷物もまた再び元へ卸された【營口電話】

わが驅逐艦二隻今曉秦皇島へ
同方面の形勢惡化し

旅順在港中の十六驅逐隊刈萱、芙蓉の二艦は廿二日出港豫定のところ、同日午前二時秦皇島附近形勢不穩のため急遽緊急呼集を行ひ同四時同方面に向け出港した、また港外碇泊中の軍艦八雲は二十五日大連に廻航される筈のところ中止され旅順碇泊のまゝ待機を命ぜられた

驅逐隊某方面へ

在港第十三驅逐隊吳竹、若竹の二隻は二十日午前八時旅順出港某方面に向つた

各地別働隊が相呼應

開原の西方莊老臺に四百名の匪賊廿一日夕來活動を始めたが更に通江口にも四百名の別働隊あり康平には六千名あり此等匪賊は莊老臺と相呼應せんと策動中である【奉天電話】

河北驛への渡航中止

營口に待機中の第〇〇聯隊は廿二日早朝某重大任務を帶びて河北驛へ渡航の豫定を以て廿一日全部非

支那調査委員決定
委員長にリットン卿

【パリ二十一日發】ジュネーヴよりの報道に依れば聯盟の支那調査委員會は大體左の顏觸で組織される事に決定した

委員長 リットン卿(英前印度總督)
委員 クロノデル將軍(佛軍事評議會委員)
同 シュネー博士(獨前獨領東アフリカ總督)
同 アルドブランヂーニ伯(伊前駐獨大使)
同 ハインズ大佐(米國鐵道專門家)

顧部長の聲明

【南京二十一日發】外交部長顧維鈞氏は本日滿洲は支那に取り缺くべからざる部分であるとの聲明を發したがその中で滿洲は支那の確保に依り隣壁となるが、日本でなら戰爭の搖籃地となならうとの但し右の中には承認を回答せるもの あり又日本にも今のところ正式承認を求めてゐない

民衆が信頼し得る滿洲新政權が必要
釜山にて 南大將語る

【釜山二十二日發】政府と軍部の重大使命を帶び急遽渡滿の軍事參議官前陸相南大將は川添副官帶同滿一年振にて二十二日朝八時關釜連絡船で釜山上陸直に九時十分發特急で北行したが、大將は往訪の記者に左の如く語つた

滿洲問題の軍事行動は既に一段落を遂げなほ錦州政府ありと雖もこれを除けば意とするに足らぬ、只問題は今後の政權問題で今回の事變は滿洲に一つの革命が起つたものでその主義は舊政權の驅逐に在る、故に

舊政權に

關するものは全部山海關内に撤退しなければならぬ、要するに根本原則は獨り日本のみならず支那さいはず諸外國さいはず、完全なる治安維持をなし得る政權を確立してその幸福を圖るに在る、幸ひその後奉天、吉林、齊々哈爾、洮南等各々新政權の一大進展を來し去る九月十八日事變發生以來僅か三ケ月に過ぎざるもこんご舊政權の存在を見ず逐次改編せられつゝある、日本は今の政權が四省獨立であらうが何であらうが論する必要はない、要するに

交渉相手

たる民衆の生活を保障し眞の平和を得る政府であれば良い、若し日本の依賴し得ざる政府が出來るさすればその政府は一日の存在も出來ないさいつて良い、今回の視察は所謂事變後の行政、產業、治安等一般的視察をなし來月九日歸京する豫定であるが、この結果が滿蒙問題を解決するかどうかは諸君の考へにまかす、事變の餘波が北滿より次第に安奉線方面にも及んで來たと聞くが口ばかりで彈もろくに持たぬ支那兵のことだ、大したことはあるまい

學良頻に策謀
英米兩國を救ひの神

【北平廿一日發】張學良は北方各省主席會議を開き又は政務委員會の組織等新に活路を開かんと努めて居るが、一方得意の遠交近攻策を以てイギリスの援助、アメリカの支援を求めんとし、米人顧問ドナルド氏を最近南下せしめ米公使ジョンソン氏と會見せしめて居るが、北平歸來後は英、米を救ひの神とし祭り上げ日本を牽制すべく策謀をめぐらして居る

閻、馮兩氏に出馬懇請
太原市民大會

【北平廿一日發】太原の市民大會は二十日開會され、閻、馮兩氏に出馬を乞ふこと及び新に學生議

沿線警備に關し輿論を喚起
議會出席のためけふ東上の塚本關東長官語る

塚本關東長官は室田秘書官を帶同二十二日出帆ばいかる丸で上京の途に就いた、旅順よりは三浦内務局長、河相外事、日下殖產、有田保安、屋子衞生各課長、安岡檢察官長、櫻井遞信局長等大連より辛島民政署長、小川市長をはじめ各警察署長、滿鐵より松本秘書役が總裁の代理として江口副總裁と共に別れの挨拶を交した甲板上「これで七遍目の船の旅ですよ」と例によつて靜かな口調で語り出す

政變來で又東京の政界の空氣もすつかり變つたらう、自分が辭めるとか、辭めないなんて事は口には出せない、だが出來得べくんば官吏は濫りに更迭したくないものだ、殊に植民地はその感を深くする、わが生命線たる滿洲に問題の渦卷く今日自分として色々考へさせられる、上京の用件は議會に出席の爲で歸るにしても明春の話だ、今も永上署長の報告に接したんだが又安奉線で兵匪の爲わが警察官がやられたらしいが痛ましい限りだ、上京したら滿洲の最近情勢を各方面に知らすと共にこんな方面の事に關しても充分輿論を喚起したいと思ふ、どうだ今日のこのなぎ方は精進の好い故かな、荷物?トランクが三四個だけだ自分の旅行は奉天に行くんでも東京に行くんでも常に荷物はトランク三四個だよ

長官は氣安げに語つたが「太田臺灣總督は仲々腰が強いやうですよ」と水を向けると「そうく却々元氣な樣だね」と輕く笑擊でまぎらした【寫眞は乘船した塚本長官】

滿蒙問題を中心に日露意見を交換
芳澤大使露都に立寄

【ハルビン廿一日發】ロシア側消息によると、新外相に擬せられて居る芳澤大使は歸朝の途ベルリンより飛行機でモスクワへ向ひ同地でロシア側より外相リトヴィノフ氏、同次官カラハン氏、日本側より芳澤大使、駐露廣田大使出席 **滿蒙問題を中心に日露外交官の重大な意見交換が行はれる筈** であるといふ、なほ芳澤大使はモスクワよりハルビン迄列車によりハルビンよりは最近開設されたハルビン奉天間の旅客航路を利用しハルビンより飛行機で奉天へ向ひ歸朝を急ぐさ

政治分會を再設
滿洲問題を交渉
あす全體會議に提案

【南京二十二日發】明日から開かれる全體會議に政治分會再設置案が上程され、北平に設けらるる北方分會は李石曾を主席とし中央、閻、馮、學良各派から四十名の委員を選んで組織する事に内定してゐる而して右政治分會の成立と共に東北政務委員會は解消する事となり滿洲事變の直接交涉も中央が當り東北は中央に接收される譯である

我軍便乘の列車顚覆
昨夕北寧線で

【天津特電二十二日發】二十一日午前十一時天津を出發せる〇〇中尉の指揮せる三十名が乘車せる列車が午後五時頃灤州近くの沙河附近にて支那兵により鐵道が破壞されてゐた爲め同列車が數輛顚覆したるも幸ひに我軍の死傷者なく十時半遲れて無事山海關に到着した

團を武力で彈壓し死傷者を出すに至らしめた省黨部員を銃殺に處すべしとの決議をなした

あす召集日を前に朝野兩黨異常に緊張

【東京二十二日發】第六十議會は二十三日を以て愈々召集されるので民政、政友の朝野二大政黨は二十二日何れも議員總會を開き對議會陣容を整へる事になつた、卽ち政、民兩黨は議會劈頭議長、全院委員長、常任委員長選擧を行ひ攻防兩樣の戰備を爲す譯だが大養内閣は既に議會解散策で進み二十六日の奉答文議事において野黨の出やう如何に依つては年内の解散をも辭せずと腹を決めてゐるので召集日を前に政、民兩黨は異常に緊張してゐる

解散は休會明に
野黨の態度如何で

【東京二十二日發】第六十議會は二十三日召集されるが、議會に直面して成立した大養内閣は與黨の少數に鑑みて議會解散の準備を整ふる必要あり差當り地方長官の大異動を斷行したが更に内務部長、警察部長の更迭も年内に行ふ豫定である、しかし地方長官會議の召集は到底時日を許さぬので來春に持越すことゝなつた、而して政府の年内における對議會策は二十二日與黨の議員總會を開き戰備をなすが久原幹事長は暫く留任せしめることゝなり、年内の議事は議長選擧、常任委員の選擧等で終るが、議長、委員等はいづれも野黨に獨占せられるのも已むを得ない反對黨が年内に政府を窮地に陷いるやうな作戰は殆ど有り得ないから來春休會明けにおける解散、非解散について反對黨の動きを探りこれに善處せば可なりとしてゐる譯である

貿易局存置か

【東京二十二日發】前田商相は政友會の傳統的政策たる產業立國の立前から前内閣の行財整理に依る貿易局廢止案を復活せしむべく決意し近く閣議においてその存置理由を力說強調する事となつた

貴衆兩院各派分野

【東京二十二日發】議會召集を前にして二十一日現在における貴衆兩院各派の分野は左の通りである

院	會派	人數
貴族院	皇族	一六
	研究會	一四八
	火曜會	二八
	公正會	六六
	交友俱樂部	三九
	同和會	四〇
	同成會	二九
	無所屬	三四
	計	四〇〇
	缺員	三
衆議院	民政黨	二四九
	政友會	一七一
	第一控室	二八
	無所屬	二
	計	四五〇
	缺員	一六

九州健兒は明朝門司を出發
御用船平榮丸にて

【久留米二十二日發】風雲愈々急を告ぐる滿洲へ出征の首途を急ぐ九州健兒第〇〇師團精銳進發の日は來た、昨夜は營内における最後の一夜で近親知己との惜別送別宴等にゴッタ返したが、明くれば二十二日初冬の空は冴えくと晴れ渡つてゐる、輜〇〇〇臺と機材器具を積載した貨物軍用列車は夜中既に全部の積み込みを終へ四時門司驛に先送され百武大尉の指揮する將士〇〇名は遙かに宮城を拜し聯隊旗に最後の訣別を告げた後ラッパの音も勇ましく步武堂々と營門を出で驛頭を埋める人の波、旗の波を分けつゝ乘車萬歲々々の動搖めきに送られて午前八時三十一分雄々しくも征途に上つた、斯くて十一時二十分先發の木原師團長以下幕僚に迎へられ門司驛着此處で山本少佐指揮の小倉部隊と合し出征部隊の編成を終へ故國における最後の一夜を明かし明日早曉御用船平榮丸に乘船出發する筈

久留米部隊武運を祈願

【東京二十一日發】出動切迫した久留米第〇〇隊の派遣兵は武運長久を祈るため二十一日朝十一時百武隊長に率ゐられ高良神社に參拜修祓を受け御酒を戴いた、又小倉〇〇派遣兵は終日砲車馬匹の手入をなしたが正午には殘留兵との最後の交驩をなし冷酒を汲み交したが、明二十二日は午前九時營門發練兵場にて木原師團長の訓示を受けて後いよく出征の途に就くことになつた

勞働會議使用者代表
片岡博士に決定

【東京二十二日發】明年開催の第十六回國際勞働會議に出席すべき日本の使用者側代表は關西側から詮衡中の處大阪工業會々長片岡安博士に決定した

全滿日本人代表けさ入京す
午後荒木陸相を訪問

【東京特電二十二日發】全滿日本人聯合會代表奉天上田穣、守田福松、庵谷忱、長春四戸友太郎、安東荒川六平、旅順柳中延太郎、大連仙波久良、田邊敏行、小澤太兵衞氏等は今朝上京、關東廳出張所に挨拶をなして本社東京支社に來訪し午後荒木陸相を訪問した、一行の目的は滿洲四頭政治の弊害を除くため最高統一機關設置の急務、滿洲新政權樹立の必要、この際滿蒙懸案の解決促進運動をなすことにあつて約三週間の間大養首相その他關係各大臣を歷訪、また民間實業團等にも同樣希望を述べ協力を求める筈であると

人事

▲塚本清治氏(關東長官) 二十二日ばいかる丸にて上京
▲室田寅雄氏(同秘書官) 同上
▲佐堂卓雄氏(滿鐵理事) 同上
▲斯波忠三郎博士(滿鐵顧問)同上
▲第十師團管下慰問團狩野育彥氏外八名 同上
▲首藤正壽氏(滿鐵理事) 二十一日夜奉天へ
▲稻葉好延氏(大連基督教青年會總主事) 新任挨拶のため二十二日市内各方面歷訪す

蛇角

顧維鈞、滿洲は支那の確保により平和の墻壁となるといふ、その確保が問題なのだ。

◇

北平政治分會は李石曾を主席とし、中央、閻、馮、學良各派から四十名の委員を出す豫定、豫定はどこまでも豫定。

◇

但此れが成立すると、特殊の東北政權といふものは解消して形が無くなる。

◇

それで東北の外交軍事權は法理上中央に移る、之れも法理上の問題だ。

◇

國際支那調査委員會の日本側參加委員に押されて居る吉田大使はロンドンに居てもトルコに居ても習て北平で代理公使を勤めた人、自分は生涯對支外交をやつて居ると云つて居る人。

◇

芳澤大使歸路露都に立寄る、露國外交官との會見、輕視出來ない

近く發令の陸軍異動

【東京二十二日發】近く發令さるべき參謀總長等の異動に際し參謀次長も更迭することゝなつた、而して異動の内容は嚴秘に附せられてゐるが、その主なる者は次の如く見られてゐる、卽ち閑院元帥宮參謀總長、金谷參謀總長の軍事參議官、臺灣軍司令官眞崎甚三郎中將の參謀次長、第三師團長川島義之中將の教育總監部本部長は動かぬところで臺灣軍司令官には第四師團長阿部信行中將、第三師團長には參謀次長二宮治重中將と豫想される

問題は阿部中將が臺灣軍司令官に廻る場合何人が第四師團長となるかであつて、第九師團長梅田謙吉、第五師團長寺内壽一、第十四師團長松井石根三中將の内誰かゞ廻るか或は二宮中將が第四師團長に廻つて右三中將の一人が第三師團長に廻ることゝなるか未定の如くである、但しいづれの場合においても工兵監若山善太郎中將が師團長に親補されることは確實である

東亞の謎 (156)

國枝史郎
插畫 伊藤順三

戰ひ(七)

五分經つて援兵が來なかつたらもう駄目だと次郎は思つた。駄目は無いと次郎は思つた。

「さあみんな、しつかりしてくれテーブルを抑へろ！障礙物を抑へろ！」

かう次郎は喚きながら、自分から懸命に力一杯に、扉を抑への障礙物へ、ダニのやうに喰らひ付いて、扉をあけさせまいと抑へ付けた。

みんなも一緒になつて抑へ付けた。

しかし扉の開いた隙から、差し出されてゐる丸太ン棒は、だんだんその先を長く出し、だんく扉の隙が廣くなり、其處から鐵捉かの小銃の身が、室の方へ突き出された。

障害物を抑へてゐる女達は、ピッタリ床へ軀を伏せて、顫えながら喘ぎ、喘いだ。

併し遂々扉は開けられた。

テーブルや椅子がひつくり返り、一杯に開けられた戶口から、數十人の蒙古兵達が、雲のやうにムクくと亂入して來た。

叫喚、悲鳴が室を充たし、おびえた女達は室の隅へ、ぼろのやうにかたまつて了つた。

兵を掻き分けて武村傚三が、ピストルを片手に握り乍ら、室の中央へ飛び出して來た。

彼は洋子と小夜子とを認めた。

「こいつだ！この女だ！この二人の女だ！他の奴等には用は無い！この二人の女を擔いで行け！」

かう蒙古語で彼は叫んだ。

併しその時戶外にあたつて、烈しい小銃の一齊射擊が起り、戶口に立つてゐた蒙古兵の中、五人あまりが仆れて死んだ。

すぐに續いて一齊射擊が起こつた。

戶口から室の中へ飛び込んで來た「武村か！」

「あッ、伯……」

「洋子、小夜子さん！次郎君も無事か！……武村、動くな、動くと擊つぞ！」

伯はピストルを突きつけた。

既に以前に武村傚三は、ピストルを手から叩き落されてゐた。

戶外では尙も射擊の音が——伯が率ゐて來た十人の兵が、也速該方の兵の逃げ行く背後を、擊ちすくめてゐる銃の音が、やゝ緩漫に聞えてゐた。

武村はこの時縛られてゐた。

完全に捕虜にされたのである。

× × ×

ダットが籠つてゐる散兵壕に於ける攻防戰もこの頃が、その最も烈しい時であつた。みんなの止めるのを振り切つて、ダットは先頭に立つてゐた。

と、敵の一人の兵が、そのダットの腕を狙つて傑友の肩ごしに射擊した。

ダットはうしろざまに地に仆れた。

「齡か！」

「同志討ちぢやアないのか！」

「いや背後へ廻はられたんだ！」

武村もすつかり膽を奪はれた。

何がどうしたのか解らなくなつた。

洋子も小夜子も見すてゝしまつて一緒になつて逃げ出した。

「おのれ！」

其處へ飛びかゝつた次郎は、背後から武村へ組み付いた。

二三人の女が足へ取り付いた。

伯爵がピストルを片手に握り、

また五六人が床へ仆れた。

大變な混亂が湧き起つた。

也速該の部下達は逃げ出した。

彼等は口々に罵つた。

「どうしたんだ！」

高麗門驛と派出所に今曉匪賊來襲す
藤内巡査と支那人驛員殉職
安奉線の不安募る

二十二日午前三時半頃約百名の匪賊は高麗門驛と同地警官派出所を同時に襲撃し藤内巡査及び支那驛員は即死殉職した、折柄貨物列車が驛構內に入つたため賊は應援隊と思ひ湯山城方面に逃走した、急報により鳳凰城より軍隊警官隊直に急行したが鷄冠山、安東よりも救援隊出動し手分けして目下追跡中【鳳凰城電話】

助役驛員守備兵三名で應戰中貨物列車來る
賊は救援隊と誤認して逃亡

高麗門驛襲撃に關し廿二日午前五時廿五分滿鐵本社に入つた情報によれば二十二日午前三時四十分ごろ約九十名の匪賊高麗門驛及び警官派出所を同時に襲撃し此ため中國人驛手呂芳林（三四）氏は驛舍內て、巡査藤内晃二（二四）氏は派出所入口で何れも即死を遂げた、匪賊襲撃の方法は秋木莊驛の襲撃方法と大體同樣で匪賊は先づ驛舍の東西北の窓を破壞し三方から射撃したので勤務中の是枝助役、今村驛務方は守備兵一名と共に驛舍から應戰中午前三時四十四分第二一一列車が進入して來た、この時匪賊は同列車を應援隊の來たものと考へたゝめか漸次東方山中に退却し 當時守備兵二名驛舍から百米を距る兵舍で休養中であつたが銃撃によつて直に應援驛員と協力交戰した、なほ急報により四時四十五分鳳凰城よりモーターカーにて警官六名、五時四十七分湯山城より第八〇三列車にて兵四名、警官七名、五時二十七分鷄冠山より第二三四列車にて兵二十名、五時四十七分安東より第八〇一列車にて兵二十名、警官二十名が來援した、なほ社宅その他には被害はなかつた

右肺部を射たれて藤内巡査殉職
派出所を守つて奮戰

二十一日夜湯山城驛方面不穩の兆ありしを以て移動警官隊後藤部長は部下二十名の警官を率ゐて湯山城驛を警戒中のところ午前三時三十分多數の匪賊は高麗門驛を二隊に分れ襲撃し來り一隊は驛裏、構內より亂射亂撃を加へたゝめに是枝助役及驛員守備兵一名は直に應戰したが一隊は派出所前方より事務室及び寢室に向け攻撃し來ると共にその一部は表門を破壞し舍內に入り警備中の江上巡查、王巡捕及び休憩中の勝吉、藤内の兩巡查は直に應戰し賊と警官隊との間に猛烈な銃火が交へられ遂に藤内巡查は右肺部に盲貫銃創を受け即死した、駈つけた應援隊は一面山及び高麗城址方面に向つて追撃中である、安東署からは高山署長以下三十名守備隊より〇〇名應援に急行した——寫眞は殉職した藤内巡査が大連で愛甥を抱いて寫した記念撮影と絶筆の署名——【安東電話】

匪賊に襲はれた高麗門驛

本月一日拜命し元氣よく出發
秋木莊驛事件後に高麗門派出所勤務

殉職した晃二氏の令兄藤内昇氏は廿二日午前九時發列車にて急遽現場に赴いたが同氏留守宅市內聖德街二丁目六九を訪へば親友沙河口署勤務瀨口部長等が駈つけ晃二氏夫人と共に後始末に忙殺されてゐるが晃二氏について瀨口部長は語る

晃二君は除隊後一年以上も遊んでゐたので今度警察官に採用された際にも僕の家に飛んで來ていよ〳〵採用されて奧に行くことになつたが官服を着た以上どうせ死ぬるのであるが一發や二發彈丸が當つたところで心臟に當らぬ限り突貫し決して親の名を辱めるやうなことはしないと非常に元氣のよいことを言つてゐたが本人は既に出發する時から死ぬと言ふことを豫感してゐたのではないかと思はれるが昨日勤務先きから來たハガキにも大いに奮闘してゐるから安心して呉れとありこれが最後の手紙となつたがまさかこんな不幸があらうとは夢にも思はなかつた

なほ藤内巡査は大分縣出身本月一日巡査を拜命し十八日奉天署勤務となり偶々安奉線秋木莊襲撃事件のため應援に向ひ高麗門驛派出所勤務となつたばかりで前途ある同氏の殉職は非常に惜まれてゐる

鐵道部長弔電

村上鐵道部長は取敢ず藤内氏の殉職に對し關東廳警務局長、安東警察署長宛左の弔電を發した

高麗門驛において不幸匪賊の襲撃に遭ひ交戰中殉職せられたる警察官藤内氏に對し謹みて御悔み申上ぐ

けさ入營兵の華々しい出發
祝ひの旗でばいかる丸埋まる

入營を祝ふ旗のぼりに船腹なすつかり飾られた廿二日出帆の定期船ばいかる丸は全く入營兵を送る御用船のやうな華々しさだ、岸壁では町內旗や會社の旗がはためき「萬歲、左樣なら、元氣で行つて來い」の掛聲が勇ましい、その新しい希望に燃えて內地各隊に向つた入營兵は野砲五聯隊福本正男君、山砲三聯隊宮崎新三君、重砲大隊堂下繁君、步兵九聯隊西川嘉一君、步兵廿聯隊木持武雄君、步兵三十一聯隊吉田武夫君、四十二聯隊西山伴作君、同四十五聯隊留義則君、同二十三聯隊鈴木秀夫君、同四十五聯隊山下秀完君、同廿聯隊加藤喜一君、同六十五聯隊桑本要君である【寫眞はばいかる丸の出帆】

巡察中交戰し守備兵重傷
昨夕廟子溝附近にて

四平街驛守備隊星中尉の麾下に在る森軍曹は二十一日午後六時兵士二名を連れて警備のため四平街驛をモーターカーにて出發し滿井驛に向つたが途中廟子溝にさしかゝつた際鐵道線路の西側から射撃を受けたので森軍曹は直に停車させてこれに應戰同六時五十分賊を撃退したがこの射撃に遭つて宮城縣名取郡下増田村獨立守備隊第五大隊第四中隊步兵二等兵庄司準作氏は右上膊部に貫通銃創腹部に盲貫銃創を受け昏倒した、直に四平街滿鐵病院に入院したが生命危篤【開原電話】

守備兵を增員
安奉線の全驛に

十八日の秋木莊驛匪賊襲撃事件突發後滿鐵では軍部に對し安奉線の警備兵增員方を請願してゐたが今回いよ〳〵安奉線全部の驛に守備兵を增員することに決定、なほ安奉線の旅客列車に警乘する警官も從來より二倍に增員することゝなつた

急を守備兵に告げ賊彈に斃れた呂驛手

悲壯な殉職をとげた高麗門驛々手呂芳林氏の當時の模樣につき滿鐵に入つた情報によれば同氏は當時宿直として列車監視の任務にあつたとき突如敵の來襲を認めたのでこの由を守備兵に報告に赴き共に匪賊に對し交戰せんとした瞬間空しく賊彈に斃れたのである、なほ氏の殉職に對し滿鐵にては最高の表彰を行ふと同時に取敢ず鐵道部長より弔電を發することゝなつた

次驛の湯山城嚴戒
附近の部落を脅迫中

廿一日午後九時廿分湯山城驛（高麗門驛の次驛）々長から滿鐵々道部宛情報によれば同驛から北方一里十五町の地にある村落の村長方に約百五十名の匪賊押入り、銃器二十挺を明日までに湯山城より持參せよと脅迫した旨同村の商人が密かに通告して來た、その後の情報不明で湯山城では非常警戒中である

祭日と日曜日も爲替貯金取扱ひ
取扱ひ時間は局前に揭示

來る二十五日は大正天皇祭、二十七日は日曜日で郵便局の爲替貯金事務は休日になつてゐるが歲末多忙の際であり特に一般公衆の利便のためそれ〲爲替貯金事務を取扱ふ事になつた、また遼陽では二十八日から三十一日まで奉天局、同青葉町郵便所および鐵嶺局では三十日、三十一日の兩日に瓦房店局では三十一日に何れも一時間宛延伸して五時まで同事務の取扱ひをなす事に決定したがなほ右休日に取扱ふ各局所の時間は區々になつてゐるもそれは各その局所前に揭示する事になつてゐる、因に二十五日爲替貯金を取扱ふ局所は南山麓、薩摩町、信濃町、伏見町、東公園町、常盤町、沙河口、聖德街、沙河口霞町、三十里堡、瓦房店、松樹、蓋平、營口、海城、千山、鞍山、同製鐵所構內、遼陽本町、蘇家屯、撫順、同千金寨、奉天、同驛前、同十間房、同青葉町、鐵嶺、同北五條、昌圖、四平街、范家屯、長春、本溪湖、鷄冠山、安東縣、同六道溝

以上三十六局所で廿七日爲替貯金を取扱ふ局所は左記各局所を除きたる管內全局所である

新臺子、鷄冠山、安東縣旭橋、關東廳構內、甘井子、城子疃、熊岳城、新城子

總會決議の花代値下
認可を申請

大連三業組合の花代値下問題は久しく料理屋、待合側と置屋側との意見衝突から紛糾を續けつゝあつたが、妥協成立せず組合ではさきに總會に於て決議した約束花十本四圓をもつて當局の認可を受けて實施するより外なしと、田中副組合長は廿一日大連署保安係に出頭今日までの經過報告書と共に認可の申請を行つたがこゝまでもつれた總會問題をどう處理するか藤井保安主任の裁斷を注目されてゐる

弔慰、慰問金を市民から募集
國難の犧牲者に贈る

今回の滿洲事變に出動して北滿の各地に轉戰し不幸名譽の戰歿を遂げた帝國軍人ならびに警察官に對しわが大連市民は衷心より敬弔の意を表すると共に戰歿者遺族および傷病者に對し滿腔の同情を寄せてゐるが今回辛島民政署長、小川市長、村井商工會議所會頭は大連滿日兩新聞社の後援を得左記方法を以て全市民から弔慰および慰問金を募集しこれ等國難の犧牲者に對し哀弔慰藉の意を表する事にした

一、弔慰及慰問金額は一人金十錢以上とす
二、募集締切期日は昭和七年一月三十一日とす
三、弔慰及慰問金受付は大連市役所總務課
四、弔慰及慰問金の分配方法は發起人に御一任を乞ふ

英米煙草大罷業
裏面に共產分子策動

【上海二十一日發】當地英米煙草會社職工七千名は今朝十時半から一、工人の言論出版集會罷業の自由 二、米及家賃、病院手當の支給 その他八項の要求を提出し突如大罷業を開始した、罷業團は現在の工會否認のスローガンの下に百名の直接行動隊を煙草工會本部に押掛けしめて強制引繼を行ふと共に武裝糾察隊を組織して罷業團本部を固め不穩の空氣を漲らせてゐるが彼等の背後には十九日成立と共に全國工會の改組を宣言した共產系總工會が動いてゐるので成行重大視されてゐる

興隆店附近の村落掠奪放火

二十一日午後六時頃北寧線興隆店南方大荒地村に約五百名の賊團襲撃し來り村落を片つ端から掠奪を行ひ支那家屋二十個を燒拂ひ逃走した、なほこれら賊團は附近の土匪と合して猛威を振ひ掠奪を擅にしてゐるので同地居住民は續々避難中である【奉天電話】

西園寺公の容體惡化
衰弱し來る

【興津廿二日發】一進一退してゐる西園寺公の病狀は廿一日夜來又復病勢つのり二十二日午前一時四十分名古屋より勝沼博士の來診を求めたが發熱卅八度內外咳嗽頗るはげしく肺炎併發の恐れあるに加へて衰弱の色濃厚に現はれて來たので坐漁莊內は憂色にとざされてゐる

青島から慰問使
三團體の代表

廿二日入港奉天丸で青島の佛教團青島佛教聯合婦人會並に青島婦人會の三團體より慰問使が選ばれ來連した一行は青島新報社久慈寛一氏を團長に細川禪英氏陣川信隆氏それに婦人慰問使として山口富子、小澤タツ、竹田津米子さんが來連した、一行を代表し久慈氏は語る

今度は軍隊慰問も大きな目的ですがむしろ警察官の慰問を主にしたいと思つてゐます、青島市民からも熱誠の獻金をして軍隊へ千五百圓、警察官へ千二百圓持つて來ました、今日すぐ奉天に行き本庄軍司令官に敬意を表し引返して關東廳を訪ひ奉天丸で歸青します、私達と別働隊として天津へも軍隊警察官に千五百圓程慰問使が持つて行きました、第二遣外艦隊へも二千三百五十圓程送りました

伊國首相の令弟慘死
自動車操縱中

【ミラン二十一日發】イタリー首相ムツソリニー氏の令弟アルナルド・ムツソリニー氏は本日自動車操縱中過つて慘死を遂げた、同氏はファシスト系新聞の主筆として令名高かつた人である

天氣豫報　二十三日
北東の風 曇但し驟雪模樣あり

各地溫度

	廿二日午前十一時	廿一日最低
大連	零下三、二	零下六、五
旅順	同三、〇	同六、八
營口	同七、八	同一五、五
奉天	同八、九	同一八、八
長春	同一一、九	同一八、四

けふの小洋相場（九時）　金百圓は一七四圓四〇錢

父是枝定助儀長崎縣愛野村字和川病院に於て病氣療養中の處養生不相叶本月十七日午後六時四十五分死去致候間此段謹告仕候
追て葬儀は來二十三日はるぴん丸にて遺骨到着に付二十五日午後二時途中行列を廢し東本願寺に於て相營可申候

昭和六年十二月二十二日

男 是枝隆
親戚總代 是枝勇定　是枝留平
友人總代 古澤丈一　高橋利作　池田龍吉　伊藤三雄　西山幹治

會葬御禮　山崎啓一

武門血笑記 (4)

下村悦夫作
工藤義正挿畫

謎の行方不明(一)

「おい白井氏、白井、もういゝ加減に起きたらどうだ」

今迄、腕組をしながら、凝つと考へ込んでゐたらしい一人の若侍が、ふと顔を上げて、側の疊の上にごろりと寢たまゝ、ぐうぐう鼾をかいてゐる友達に呼びかけた。

部屋の隅には先程まで、飲んでゐたらしい空の銚子が三四本轉がつてゐる。四邊はもうしんと寢靜まつて、床下で鳴いてゐる蟋蟀の聲が淋しく聞えるばかりである。

「うむぢやないよ、もう眞夜中だぜ、起き給へ」

と、若侍は、いぎたなく寢こけてゐる友達の肩に手をかけても二三度搖すつた。

「あゝ、失禮、失禮……」

と、眼を擦りながら、大きな欠伸をして、むつくりと起き上つた、――白井と呼ばれた若侍

「ほう、陣野氏か、俺はもう、貴公と露木氏が入れ代つたのかと思つてゐた。

「笑談ぢやない、露木が未だ歸らないので、先程から一人で心配してゐるんだ」

陣野と呼ばれた男は、友達の呑氣な樣子に、呆れながらも、むつつりと苦りきつた……。その不走つた端正な目鼻立と、きちんとした身體は、見るからに大身の子弟らしい。彼は池田の藩中で、大目附八百石、陣野長門の次男で、同姓縫馬と呼ぶ若侍であつた。また、その前に座つて、子供のやうな間の延びた廣い額と、眉の薄い、眼の細い、童顔に薄笑ひを浮べてゐる、ずんぐりむつくりとした小男は、同じく同家中で、御徒士組頭百五十石白井作之進の三男、同姓作藥と云ふ若者であつた。いづれも未だ二十の上を餘り出てゐないらしい年格好。

この二人は、同門の露木源之丞と一緒に今宵、劍道の師である藩の指南番鵜飼太郎右衞門から、不思議な命令――各自一人づゝで、兇賊黑兵衞の獄門首を竊して來るやうにと云ひつかつて、籤引の結果、眞先に行つた源之丞の歸りを、刑場に近い城下外れの茶屋の離れ座敷で、待ち合せてゐるのであつた。

「露木氏が行つてから、もうかれこれ一刻餘りにもなるが、此處から荒馬ケ原の刑場までは、たかだか八九町、いくら繪を描くに暇なさつたところで、半刻位の間には歸つて來る筈だ。何か變つた事でもなければよいが――」と、先刻から一人で心配してゐるのだ」

縫馬が氣を變へて話し出すと、作藥も眞顔になつて

「少し變だな」

「若しかすると、我々を出し拔いて、師匠のところへ、眞直に歸つたのではないかとも考へて見たのだが――」

縫島は、何故か、こう言つて、顏の筋肉を一寸緊張させた。

と、それをヂロリと見た作藥は口の邊へ薄笑ひを浮べて

「何故?」

「いや、そんな事はあるまい」

「はつはつ、いくらお梨花どのに會ひたくつても、露木氏はそんな男でない」

「うむ……」

すつぱりと、心の中の何ものかを云ひ當てられたらしく、縫馬が、うろたへ氣味に口を閉ぢると、作藥は笑ひながら刀を引き寄せて

「兎に角、仕置場まで行つて見よう。二人で行つて見れば、何もかも解ることだ」

と、立上りかけた。

キネマと演藝

中央映畫館 開館興行 愈よ明日から

西廣場に新築された中央映畫館は既報の如く廿二日午後一時から開館式を行つたが愈々豫定通り廿三日から開館記念興行として松竹蒲田作品、城田二郎入社第一回作品「青春圖繪」及び市川右太衞門主演「さんど笠」を上映し、松竹映畫封切場として活躍することゝなつた

舞踊生京城へ

かれて傷兵金募集の目的で舞踊行脚に出かける計畫を發表した大連舞踊研究所代表生四名が助教師吉井正子孃引率のもとに廿二日出帆の平安丸で京城に向つた、日程は廿五日書朝鮮軍司令部訪問、並に衞戍病院に傷病兵を慰問し夜七時より鐵道俱樂部に鐵道從事員を慰問、廿六日、廿七日は夜七時より京城日報及本社支局の後援のもとに一般公開、廿八日は學生のため晝間特別公演をなし廿九日夜出發陸路歸連の豫定で選拔された代表生は稻垣滿壽子孃、小野京子孃、倉橋泰子孃、大政喜代子孃の四名で櫛木氏は先發して準備を整へて待つてゐる

河合映畫支社の開設記念映畫會

收入全部を同情週間に寄附 各館解說者贊助出演

峰島一郎氏を支社長として今回開設された河合映畫大連支社では河合映畫の忌憚なき批評を求めて共に同情週間慈善興行大連支社開設披露映畫會に河合映畫時代劇、西山監督、小金井勝主演「村上喜劍」八卷及び現代劇、吉村操監督琴糸路主演「女工」十卷を提供し大連プレイガイド主催にて來る廿八日午後六時半から協和會館にて支社開設第一回映畫會を催し、會場費その他一切の費用は支社にて負擔し當夜の收入全部を擧げて社會事業協會の同情週間に寄附することになつたが、この美擧に贊同し大日活石川天涯、帝國館瀨田流喫、常盤座白藤六郎、中央映畫館式純三の四氏が解說することになり近來にない解說者競演會となり人氣を呼ぶものと期待されてゐる

噂話

素人から映畫界に飛込み帝國館から南座を經て新館建設へと惡戰苦鬪した南信次氏の努力の結晶である中央映畫館が新裝成つてけふ開館式を擧げた▲この日を迎へるまで波瀾萬疊の松竹映畫爭奪戰を乘り切つた氏の手腕が今後に期待される▲出來上つた館は內地の新館を思はすやうな感じで特に道頓堀の朝日座の俤を偲ばすものが多分にある▲また朱塗のシートは先斗町の一現客お踊りのカフエーふくやを思はす好みで支那の映畫館らしいさの惡口を聞くが感じが赤いネオンより上乘の好みである▲また大日活館主が「內地の一流都市の盛場につくつたやうな映畫館だ」と批評してゐるが、これが最もうがつた批評だらう▲また映寫距離が近くてシンプレックスを使つてゐるから映畫效果も期待されていゝだらう

本社特選 新棋戰 (其八)

平手番 香交 五段 ▲齋藤銀次郎
先 四段 △樋口義雄

【圖は三一玉迄の局面】
▲齋藤氏「持駒」金銀銀歩
△樋口氏「持駒」角金銀歩歩歩

△七五角 ▲七七銀
△六九玉 ▲六八銀打
△同 玉 ▲同 銀
△同 飛 ▲三八飛
△六七玉 ▲六六角成
△同 角

【土居八段講評】▲樋口君は攻防兩用の意味を以て七五角と打つたのは良策である▲此時齋藤君は此形では自營の防戰は困難故七七銀と打込み攻勢に努めたのは已むを得ない。

【萩原六段解說】先手の七五角は攻守兩樣の好手で次に四一桂成の先を窺ふものである。後手の七七銀は自玉の受けも利かないから決戰に出たものである。若し敵同銀なら同歩成、同玉、七五角成で優勢となる。先手の六九玉も同銀と取ると七五角を取られる順になるから至當な手である後手六八銀と遁り次に三八飛と打つて強襲したのは中々六ケ敷い變化を含んで順である先手六七玉は五八に合駒しては敵に七七金や又七五歩成の順があつて六ケ敷いから六七玉は輕い手である。後手の六六角は敵同玉なら六八飛成を窺ふもので之れは敵に同角と取らし敵七五角の利き(四一桂成の順)を消す意味に角を犧牲にしたのである。

浪人の群 金子洋文の原作により渡邊邦男監督が日活に復歸した河部五郎の第一回作品として製作したもので相手女優も赤新花形衣田﨑美子である【帝國館大連上映】

正金の弗賣持損失善後措置問題化す

俄然各方面の視聴を集むるに至り 井上前藏相から聲明

【東京二十二日發】正金銀行の弗賣持殘高一億七千萬圓の善後措置問題は俄然各方面の視聽を集めて居るが當の責任者たる井上前藏相は二十一日左の聲明をなした

一、前内閣が正金銀行に莫大なる爲替賣持を行はしめたのは九月イギリスの金本位制停止以來で若し彼の際賣防戰を行はなかつたならば爲替は暴落し夥しき正貨が流出したであらう

一、問題の賣持殘高は其の性質上二つに分けければならぬ、その中一億二千萬圓は解決濟みで未解決分は五千萬圓である

一、若し金輸再禁止が行はれてゐなければ圓資金の手詰りから大口の解合が開始され年内には八千萬圓が解合ひとなつて現送なしで解決する目算が明確であつた

一、然るに問題となつたのは現内閣の金再禁止の遣り方如何が問題となる、即ち現内閣は何等の準備なく行はれた事である

一、自分が正金の損失に關し一札入れてゐると傳へられてゐるがそれは大きな間違ひで自分は飽くまで金本位制を維持すると云ふ事が前提となつてゐるので正金の本質云々は起つて來ない、政府が再禁止を行つたからこそ正金の損失が起つて來た譯である

二、輸入制限

三、不當廉賣防止

四、輸出國の貨幣暴落に依る廉賣

五、關税審議機關の設置

等の各項につき逐條的説明をなしこれに對し高橋藏相は贊成を表明し犬養首相も陳情の趣旨はよく諒解したから關係官廳と熟議してから然るべ

必要の場合は正貨現送か

正金の主張を日銀支持

【東京二十二日發】正金銀行の賣爲替未決濟分一億七千六百萬圓の處置につき一億二千萬圓は預金部所有外貨公債を利用しこれを差引きたる殘額五千萬圓の處置が問題となつてゐる、而して正金は現政府の政策からして正貨現送による決濟は最も好まざるところであるが正金の統制賣については積極の場合正貨現送により決濟するやう井上前藏相より一札を入れてゐるので正金は内閣が代つても必要の場合現送が特許さるべきものであり、政府の政策に依り行つた統制賣の跡始末は當然政府に於てなすべきものであると稱してゐる、これに對し日銀も再禁止は行つても必要の正貨は出されればならぬと正金の主張を支持してゐる

正金の建値發表

現送問題解決せざる限り 年内發表は困難か

【東京二十二日發】政友會内閣出現に依り金輸出再禁止斷行から端なくも正金銀行の弗賣に依る爲替統制に基く資金現送に巨額の不足が暴露し來り、これが不足分を現送するとせば我金本位擁護の立前から金準備を要し、さりとてこれを爲替決濟による早晩爲替慘落は當然免れ難いと觀測され益々重大問題視されてゐるため弗買ひの内外銀行は本月決濟の巨額の圓資調達のため買意慾を示し、相場を崩し其の間隙を利用して圓買埋めの態度に出て居るため今朝米日安と内外呼應して軟化の一途を辿り相場は遂に四十弗臺を割り尙續落模樣である、正金は依然建値を發表せず現送問題解決し今後の對策決定せざる限り年内發表は困難と觀測されてゐる

關税改正の意見書提出

對政府懇談會に實業家側

【東京二十二日發】昨日の政府對實業家の會見で實業家側から過般日本經濟聯盟及び日本工業倶樂部が審議決定したる關税改正意見書を提示陳情した、即ち瀬男は

一、伸縮關税

1931年の大連經濟界を顧る……(4)

預金も回收もダラ〳〵で無風狀態

銀安の貿易不振と低金利時代 金融界に於る影響

本年に おける滿洲の金融狀況を概觀すれば預金及び回收ともダラ〳〵で無風狀態であつた世界的波動を受けることも最も少く過ごしたことを特徴といへば特徴である、銀安による貿易不振と世界的傾向である低金利時代の影響を受けて全年を通じて金銀兩勘定とも預金增加し貸出減少してゐるただ銀勘定貸出は前年に比して增加をみてゐるがさしたることもない、ところが彼の九月二十二日における英國の金本位停止を契機として俄然世界金融界に大波瀾を捲き起し米國首め

我國も 金利引上のやむなきに至り連れて滿洲金融市場もこの波瀾を受けて金利引上に追從することゝなり、内地の金流出による金融硬塞の影響を受るに至つた、その爲めに金勘定は一時内地の金利安のために當地と繋がつくに至つたので流入の傾向にあつた資金が九月下旬より再び内地金利が世界的硬化の趨勢に伴れて來たのでこれ等資金の消化が當地では困難な事情もある爲めに

復歸を 見るに至つた爲め九、十、十一月と續いて金勘定は少しづつ預金減少した、但しこれも十一月に至つて漸く預金が前年同月の八千七百六十三萬九千圓に對して八百二十一萬四千圓減の七千九百四十二萬五千圓の對照を示した位で全年を通じてみれば未だ問題とするに當らない、即ち金勘定において本年十一月までを平均せる預金一月當りは九千四百九十八萬六千圓でこれに對して前年の十二ケ月平均一月當り預金八千五百四十六萬六千圓で本年は五十二萬圓の增加となつてゐる即ち前年に對して一割一分强の增加を示してゐる

金貸出 においては十一月まで平均の一ケ月當り百十五萬二千圓でこれに對し前年十二ケ月平均一ケ月當りは七百十四萬三千圓で五百九十千圓の減少を示してゐる、即ち前年に比して六分二厘弱の減少をしてゐる、銀勘定においても本年十一ケ月平均一月當り九百三十六萬五千圓で之に對し前年十二ケ月平均の一月當り百四十二萬七千圓で、本年は九十三萬六千圓の激增となつてこれを前年に對する率においてみると實に五割一分强の

大激增 である、また貸出においては本年十一月平均一ケ月當り一千百八萬九千圓に對し前年十二月當平均九百十萬七千圓で百八萬二千圓の增加即ち前年に

金輸出の再禁止で大連錢鈔市場は孤立狀態

マバラ筋の獨り舞臺

今秋來、大材料の續起は大連錢鈔市場を大いに振はしてゐるが、日本における金輸出の再禁止は更に此の趨勢を助長したるのみならず遂に大連市場をして注目すべき國際的立場と仕手關係を形成せしむるに至つた、即ち少くとも昨今においては孤立的市場となり、マバラ筋の獨り舞臺となつてゐることである、先づ前者についていへば

日本が 金輸出を禁止するまではその緊密なる取引關係によつて大連市場は上海市場を動かしひいて海外銀塊市場に波及してゐたが、殊に滿洲事變勃興後は斷然世界をリードする有樣であつた然るに禁止後はその取引の活潑さに變りはないが禁止による必然的歸結として米貨を受渡物件として取引する上海市場と絶緣狀態となり主として日本、米國間の爲替を中心として動くに至つた、從つて大連相場と上海や紐育、倫敦、孟買各市場における金銀相場との間には採算不可能となるに伴ひ關係も以前の如く密接さなり大連市場も孤立から脱すであらうが目下のところ日貨排斥は當分停止される見込がつかないのでこの孤立は當分續くであらう、次に大連市場内の仕手關係についていへば相場の波瀾甚だしきため銀行筋も

間接的 となり大連相場が孤立するのは止むを得ないのである、而して上海市場との絶緣狀態は支那における日貨排斥に基づくものであるから日貨排斥が終熄すれば前回の禁止當時の如く上海市場は日支間や日米間の爲替を中心として猛烈なる投機を行ふことは確實である、そこで大連、上海

特產筋 の活躍餘地は甚だしく狹められ上海筋も兩市場が絶緣してゐる關係上繫ぎ商内極めて困難であるから從來當市場の中心的仕手たりしに拘らず禁止後は取引を甚だしく控へてゐる、奧地筋もまた目立つほどには活潑でない、かくて專ら中心的仕手となつてゐるのは地場マバラ筋にしてその勢力は侮るべからざるものがあるが、この情勢は今後も當分續くものとみられる、なほ茲に注目すべきことは大連相場の中心材料となる日米間における爲替變動の原因や影響に關しその地理的關係や廣汎複雜なる性質などにより

支那側 よりは日本側の方がヒント賴に響くため日本人側の方が有利な立場に置かれてゐることである

六十七圓臺に鈔票吹上ぐ

昨年五月以來の高値

當市鈔票は昨後場において新規材料は皆無ながら只管買人氣旺盛なるため前場における殆ど高値止めたる遠期六十三圓五十五錢を二圓近く拔き結局六十五圓十五錢に大引した、而して今朝は日米爲替が二弗安の三十九弗二分の一同第二回入電三十九弗と度を入れたるはかは米日七十五仙高(四十二弗七十五仙)倫敦同事、紐育四分の一安、孟買十六分の五安、上海標金見越しによる買氣は昨日にまさりて激しく遂に遠期六十七圓二十錢まで吹上げ六十六圓八十錢と暖かりに引けた、蓋し昭和五年五月以來の新高値にして金輸出再禁止直後の高値六十四圓二十錢を拔くこと三圓に及び出來高も一千三百九十四萬圓の巨額に上つた、なほ目先觀は一般に先高を見越すも一部

支那側 の撤兵により大方面では錦州問題は

弱材料 なりしも銀先高を懸かりと譽ろ

官銀號近く貸出開始

金融緩和の爲

東三省官銀號にては金融緩和のため外般天津方面で現洋五百萬元を買付けたが去る十八日奉天に到着したのでいよ〳〵近日中に貸出を開始することとなつた【奉天電話】

特產物實收

一千六十餘萬瓲

ハルビン總商會及びロシア側の商工會議所調査によれば北滿における本年度特產物の實收は大體平年作の程度で一千六十餘萬瓲と見られてゐる種類別に示せば左の通りである

品目	作況	數量
大豆	(平年作)	三百萬瓲
小麥	(五分減)	百廿一萬瓲
高粱	(一割減)	百七十三萬瓲
粟及稷	(略平年作)	百六十四萬瓲
玉蜀黍	(平年作)	百十一萬瓲
米	(同)	十一萬瓲
雜穀	(同)	百八十萬五千瓲

佛伊專門家の協議が必要

獨賠償金問題で イタリー回答

【ローマ二十一日發】ドイツ賠償金問題につきイタリー政府は十九日附を以てフランスに回答し佛伊專門家の協議をなす必要を答へた

大納會と初立會

各地取引所

非常の緊張振である

取引所	大納會	初立會
奉天	廿八日前場限	一月四日
安東	同	同
開原	廿九日	同
四平街	廿六日	同
公主嶺	廿九日	同
長春	同	同
大連五品	廿八日	同
同特產	同	同
同錢鈔	廿九日	同

爲替相場更に低下す

【大阪二十二日發】爲替市場は前日來正金の弗賣決濟資金の現送問題が俄然暴露しその成行きは鮮からず悲觀視され、今朝入電米日またこれを反映して暴落を移せるため旁々弗買外銀筋も正金の足元を見透して相場を崩して賣拔けんとするため氣配軟化を辿り相場更に低下し一部に四十弗賣あるも一般は氣配の卅九弗二分一の唱へで銀行間の商談は依然出來なかつた正金建値なしと

十二月中旬發送

朝鮮向粟激增

十二月中旬に於ける四平街發送陸路朝鮮向特產物は鮮價昂騰の結果注文一時減少したが更に政變による米價暴騰のため買注文激增して粟六十三車高粱二車吉豆二車胡麻二車蕎麥一車計七十車となつた

寓塵

◇…長春大賚線及び吉會線竣工の曉には東支鐵道の前途は悲觀すべきものがあると云ふので東支線の滿鐵賣却説が持ち上つてゐる。

◇…長大、吉會兩線が完通すると從來東支線に出廻つてゐた特產物の大部分が長春に集中さるべきことを豫測したからであらう

◇…未だ可能性ある話かどうかは俄に判定出來ないが、もし東支鐵道幹部にそうした肚があるとすれば先見の明ありとも言ふべきであらう。

◇…滿蒙問題も斯うして着々と落着くところに向つて進行しつゝある。

◇…この際擧て大にして内地資本家に滿蒙進出の必要を力說し邦人の經濟的發展を促進することが刻下の急務であらう。

市場電報

銀塊及爲替

棉花

市況(廿二日)

特產

銀高乍ら各品凡調

今朝の定期は銀高なりしも仕係で各品共寄安引尻高を示し調を辿つたが取引高は多量でた

◇定期前場(銀建)

◇現物前場(銀建)

定期喰合高(廿一日)

錢鈔

昨年五月來の新高値に急騰

株式

内地株强調 滿鐵續騰

商品

麻袋强保合 綿糸續騰

銀

豆

糸

株

大阪株式

東京期米

神戸期米

大阪期米

東京株式

大阪綿糸

横濱生糸

大阪棉花

印度麻袋

上海爲替情報

上海標金

手形交換高

爲替相場

奥地市況

各地特產發送高

埠頭在庫貨物

滿洲日報

支那軍匪賊を援けば我軍はこれを膺懲す
陸軍當局きのふ聲明

【東京二十二日發】陸軍當局は談話の形式を以て本日左の聲明をなした

（前略）關東軍はよく自制、隱忍只管事態の平和的解決に努力したるも、何等誠意なき張學良は依然抗日を標榜し錦州を足場として計畫的挑戰的に滿洲の治安攪亂を企圖する以上關東軍の有する使命上自衞的發動も亦已むを得ない、而して匪賊討伐權は國際聯盟においても之を確認した處で、匪賊討伐を徹底する結果はこれを妨害せんとする何ものをも排除するに至るべきは現實に卽した適切なる措置と信ず、萬一錦州附近の支那軍が匪賊を援助して挑戰的態度に出るにおいては、我軍は自衞上完全に之を膺懲す、今や遼西における匪賊討伐のため不幸なる慘事を起すも、全滿洲民の幸福と安寧を招來するものなれば一部の犧牲は已むを得ざる處なり、斯くて天に代り不正不義を打倒する吾人の赤誠も徒勞さならざるべし

自警團や土民に變裝集結中の各地匪賊團
わが軍を邀擊の作戰

二十二日朝十時半ごろ獨立守備隊第〇大隊は法庫門を距る四キロの地點まで賊軍を掃蕩して追擊したが賊軍はわが威力に恐れ秘かに兵を斂めて村落の自警團或は土民に變裝しつゝ續々西方に集結し候太堡に約四〇〇、通江口西方に二一〇〇〇、嘉平に騎馬隊約六〇〇〇騎を行集結しつゝわが軍を邀擊せんと計畫中で通江口、法庫門附近で彼我衝突し激戰が行はれるものと想像されて居る【開原電話】

古城子附近の村落は兵匪のために掠奪、放火されて損害著るしく慘狀は見るものをして面をそむけしめる程の痛々しさで兵匪は各所に密偵網を張りわが軍の進擊に先立つて村落を掠奪、放火して逸早く姿を晦ましわが軍をやり過ごして再び兵を集結しわが軍の後方を襲擊すべく計畫中で討伐軍の苦心は一方ならぬものがある【開原電話】

法庫門通江口占據
我軍きのふ正午過ぎに

獨立守備隊第〇大隊は二十二日朝七時から進擊を開始し馬圈子で二手に岐れ八寶子、家子を經てケイウン臺で主力を結成し三臺子、龍王廟を經て二十二日正午過ぎ威風堂々として通江口に入つた、而してこの部隊と相呼應し共同戰線裡に行動を開始した第〇〇旅團は獨立守備隊第〇大隊と共に同時刻に法庫門（人口五萬、法庫縣廳所在地）を占據した、賊團は漸次分散部隊を集結して西方に移動し嘉平方面に主力を持し邀擊準備行動を起しつゝある【開原電話】

法庫門に出動

鐵嶺駐屯中の〇〇〇〇の一部は廿一日午前六時法庫門の錦州軍別動隊の鐵嶺襲擊に先立ちこれを討滅すべく遼河を越え積雪一尺餘の丘陵を踏破し威武堂々午前九時約三

東北軍錦州に增兵

【天津二十一日發】東北軍は錦州方面の現有部隊のみを以てしては不足なりとし連日正規兵や便衣隊の夜間輸送を行ひ實力の充實に努めつゝあるが更に天津では日本軍恐るゝに足らずとの旗を打振り新兵の募集を行つてゐる、その應募者の大部分は苦力や工人連であるが二個旅を編成し一個旅を錦州に送り他を津浦線に送り同方面の正規兵を錦州に送つてゐる

各村落で掠奪放火
兵匪が我軍の進擊前に

我討伐軍昌圖西方に前進

廿一日午後守備隊司令部發表、獨立守備隊第〇大隊は廿一日午前六時半昌圖に下車西方に向け前進中、匪賊は全部騎馬賊にして二十名乃至五十名位宛に分散し各部落にあり、わが軍はこれを掃蕩しつゝ前進し晝ごろ昌圖の西方に達し飛行機爆擊機掩護のもとに進軍昌圖西方六邦里の高中橋に到着同地に宿營の害わが軍に損害なし【開原電話】

通江口、法庫門に向け兵匪を掃蕩一しつゝ前進中の〇〇守備隊より某一所に入つた確實なる情報によれば

六里の開原城內へ
森司令官が遠乘り
開原驛內の司令部緊張ぶり

廿二日開原にて　森義夫特派員發

◆…遼西一帶に蟠居する三萬の兵匪討伐を開始した森中將の率ゐる〇〇守備隊は討伐命令を發すると共に部隊を指揮するに地理的便宜のため二十一日朝司令部を四平街から開原に移動した

◆…特產の輸送に忙殺されてゐる驛構內は司令部附屬の部隊の將士、討伐部隊の指揮に當る司令官以下の幕僚連の往來で非常な活氣を呈し、特產の都は一夜にして戰鬪を畫策する兵隊街と化した

◆…殘雪が皚々として輝く驛前の廣場には、紅白の手旗を持つた地上勤務員が連絡機の來るのを待構へてゐる、賊軍掃蕩に邀擊する守備隊の前衞として偵察、爆擊の任務に服する長春飛行隊の偵察機はひつきりなしに輝かしい銀翼を寒天に響かせて、第一線から歸來する鮮かな低空飛行で驛樓上百米の空から豆粒のやうな通信筒が落ちる

◆…驛應接室におかれた司令官室は通信筒と軍用電話の情報で張り切つた緊張を見せる、驛事務室には既に司令部に隨つて移動した新聞記者班の十餘名が防寒具姿凜々しく情報を待つ、情報機を携へた齋藤副官が元氣な顏を現はす、「案外敵の逃げ足が早いやうだ、今日は法庫門を拔く筈だよ」と自信ありげに發表する

◆…討伐の師を動かして二日目の二十二日朝九時頃、森司令官は前夜來の疲勞も見せず豐な馬上姿で幕僚七、八名を連れて開原城內の視察に向つた、驛から往復六里の城內までの鐵蹄に白雪を踏む三時間の遠乘りにも將軍の胸中には早くも通江口、法庫門を拔き、遼西の兵匪を殲滅する作戰が湧いてゐるのであらう、開原驛に集まつた守備隊首腦部の颯爽たる英姿は酷寒の遼西曠野に兵匪と戰ふわが守備隊員の姿を反映して心強い感激が滿ち溢れる【＝寫眞は森司令官開原電話】

司令部を四平街へ

遼西一帶に蟠居し治安を亂す兵匪討伐を命令した獨立守備隊は部隊を指揮する地理上の便宜のため廿一日午前十一時四十六分で森司令官以下司令部は四平街に來り停車場に司令部を置いた【開原電話】

『三千萬民衆のため』
多門第二師團長語る

多門第二師團長は廿一日午前十一時廿分着列車にて着奉軍司令部に本庄軍司令官を訪問し重要協議をなし直に駐奉步兵第廿九聯隊を訪ひ將卒を激勵して同日午後三時廿五分發急行にて北行したが多門師團長は駐奉部隊で語る

匪賊の跳梁は極度に達しこのまゝ推移せば在滿民衆は何時までも業に安んずることは出來ぬ軍はこの際徹底的討伐を行ひ萬民を安泰におくことは現下の急務と痛感してゐる、滿洲は日本の生命線であるばかりでなく舊軍閥の酷使下に懊惱せしめた三千萬民衆を塗炭より救護することの必要であることは言ふまでもない、皇軍の赴くところ正々堂々として正義の戰は必勝である、滿洲都督も新聞で見たがわれ〳〵軍人は第一線に奮鬪するのが任務であるから軍部關係のことはよく判らない【奉天電話】

外國武官を通じて巧みに對日惡宣傳
張學良一派の苦肉策

【奉天特電二十二日發】張學良は山東、山西、西北代表を集めて協議の結果大體北方派の意見が纏りさうで蔣介石も他日參加するとの內諾を與へた、これに依つて先づ北方地盤を固める基礎として日本に對しては錦州を死守する事は勿論便衣隊を派遣して日本軍の後方を攪亂する事に依つて日本軍を釣り出し日本軍が先に手を出すやうに仕向け支那軍は已むを得ず應戰するに至つたといふが如き計畫をめぐらし目下盛に實行してゐる、それがため關內の支那正規軍から優秀な便衣隊の指揮者數十名を選拔して各地へ密かに派遣した、一方國際聯盟の失敗を幾分でも取返すために外國武官の關外視察者は出來る限り優待し阿附迎合に努めて支那側に有利な宣傳に利用せんとし殊にドイツ領事に最も巧に取入つてゐるが、英公使ランプソン氏の歸平を待つて錦州地方の現狀視察を乞ひ一流の對日惡宣傳を吹込まんとしてゐる、軍事輸送機關の如きも豐臺に置き天津は通過するだけであつて外國人の耳目を出來るだけ避けてゐる

閻、馮兩氏近く會見
北支の時局に重大影響

【北平二十二日發】久しく時局の表面から遠ざかつてゐた馮玉祥、閻錫山兩氏は近く太原で會見する事となつた、右は張繼氏の斡旋に依り會見實現を見るものであるが漸く複雜化した北支時局は兩氏の

本庄軍司令官
兵器廠等を巡視

本庄關東軍司令官は二十二日朝七時住友副官その他幕僚を隨へ兵器廠、航空隊、馮庸大學跡飛行場及び追擊砲廠巡視に出掛けた、このため城內は同朝來支那保安隊員及び我兵にて嚴重な警備線が張られた【奉天電話】

遣外艦隊へ
侍從御差遣

【東京二十一日發】陛下には寒氣の砌滿洲事變以來長江一帶及び北支沿岸の警備に當り居留民の生命財產保護に任じてゐる第一遣外艦隊並に第二遣外艦隊の將兵を御慰問且つ狀況視察の爲め山之內侍從武官を差遣の旨御沙汰あつた山之內侍從武官は恩賜の煙草其他を捧持し一月上旬東京を出發する筈

蔣氏の鄧氏銃殺
重大政治問題化せん

【上海二十日發】武漢政府時代國民黨左派領袖として絕大の勢力を有し蔣介石氏の北伐に際しては革命軍總司令部政治部主任として活躍した廣東出身の鄧演達氏は十一月末蔣介石氏の命で銃殺された事が判明した、廣東南京の合作成らんとする際重大政治問題化せんとしてゐる（寫眞は鄧氏）

軍縮會議氣乘り薄
財政問題を先決とし英佛は延期を希望か

【東京二十一日發】來春二月一日開會豫定の聯盟一般軍縮會議は開會を目睫に控へ各國とも氣乘薄で延期說さへ傳へられてゐるが右に關し最近英國大使リンドレー氏は永井次官を訪問日本の意嚮を求めたに對し永井次官は日本は既に代表も出發して居り何等延期を希望する理由はない旨を明言した、而して各國は獨逸賠償問題及び一般財政問題の解決を先とし目下の開會は所期の成果を得ること頗る疑問としてゐるが英佛兩國の如きは會議を延期せしめたとの責任を避くるため延期の主張者たることを躊躇してゐる、從つて會議は一應開會を見るべく一般的討議を以て閉會し技術的專門的討議は行はれぬのではないかと觀られてゐる

愛犬を連れて渡滿の南前陸相

二十日午後十時四十三分大船驛發列車で奉天に直行することゝなつた南前陸相は愛犬をもつれて渡滿する

滿洲軍の慰問かた〴〵滿蒙建設策につき現狀視察の重大使命を帶び

里半の陳家堡に到着したが敵は早くも皇軍の到着の報と飛行機の飛翔により恐怖を感じたものか跡を晦まし、西方に後退せるを知り引き續き同方面に前進中【開原電話】

東北政務委員會の組織
主席會議で決定

【北平二十一日發】北方各省政府主席會議は第一、軍事統一第二、財政統一を主眼とするもので右會議に於て北方政權の最高機關たる東北政務委員會の組織が決定さることゝなつて居る、尙同委員會の下に軍事財政政治外交四委員會が設けられ北方政務の根本的統制を期し各省政府主席は軍事財政委員を兼れる筈

提携成立を一般は待望
チチハルの情況

【チチハル二十一日發】當地方の智識階級は馬占山がなほチチハル方面の別動隊を使嗾し潛行的に排日運動を行ひ且つ益々省民を苦境に陷らしめんとしてゐるとて馬占山のチチハル入城に反對を唱へてゐるが、一般青年は張景惠、馬占山の提攜、兩者のチチハル乘込みを待ち焦れてゐる、一方秀海運しと同方面の多數の便衣隊橫行し最近チチハル方面は內面的に險惡の機運濃厚となりつゝあり、萬福麟舊參謀外三名我憲兵隊に逮捕されたが兵匪の掠奪依然停止されず便衣隊が暗中飛躍し一騷動は免れないと見られてゐる、兵匪討伐に依り今日までの我軍の負傷者は幸ひ三名に過ぎないが、我軍は兵匪の襲來を

張景惠馬占山の諒解ならず
馬は近く黑河へ引揚

【ハルビン特電二十一日發】信ずべき情報によれば馬占山と張景惠との間に諒解なれりとは信じ難く馬占山は最近張學良よりダリーバンクを經て四十萬元軍資金の送附を受けたる外南方華商よりも約四十萬元寄贈を受けた、しかし馬占山は最早日本に反抗するの意なく近く部隊を纏めて黑河に引揚げ時局を靜觀する事に決心したと但し萬福麟系の部隊は依然海倫克山附近に殘留し當然兵匪と變ずべく又最近チチハル附近には黨部の煽動を受けた馬賊及び便衣隊盛んに活躍しつゝありて人心動搖してゐる

國際協報を强制閉鎖

【ハルビン特電廿二日發】ハルビン發行の國際協報は張學良より多額の補助を受け常に極端な排日記事を掲載し國交を阻害することを大なるため張景惠氏は再三注意を與へたるも態度を變ぜざるより二十日發行停止を內意したるも肯かずして發行を繼續してゐるので二十二日遂に强制的に閉鎖を命じた、長光報も排日紙であるが二十日發行停止の命令受領後幹部を入替へ今後張景惠氏の機關紙として發行することゝなつた、國際協報の如き極端な誹謗な記事を掲載する新聞は支那においてすら例の無い程でその發行を停止するのは已むを得ざる適當の處置でその結果ハルビンにおける日支關係は著るしく改善するものと觀られてゐる

哈市の三紙發行を停止

【ハルビン廿一日發】張景惠は積極的北滿における排日運動の取締りに乘り出しハルビンに於ける排日の急先鋒常に猛烈な抗日の毒舌を振つて來た支那新聞國際協報東北日報長光報の三社に彈壓を加へ社屋を閉鎖永久的發行禁止を加へた

反日救國會に解散を命ず

【天津二十一日發】學良は學生や工人連の間に反張空氣濃厚となりたるを以て黨部の使嗾に因るものと睨み且つ軍費捻出困難も日貨排斥に因る市況不振が原因なること判明し遂に昨日反日救國會の解散を命じた、これを機會に日本品の賣行增加せんと期待さる

北寧鐵路工人不穩の形勢

北寧鐵路皇姑屯機關庫及工廠は事變後殆ど休業狀態にあるが殘りの工務一段落を遂げたる同鐵道運輸課長スチール

參謀總長異動上奏

【東京特電二十一日發】金谷參謀總長勇退に伴ふ異動に關し三長官協議の結果左の如く決定廿二日上奏廿三日發令される筈である

參謀總長　元帥陸軍大將　載仁親王
補參謀總長　參謀總長　金谷範三
免本職補軍事參議官　臺灣軍司令官陸軍中將　眞崎甚三郎
補參謀次長

獨逸賠償問題

【バーゼル二十一日發】ドイツ賠償支拂能力を考究する爲め七日より當地に開會中のヤング賠償特別諮問委員會は目下報告を起草中だがこれに依れば條件附賠償年金に對するモラトリアムを更に二ケ年延長が勸告される模樣で英國其の他多數は贊意を表してゐるも佛代表のみはこれに强硬反對してゐる

長江領事會議

【漢口廿一日發】昨夜までに當地に集合した宜昌、長沙、九江の各領事は豫てより當地に引揚中の鄭州領事を加へ今日より三日間長江上流領事會議を開く事になつたが時節柄議題は相當多岐に亘るが排日對策と水害以來今回の排日で困憊其極に達してゐる各地居留民の救濟が主要問題となつてゐる

社說

全滿婦人團體 その美擧

一昨日奉天滿鐵倶樂部に於て第二回協議會を開いた全滿婦人團體聯合會は、その協議の題目在滿軍隊の兵士ホーム、鮮人同胞及び隣保事業、その他の具體案を討究するにあつた。この種の事業は最も時機に適した計畫であつて、吾人は會の局に當る人々の努力は言ふ迄もなく、之に對する一般人の後援の必要を痛感する。事變發生後の社會は軍隊の慰問や、鮮人同胞の救濟に關して、各種の運動を起し、就中各方面の婦人團體が、家庭から街頭に進出して、慰問袋、金品施藥の募集に盡力した光景は、特筆に値する。國民一致の力は其處にあつて、斯した力が與へる刺戟は被慰問者に取つて實に甚大なものがある。

◇

處が斯した運動も、今や永續的な者に具體されねばならなくなつた。我國過去の歷史を回顧しても、日清日露兩戰役が生んだ愛國婦人會は、それら事蹟の傍生的功業として記憶されて居る。婦人團體今次の事業もこの先蹤に倣ひて、有終の美を濟さしむべきだが、時局の性質並にその地域の國際的立場から見て之が構成に一層廣義の研究點あるは勿論だ。第一兵士ホームの如きは、現に滯陣中の人々に、適當有意義な慰安を與へるは言ふ迄もなく、最近後送された負傷者の如きに對しての善後事項は少なくない。負傷者その人に就ては、國家が盡すべき表賞法は勿論だが、之に依つて身體の自由を失ひ、生活の基礎を覆された人々の餘生を、如何にして安定ならしめるかは、一個の大なる社會事業である。非常時の慰問と、平和克復後のそれとは、おのづから其趣を異にする。併し個人の利害に最も痛切な、且永續的關係ある問題は、前者よりも後者に多い。

◇

されば諸外國に於ては、夙にこの點に注目し、國家の爲に一命を捧げたる將卒にして、身體の自由を失ひたるもの、若くは後孤獨無援の境遇に呻吟するものに對し、その境遇に應じ、その勤勞力の如何に應じ、一大ホームを建設して、餘生を情味靄然たる裡に送らしめて居る。その實例の顯著なる一つは、華盛頓市外に巍然たる「オールドソルジャース、ホーム」の如き數百町步の形勝をトして、農業地と公園とを兼備する一大別天地となし、其處に集團生活を、質素に而も愉快になし得べき機關を組織して居る。之は我國既存の廢兵院と原則を一にするが、その輪奐內容の廣狹豐歉に至つては、到底日を同うして語ることは出來ない。戰死者が靖國神社に廟食する固よりその處だ。併し四肢の一部(中には全部を奪はれたものさへもある)を奪はれて自由を失うた生存者の取扱は、社會行政上から見ても、重大な事業だ。之を完成するには單なる形式では行かない。其處に人類愛に立脚した共濟設備が建設されねばならぬ。

◇

かうした意味の問題に、婦人團體が精進しやうとするのは、慥かに必要な美擧だ。正義の鬪爭は男子の責務だが、平時の慰安事業は婦人の慈眼より溢るゝ愛の力に俟つものが、頗ぶる多い。かうした力が時局中にも時局後にも、切實に要求されてゐる。又た兵士ホームの建設動機は、更に之を擴充して、更に鮮人同胞並に利害を外にした隣保事業に實現されるのが、急務中の急務だ。國際間の親和融合、それは總て、各個人家庭の相愛相敬に芽生へねばならぬ。國家と國家との問題も、究極する所は、家庭と家庭との問題であり、個人と個人との理解無理解に起因するのが多分にある。この點に對しての覺醒運動は國境を超越した尊い事業だ。殊にそれは婦人の努力に俟たねばならぬ。家庭に於ける母としての彼等の義務を、國と國との間に擴充する所以として、吾人は大に禮讃したい。

錦州鄕民の代表者 土匪討伐方を請願

本庄關東軍司令官に宛て窮狀を訴へ來る

錦州鄕民代表は本庄軍司令官に對し左の如き土匪討伐の請願書を送つて來た(譯文)

拜啓時下嚴寒の候益々御多祥大賀奉り候、玆に懇願申し上げ候は當錦州は近來匪賊いよく多く人民は塗炭に苦しみ掠奪せられ十戶のうち九戶は家財空しく何れも氣息奄々として死を待つの狀態にて地方は疲弊の極に達し大旱の慈雨を望むが如く救濟を待ちをり候、伏して祈る、何卒貴軍の精銳の士を選び至急御派遣相成り大いに討伐を加へられたく候、聞き及び候に恐らくは日本軍は寒氣に恐れ討伐する能はざるならんと、若し然らざれば是非速かに討伐を決行され水火中に在る人民を御救出下され候はゞ幸甚に御座候、謹みて代表を派し軍門に懇願書を呈し伏して願意御快諾の上御討伐を行はれんことを嘆願仕り候敬具【奉天電話】

王德林部改編

王德林を總司令とする遼西公安隊は同方面の秩序不穩に鑑みたため張景惠を首腦とする黑龍江政府の出現を期してこれを張の麾下に移し衞隊に改編することになつた

……を監査せしむることゝなつた【奉天電話】

奉吉黑三省の首腦者會議

近く開催に決定

奉天新政府は二十一日いよく正式に成立しこゝに奉吉黑三省は共に新政權の樹立をみたので臧氏の突如たる出馬により延期となつてゐた三省首腦者會議は近く開催に決した【奉天電話】

前地方維持委員會委員張成箕氏のうち何れかを登用の筈だと【奉天電話】

審計局設置

全省自治指導部長于冲漢氏はさきに發布せる財政公開の趣旨に基きわが國の會計檢査院の例に倣ひ審計局を設立し公私の各機關の財政……

于芷山司令 兩隊を新編

東邊保安司令于芷山はこの程偵察技術の兩隊の新編を終へたがこれ等は東邊道各縣に駐屯し匪賊の動靜及び員數を調査し速かに司令部に通達するの特別任務に服するものでその數各隊百名である、このため于司令は王代表を奉天に派し臧省長に報告これが經費の要求をなさしめた【奉天電話】

省政府に 兩廳を復活

臧式毅氏は今回省政府機關充實のため民政廳を復活することに決し前奉天紡紗廠長にしてさきほどまで地方維持委員會委員であつた孫祖昌氏を任命することゝし敎育廳もまた近く復活、前廳長金毓紱氏……

伊藤一等兵の 葬儀を執行

河北で荼毘に附す

二十日河北驛鐵道巡察の途敵の別働隊に襲はれ名譽の戰死を遂げた三十聯隊第二大隊第五中隊所屬伊藤一等兵の葬儀は二十一日午後三時半より河北驛に於いて行はれた營口より榎本聯隊附中佐相崎第二大隊長外營口市民代表婦人二名もランチにて河北へ參列した、式は河北支那小學校運動場で行はれたが第五中隊戰友の手にて棺に入れられた遺骸は戰事中のことゝて粗末ばかりの祭壇に祭られ本願寺僧侶讀經のうちに相崎大隊長始め涙の燒香は行はれた、事變以來一兵一彈をも損はず平和のうちにわが軍の保護にあつた營口には始めての尊き犧牲であるだけに人々の悲しみも大きい、參列者の燒香後第五中隊戰友の手で薪に火をつけ遺骸は荼毘に附せられたが、神田第五中隊長の挨拶はまた一入參列者の涙を唆つた、死んだ伊藤一等兵の遺骸を調べたところ胸のポケットから郷里新潟に在る父甚一郞氏に宛た手紙があつた、しかもその手紙は伊藤一等兵の致命傷となつた胸部貫通創彈丸に射貫かれ生々しい彈痕に濡れたペーパーに穴をあけてゐるが破れた手紙をみれば次の如く書かれてあつた

十一月二十八日某方面に向け出動す、私は滿蒙權益擁護のため邦人保護のため斃れるまで戰ひます【營口電話】

新採用の警官

廿一日入所式

今回旅順及び九州各縣下で募集した警察官練習所新入所生二百名の入所式は廿一日午前十一時より練習所に於て中谷所長列席の上擧行されたが、時局柄何時でも第一線に出動出來るやう短期訓練を行ふ筈だ

同胞の哈市避難者數

【ハルビン二十一日發】滿洲事變以來各地より今日までハルビンに避難して來た朝鮮同胞農民老幼男女は五千三百九十五名の多數に上り總領事館では來春播種期までこれが救濟方につき外務省總督府と交涉中である

奉天省長就任祝賀式

(下は參列の三宅參謀長を送つて出た臧氏(左)と三宅參謀長(二人目))

朝野兩黨の勢揃ひ

民政黨議員總會

對議會の陣容を整ふ

【東京二十二日發】民政黨では第六十議會に臨む新陣容を整へる爲め二十二日午後二時から本部に議員總會を開き、若槻總裁以下各顧問、各總務、貴衆兩院議員其他三百餘名出席、廣瀨德藏氏會長席につき、永井幹事長より開會の挨拶をなし、次いで正副議長候補の選擧に移り總裁一任となり若槻總裁より別項の如く指名し、次いで院內役員選擧に移り院內總務は總裁一任、院內幹事は院內總務に、全院委員長及び各常任委員長は院內總務一任となり、若槻總裁より小山氏以下十名の院內總務の指名をなし若槻總裁は更に正副議長候補の指名をなし、暫く休憩の後、院內總務は院內幹事の人選をなし、終つて若槻總裁は滿場の拍手に迎へられて一場の激勵演說をなし同五時盛會裡に散會、一同は中央亭における議員懇親會に出席した

民政院內役員

【東京二十二日發】民政黨院內役員は廿二日議員總會で若槻總裁より左の如く指名された

▲院內總務 小山松壽、原田佐之治、田中萬逸、一宮房治郎、野村嘉六、山田道只、鈴木富士彌、粟山博、工藤鐵男、木村小左衞門

▲議長候補 中村啓次郎

▲副議長候補 增田義一

▲議員總會長 鈴木寅彦

▲同副會長 村上國吉、山邊常重

政局の鍵は 我黨にあり

若槻總裁の演說

【東京二十二日發】二十二日の議員總會において行つた若槻民政黨總裁の演說要旨左の如し

一、現內閣は少數黨政友會を背景として成立し在野民政黨は衆議院の多數を擁し今回の政變に伴ひ若干脫黨者を見たが、なほ二百五十の議席を有し政友會に比し八十を越えてゐる、從つて政局決定の鍵は民政黨に存し我黨の立場は自由なると共に責任重大である

二、議院內における暴行を排擊し議院の淨化に全力を注ぎたい

三、複雜な政狀の下に民政黨は今後屢々苦境に立つ事あるべきも一段と結束を强くしたい

政友會十大政策

二十一日幹部會で決定

【東京二十一日發】本日の政友幹部會で可決した十大政策左の如し

一、產業五年計畫

二、國民所得の增進と大衆政策の安定

三、生產費の合理的低下と消費經濟の改善

四、米穀、蠶糸及水產國策の樹立農村經濟の調制

五、國稅及地方稅の輕減

六、失業對策及社會政策

七、國防の經濟化

八、國家權益の擁護、外交刷新

九、敎育制度施設の根本的改善、思想問題對策

一〇、行政機構の全般的改革

政友幹部會

【東京二十二日發】政友會では廿二日午前十一時本部に幹部會を開き、犬養首相、島田法制局長官、川村、濱田、大口、井上、菅原、小久保の各顧問、久原幹事長及び各幹事、田子、松岡兩政調副會長、板谷會計監督出席、先づ犬養首相は「久原幹事長には迷惑と思ふが極めて短期間御留任を願ふこととなつた」旨報告し、次に久原幹事長より午後の常議員會、議員總會、代議士會で議すべき事項を說明承認を求め、協議の結果、院內總務五名、院內幹事八名に決定、川村、大口兩顧問より地方銀行救濟策を提議し、秋田淸氏の提議で特別委員會設置に決し正午散會した

久原幹事長

暫定的留任決定

【東京二十二日發】久原政友會幹事長は協力內閣運動の責を引いて幹事長辭任の意を表してゐたが二十一日夜正式辭表を提出したので犬養總裁は二十二日午前九時半久原氏を私邸に訪ひ事情から見て一切を自己にまか……し本日の議員總會にて辭意を表明することを思ひ止まられたいと勸說久原氏も暫定的に留任を承諾した

鄕、團兩男 政府側と懇談

【東京二十一日發】犬養內閣成立につき鄕男、團男兩氏は二十一日午後四時藏相官邸に高橋藏相、前田商相と會合して經濟問題につき懇談した

德川義親侯復歸

【東京二十二日發】豫て議員を拜辭してゐた德川義親侯は二十日附を以て復歸する事となり特旨を以て仰せ出された

從三位勳三等 侯爵 德川義親

貴族院令第三條第三項に依り貴族院議員に復せしめらるる旨仰出さる

第六十議會 年內の日程

【東京二十一日發】第六十議會は廿三日に召集され貴族院は即日成立し衆議院は劈頭議長の選擧を行ひ翌廿四日成立を告げ政府貴族院へ通告をなし即日官報號外で今月廿六日帝國議會開會を命ずるの詔書を公布せられ同時に開院式仰出される筈であるが年內における兩院の議事日程は左の如くである

貴族院 は二十三日召集即日成立二十四日及び二十五日(大正天皇五年式年祭)休會二十六日午前十一時開院式二十七日日曜二十八日本會議を開會勅語に對する奉答文を可決全院委員長の選擧を行ひ明年一月二十日迄休會

衆議院 は二十三日召集の劈頭議長の選擧を行ひ即日勅任され二十四日成立二十五日大正天皇五年式年祭休會二十六日開院式後勅語に對する奉答文可決二十七日日曜二十八日全院委員長及び各常任委員の選擧及び各常任委員長並に理事の互選を行ひ明年一月二十日まで休會する

凶作地方救濟案

米七萬石を安價拂下

【東京二十二日發】北海道東北地方の凶作については天皇陛下には痛く御軫念あらせられ二十一日山本農相に御下問あり山本農相も急速に救濟方法を講ずべく二十二日確定案が公表されるが、其方策は大體政府米七萬石の拂下げを行ひ之に對する代金延納、尚不足米は他地方から廻送する筈で米穀特別會計の手前無償拂下げが出來ぬ限り廉價に拂下げる筈

滿鐵の事務樣式 改善の腹案を作成

當局との打合せを終へて 岸本氏東京發歸連

【東京特電二十一日發】滿鐵監理部考査課においては過般來竹中部長西田課長等が率先して統計制度給與支拂事務、印刷、寫眞室協同管理の改善につき能率增進の意味において研究中であつたが、いよく新しきシステムを採用することになり從來の複雜のものより極めて簡潔明瞭、便利なる樣式をとることになり、既に相當の腹案を得たとのことである、考査課の新進岸本一氏は過般上京西田案を携へ商工省と打合せを遂げ廿一日夜東京驛發歸連の途についた、岸本氏は語る

西田課長は事務上の合理化について多年熱心に研究を續けて來られましたが自分は課長の方針に從ひ所謂デスクワアークの能率增進について研究し既に腹案をたて帳表統制、用紙規格について大いに改善を加へるつもりです、ちよつとした文房具の改善によつても滿鐵の如き大會社では相當多額の經費を節約することが出來るのです、具體的の話は西田課長から何れ申し上げるでせう、私はたゞ打合せに來ただけです

ハルビン特別區の 外人土地問題解決

全部來る廿五日迄に

【ハルビン二十一日發】數年前より支那側の不法に依り特別區における外人の土地不動產所有權一切を承認せず未解決の儘懸案となつてゐたが、最近特別區行政長官と我當局間に交涉進み本案も解決を見、來る二十五日全部の解決を爲る事となつた、特別區における日、英、米、佛、獨各國人所有土地不動產は約三千萬圓に上る

投書歡迎 (五十行以內 中傷はさらす)

自轉車の稅金

志田生

◇「自轉車の稅金は事情によつて一度その使用の廢止屆を提出すれば納附す可き義務なきもの」との斷定を小生は民政署の係員から得た。然るに彼氏はその以前に「廢止の屆出ありとも自轉車を所有すればその所有するといふ事實のみによつて課稅せられる」と言はれた事がある。

◇民政署の係員は、使用廢止屆を出しても內地へ引きあげるか或は自轉車に修繕の道なきか(修繕して使へる見込のあるものはその屆出を受けつけぬと言はれた)からかう言つてもいゝだらう)の場合にのみ受けつけられると言はれた、其處で「廢止屆が受けつけられた以上は課稅される理由なきに非ざるや」と詰れし處、彼氏は、否と答へられた。だが種々なる談合の結果結局冒頭の斷定をされたのである、思ふに斯くの如き係員は民衆を瞞むき延いて民政署の權威を傷つけるものである。

◇右の事情は之を詳細に記述する紙面を有せぬが、小生は右係員の不誠實(?)によつて不當の稅金を支拂はされんとしたのである。幸ひにしてその厄より免れる事を得たが小生は彼氏の心理を解するに苦むのである。不況による收入減を補はんとの一片奉公の念よりするものか(何と言ふ馬鹿げた揣摩だ)或は小生を愚弄せんためにせられたのか(多忙の身——右係員はよく此の辭を愛用された——の彼氏の事故よもそんな暇は持つて居られまい)全くわからぬ。こんな揣摩憶測に日を過ごしてはならぬ、他に重大な事があるのだそれはより誠實に而してより親く民衆の力と彼係員氏がなられん事を希望する事だ。

佛大統領が 芳澤大使を招待

【パリ二十一日發】芳澤大使の歸國のためフランス大統領ダーメ氏は本日大使をエリゼー宮に招き袂別の挨拶を交換した

今井田總監 きのふ東上す

【京城特電二十二日發】政友會內閣成立と共に今井田政務總監の身邊は各方面から異常な注意の眼を以て觀られてゐる折柄突如廿一日午後政府の招電に接し二十二日午前十時京城發東上した「餘り突然ではありませんか」との質問に對し總監は

今回の東上は朝鮮の豫算關係の問題でそれ以外大した意味はない三十一日迄には歸る積りで初めての正月を朝鮮で送りたいと思つてゐる然し東京に行つてみればどんな問題が自分を待つてゐるかそれはわからぬよ

と頗る意味深長な言葉を殘した

鮮銀券發行高

【京城特電二十一日發】朝鮮銀行發行高は十九日の現計で……公表によれば一億二百七十八萬圓となり、限外發行一千八百四十萬圓を示したが、その原因は歲末の關係もあるが前年同日の八千七百八十一萬圓に比し千五百萬圓の增發を見た、なほ最近の發行狀態は左の通りである

日	發行高
一六	九九、五一〇、二一一
一七	九五、二六四、七九二
一八	九七、四七〇、四〇四
一九	一〇二、七八五、八六八

尚今後は增發するかも知れぬが大した事はあるまいと見られてゐる

市況(廿二日)

株式

內地保合乍ら 地場株續騰

內地主力株の後場は保合であつたが地場株には買氣殺到し五品錢鈔は四五十錢高新豆は五六十錢高滿鐵新は五六十錢高と引締つた

特產

銀高ながら 一齊軟り

後場の定期は依然銀高ながら仕手關係で大豆は强含を辿り豆粕豆油高粱は一齊强調を入れた

錢鈔

日米三十八弗 當市續騰

商品

麻袋幾らす 綿糸軟り

奥地市況

▲奉天票

現物		九〇、〇〇
先限	一四八、五〇	一四四、五〇
現物	六六、八〇	

市場電報

神戶特產

大阪株式

大阪綿糸

東京期米

大阪期米

神戶期米

童話 雀と鶏（下）
八木橋ゆじろ

或日でした。夕日が西のお山をもやして居りました。間もなく暗くなるのも忘れて、小雀たちはお屋根の上で歌つたり、はねたりして居りました。そこへ親雀が、あはてゝ飛んできました。

「み、み、みなさん」

「な、な、なあに？」

小雀達も、そのたゞならぬ樣子に、親雀のまはりへ集つて小首をのばして、親雀のくちばしが何を言ひ出すかを待ちました。

親雀は、ぐつとつばをのみこむと、胸を押へながら、

「み、み、みんなに、み、み、見せたいことがあるのよ。こつちにおいで」

親雀の飛んでゆく方に子雀たちもついて行つて見ました。

「あ、あれをごらん！」親雀が指さしました。

「あッ！」

「あッ、こわいッ！」

「あれーつ」

子雀達は、枝からすべり落ちるほど、びつくりしました。

「どうしたんでせうねえ母ちやん あの鶏は」

子雀達は、みな眞青な顔をして親雀に聞きました。

「まあ、よーく見てゐて……」

親雀は落ちついて言ひました。雀達が枝から、胸が破裂しさうな驚きで見てゐるそれは何でせう。

それは、雛が人間の爲に殺されて、羽をぬかれてゐたのでした。丈夫な若い人間でした。

たくましい腕が、力のありさうな指先が雛の體にさはるごとに、ボリッ、ボリッと音をたてゝ、毛や羽が引きぬかれました。

毛や羽がぬかれてゆく跡が、草原の草が引きぬかれて土の肌が現れるやうに、黄つぽい鳥の肌が見えてきました。

つぶつぶの毛穴が、ザラザラとしてゐます。

「母ちやん、どうしてあんなことをするでせう」

「可哀さうだわ」

「あたし達が、あんな事をされたらどうしよう」

「ほんとにどうしやう」

「こわいよ」

「聞いたゞけでぞつとするわよ」

親雀は、靜かな聲で言ひました

「みんな分つて？人間に飼はれることの不幸が」

子雀達は、だまつてうなづきました。

「追はれて、逃げて、貧乏してそれでこそ幸福つて言つたこと、もう分つたでせう？」

子雀達はまた一せいに小首をうなづかせました。

「ねえ母ちやん、わたし達が自分で餌を探すことの幸福が、今はつきり分りました」

「分つて？ありがたいこと、みんなかしこいよい子！」

「母ちやん、人間があんなにして鶏を殺してどうするの？」

「にたり、焼いたりして食べて了ふの」

「あゝさう？」

「まあ、こわい」

「それで人間が鶏を買つてるの、母ちやん」

「さうです。さ、今夜恐くて眠れなかつたり、恐い夢でも見たりするといけないから、巣にかへりませう」

「歸らう」

「もうこんなに暗くなつちやつたわよ」

雀達は、連れ立つて巣にかへりました。

今まで、むさくるしい巣だと思つてゐた屋根裏の巣も、今夜は御殿のやうな感じがしました。

白い月が、氷のやうな夕暮の空に浮んでゐました（終）

アサヒノボッル
中満しんいち作　河野ひさし画　十六

一 コヒ ハ 八十八ビキ ノ コドモタチ ト イッショ ニ タイチャン ニ オゴチサウ ヲ ナラベタ

二 ソノ ウマイコトツタラ ホッペタ ガ オチサウ アレモ コレモ タベテ オナカガ ハチキレサウ

三 ヤガテ コヒ ハ タイチャン ニ マルイ ベツコウノタマヲ クレタ コマツタトキ ナデロ ト イフ

四 オモヒドホリ ニナルト イフノデ オトウサン ノ キドコロ ヲ キカウト タマ ヲ ナデテ ミ

Xマスの眞の内面的要求を皆さんご存じですか
一般化に伴ひ酒屋の廣告やカフエなど迄に利用される

この頃どこのショーウインドを覗いて見てもクリスマスのデコレーションが美しくかざられてゐて教會やクリスチヤンの家庭では指折かぞへてたのしいクリスマスの宵を待つてゐます、で一體クリスマスといふのは何でせう？いふまでもなくキリストの誕生を祝ふ祭であります

▽…正確に いへば今年はキリストの誕生から一九三五年目に當ります、ところが何故基督誕生の年を紀元元年とした筈の西暦が一九三二年であるかといひますと今の西暦が定められたのは第六世紀の中頃でこの暦を制定したデオドシユースといふ有名な學者が惜い事に基督傳の研究が不充分であつた爲に四年の誤算をしてしまつたからです、近年日本でもクリスマスが一種の

▽…流行物 となつてラヂオにもクリスマスのプログラムが組まれ一般の家庭にまでクリスマスツリーが飾られ愛と平和のシムボルであるサンタ、クロースのお爺さんまでが酒屋の廣告に使はれて酒樽をかつがされてゐるといふ有樣です、由來我國ではキリスト教の産み出した文明急速にこれを輸入し乍らその中心を流れるキリスト教はなかなかとり入れやうとはしませんでした、ですからクリスマスは輸入してもその眞の内面的要求たる

▽…理解し てゐるものはきはめて稀です、近年のクリスマスが一般化するにつれて教會内で基督教徒が行ふクリスマスにさへともすれば内面的なその精神を忘れる嘆きがあるやうですがクリスチヤンとしてこれは充分反省の餘地がありませう、ましてこの神聖なるべき宗教的祭典が俗化して

▽…酒屋の 廣告やいかゞはしいダンスホールやカフエーにまで利用されるやうになつてはその影響は決して小さいものではありますまい、キリストは一九三五年の昔寒い寒い十二月二十五日の星の美しい夜ユダヤのベツレヘムの馬小舍の中で産聲をあげその搖籃はうまぶねでありました、その兩親は富裕な人ではなくて貧しい勞働者でした、頃は恰度

▽…ユダヤ の國の戸籍調査の時で近所の村の人たちは皆小さなベツレヘムの邑に集まつてゐました、ベツレヘムの旅館といふ旅館は滿員で人々は血眼になつて宿る所を奪ひ合つてゐました、謙遜なキリストの兩親は自ら他にゆづつて馬小舍に宿つたのです、このやうにキリストは誕生の時からすでに住むべき處がなく幼子としてその受くべき搖籃をさへも持たなかつたのです

▽…私兵が 平常口にする愛といふのは己のみを愛して他を省みないきはめて利己的な「自愛」に過ぎないことが多いのです、クリスマスを祝ふ氣持はキリストの兩親のへりくだつたまづしい心に倣つて奪ふ愛から與へる愛への轉化でなければなりません、クリスマスにはプレゼントを贈り合ふ風習がありますがこれも自分を他に與へることを學ぶためで「受くるより與ふるは幸なり」の心のなくては折角のプレゼントも何の意味もなしません、今度大連でも婦人團體聯合會が社會事業協會や方面委員會と協力して生活苦に喘ぐ氣の毒な人達の爲にせめてお正月だけでもと同情週間の運動を興してゐますがこの氣持もやはりクリスマスの精神と同じ心に出發するもので社會をより明るくより住みよくするよい企てだと思ひます

子たち向きのXマス料理（上）
樂しませてやるに相應しいでせう

近づいたクリスマスも時局柄一般に質素に行はれませうが、子供を樂しませてやる程度の獻立を次にお傳へいたしませう、これは高價な料理道具なしで出來ます

獻立表

一、チキンブロース
二、ビッグ・イン・ブランケット
三、ベコナイズド・ミートボール
四、ロースト・ターキー
五、クリスマス・キャンドル・サラダ
六、プラムプディング
七、フルーツ
八、コーヒー

チキン・ブロース

▲材料＝鳥肉三斤又は四斤、セロリ二葉、パセリ同右、玉葱一個鹽、胡椒、少量

製法 鳥肉をバラバラにして適宜に水を加へ、強い火にかけ上へ出た泡をよく吸ひ取り、火を弱くして他の品々を全部加へ、四時間か五時間煮込み、篩で漉し良く冷まし、上へ出た脂肪をすくひ取り必要なだけを溫めて供します、チキンスープをかなり煮詰め一夜冷藏庫に置きますとヂエリーになります、ヂエリーを供する時はクリームを泡立て、鹽、胡椒を加へた物と一緒に供します

ビッグ・イン・ブランケット

製法 大きな蠣二十四個を良く洗つて水を切り、鹽、胡椒を振りかけ薄く切りたるベーコンにて各自に巻き小楊子でおさへ、フライ鍋にて五、六分又はベーコンが焼けるまで焼いて供します

ベコナイズド・ミートボール

▲材料＝ベーコン（薄く切つたもの）四切クラッカー又はブレッドクラムス（パンカクラッカーを細かく砕いた物）カップ一杯、熱湯カップ半杯、挽肉一斤、玉子一個、鹽茶匙一杯、胡椒茶匙八分の一、玉葱汁茶匙四分の一、香料セロリー鹽茶匙四分の一（サイム、セージ、オールスパイス）メリケン粉茶匙二杯

製法 ベーコンを細かく刻み鍋でいため、これにクラムスを加へよく攪きまぜ熱湯を加へ更に攪きまぜ、丼に取り肉と鹽、胡椒、玉葱、セロリー鹽、香料の順序で加へ、玉子を打つて加へよく混ぜボール型に造りメリケン粉をまぶし附け、フライ鍋で焼くか又は脂肪で揚げ、グレヴイを添へて供します、グレヴイは鍋の底に出た汁で造ります、先づ鍋の汁の中に適當のメリケン粉を入れ鹽、胡椒をふりかけドロドロに造ります、右の肉はまた蒲鉾型に造り天火で焼いて供してもよいのです。

オイスタースタッフイング

▲材料＝ブレッドクラムス（パンを細かく砕いたもの）カップ四杯、バター（溶かしたもの）カップ半杯、牡蠣カップ三杯、牡蠣の汁カップ半杯、玉葱（きざみて）二個分、水又はストック（スープ）カップ一杯、鹽茶匙三杯胡椒茶匙半杯、セージ大匙一杯

製法 バターの中へ調味料、玉葱、水、蠣汁を加へ、ブレッドクラムスを混ぜます、固い時は更に少量の蠣汁を加へ蠣をきざんで加へます

滿日案内

◎三行一回 金九拾錢
◎被雇者 金六拾錢
◎五行一回 金壹圓五拾錢
◎十行一回 金參圓
◎十五行一回 金四圓五拾錢
◎二十行一回 金六圓
◎姓名在社は一回 金三拾錢増

廣告部電話は 二六九五 四四九一 番です

人事

女給 さん大至急入用本人來談 伊勢町一〇六（日隆通）新開業 カフエー梅ケ枝

女給 三十名大至急入用本人來談新開業 若狹町能登町角六四ワカサ會館

外務 男女手腕家を求午前中本人來談 春日町三〇ビル三階貿商會

家政 婦附添婦募集及派遣迅速 聖德街一丁目一六八 昭和家政婦附添婦會電九七九九

英語 及数學教授 特に初歩者を親切指導す 大連市西公園町一〇五育英學會

英語 速成教授英文及邦文タイピスト短期養成 監部通九六電四三〇八 英學會

邦文 タイピスト短期養成 大連大山通 小林又七支店

邦文 タイピスト養成（午前・午後・夜間） 山縣通日本タイプライター會社

貸家

貸家 兒玉町三滿蒙資源館東隣一戸建六、六、三風呂付日當極良賃廿五圓 電話六五四四

新築 貸家龍田町朝日小學校東八、六、二湯殿水便物置付 電五七〇八番

貸家 兒玉町三番地 一戸建賃十三圓 電六五四四

貸家 聖德街二丁目六二番地二階六、四半日當最良賃十八圓 電話六〇六七

貸家 若狹町二二二階上六、四半下八、六、水便瓦斯風呂スチーム設備あり 電五七三〇

貸家 聖德街一丁目四六六疊四半風呂付賃十七圓 電二一八二〇

貸家 二十一圓三室風呂付 三十七圓五室 菖蒲町 電八六七五 池内

女中 至急入用本人來談 靜ケ浦見晴臺一八七 木村 電二一四四八

金庫 付貸事務所並倉庫あり 磐城町五四（笹邊席隣）若杉

貸家 葦町三二平家日當良八、六、六、三、三、四半 家賃四〇圓 電四九六六

貸家 スチームエレベーター電請等の設備あり各部屋共水便炊事場附 電二二三三番へ

貸家 永仙町四四ノ一七、六、四半、三賃二六 電請六三四八番

貸家 美濃町交番所前通新築瓦暖房水便完備日當眺望良十、三、二賃二八圓 電七一一番

貸家 溫水暖房付高級二棟外貸十圓以上平家數戸詳細は郊外土地 電話五八二一

貸家 信濃町一三五番アパート六、四半、二スチーム水便完備 電七〇八七番

貸家 新築初音町南向日當良本床物置附八、六、六、二賃廿五、七圓 電五六一四番

貸家 武藏町七番地六疊、四半、三、賃十五圓 電四八二二

貸家 美濃町四五新喜樂裏通木造平家六、四空地二十坪付家賃二八圓 電七二〇一

貸家 磐城町十一番地スチーム水便完備賃二十四圓 電六四七七

新築 貸家花園町五六 一戸建賃二十八圓 電六四七七

貸室 室料五圓以上各種食事付圓以上應需 櫻花臺 嶺前莊

貸事 務所山縣通八八階上階下各種 暖房設備 電六一一一

住宅 場所櫻花臺スチーム付賃二十圓、二五圓、三五圓 嶺前莊 電六六五〇

高級 住宅大黒町二三電懐裏間敷十暖房溫室車庫付 越後町九澤田組電話七〇七一番

南向 スチーム溫室付三室住無料圖書館庫實雜貨料理店附屬安居アパート電二一八八五

貸家 讃家屯赤十字病院附近新同樣八、四半、二風呂水便付賃廿二圓 電三四五五

賣買

子供 レコード二十錢 大山通ナニワ樂器店 電二二六一二番

債券 來月籤債券多數有り五千圓ひろひもの新開月三錢 大連市西通三五番地大連案内社

天帆 高級純生漉お便紙は此印に限る

白帆 ・高級お化粧紙は此印に限る

シン ガーミシン一式の御用命は西通七八シンガーミシン會社電六四一六

恩給 信用小切手最低利越後町三二至誠堂代書事務所 呼電八五六五

商品 券 勸業債券賣買並に金融三越商品券五分引買入 西通三五電車通四階大連案内社

算盤 の御用は 拓茂洋行 電話五四三九番

塵紙 懐中に家庭向徳用の生漉改良の三山島紙發賣元 拓茂洋行紙店

不用 品高價買入御報次第參上 電話三九一四番 美濃町七九番 大谷商店

フヨ 品書畫骨董高價買受 イワキ町新古齋 電七四三五

新古 金銀白金ダイヤ時計高價買入 吉野町二三 電八二二六番 鈴木金賜堂

滿日各地版

掠奪放火人質凌辱 學良別働隊の暴虐 公太堡附近の被害

【奉天】張學良の別働隊、兵匪等が公太堡一帶に横行し附近村落を襲撃し掠奪、放火、凌辱、人質等鬼神を泣かしめる慘虐を敢行してゐることは既報の通りであるが五道溝、法哈牛彖、朴家窩棚を襲撃せる被害につき調査の結果左の通りである

五道溝　鮮人部落にて郭在根妻金氏（四九）は全身に瀕死の燒傷を負ひ驢馬一頭燒死す、勸業公司小作人大人十四名小人卅三名合計七十七名は家屋なきため親戚その他の家に行かしめ又五間房、孤家子、洪家堡等の農場事務所附近農區に引揚げ空家となつてゐる所に收容され公司、領事館警察側から色々厄介となつてゐる

朴家窩棚　朴洪然（五〇）は射殺せられたる後猛火の中に死體を投げこまれ燒却された十戸半燒、九戸全燒一戸九十圓の損害として合計八百十圓

法哈牛彖　朴晉風は頭部に瀕死の重傷を負ひその他は全部毆打せらる、同地より賊に拉去された妙齡の婦女子十二名は凌辱せられ鮮人石練法の息子の妻は臨月の腹を拖へ暴行されんとしたのを拒んだ爲銃にて腹部を滅多打ちにせらる、同地支那側では自警團員中射殺せられたる三名、負傷せる三名拉去され凌辱されたる婦女子は廿二名馬、驢馬を合せ掠奪されたる數百五十頭、家屋十五戸その被害七百卅圓、家財道具五百七十圓、合計千二百九十圓、三戸全燒一戸四十圓として百卅圓、その他掠奪されたるもの一戸平均卅圓として十六戸四百八十圓、支那側家屋燒き拂はれたるもの延數七十軒、一軒百元として七千元家財道具その他を合して十萬元以上に達してゐる

不逞鮮人の一味 馬賊と化す 西豊東豊一帶を荒す

【鐵嶺】從來清源縣下に本據を据えてゐた不逞鮮人共產黨の一團三十餘名は時局勃發以來全く馬賊と化し最近は西豐縣北大溝に本據を移し西豐一帶から東豐縣橫道河子一帶に亘つて盛んに跳梁し兵匪に虐まれ路頭に迷ふ同胞鮮人に對して飽くなき迫害を加へてゐるさ目中には朝鮮人夫婦占東洋及び仁義軍老北風其の他が參加し機關銃追擊砲等を所持し長銃實に三千挺と目されて居る

馬賊頭目に 朝鮮人夫婦

【遼陽】遼陽縣境李伯河子一帶には數日前來約三千名の匪賊團現はれ本隊を同地に置き四五隊に別れて各地に掠奪を行つて居るが……

馬賊と結託

【鐵嶺】新臺子東方鄰路居住の馬慶福といふ男は去る十一日馬賊と結託して同村自警團本部を襲ひ長銃十五挺を強奪逃走したが大膽にも去る十九日單身歸村して自警團幹部を脅迫し又復長銃一挺づゝを提供せしめたるを村民が知り二十日早朝村民が馬の宅を包圍逮捕せんとしたところ馬は逸早く逃走し村民追跡の結果隣村楊家臺入口にて發見交戰したるが通行人一名負傷し馬は何れかへ逃走したと

悲しき煙り

二十日河北鮮線道巡察の途敵彈に斃れた伊藤一等兵の葬儀は二十一日河北線で行はれ遺骸は荼毘に附せられた

徐文海の一隊

【鳳凰城】徐文海の匪賊團はその後數隊に分れて各地に於て狂暴を恣にして居るがその一隊約七十名は最近盛んに大堡附近を荒し廻つて居るとの情報に接した當地守備隊では二十日未明西川中尉は部下一小隊を率ゐて當地駐在の警察官と共に同地に急行し附近を大搜索せしもさらに賊影を認めず同日午後四時半頃引揚げ歸還したが情報によれば右の徐文海の一隊は十九日午後六時頃達子堡に於て頭目不詳の約三十名よりなる馬賊團と交戰し三名を射殺し二十四名を捕虜として一旦大窪に引揚げ更にまた鷄河屯に集中し居る馬賊を討伐する目的で間もなく同地へ向つて進發した模樣であると

自警團の馬賊

【鐵嶺】開原縣下四棻子の自衛團六十三名は去る十六日團長黃海濤指揮の下に無報酬の自衛團より馬賊となるに如かずと稱して銃器携帶の儘脫走し行方搜查中であつたが此程突如下沙河堡を襲擊し大掠奪を行ひ尙賊團から脫走歸村せる自衛團員三名の家を襲ひ放火逃走せりといふが未だ討伐隊と遭遇せず巧に出沒してゐるやうである

鐵道電線切斷

【奉天】廿日午後九時頃柳條溝分遣隊を南方に距る三百米の天壇臺切先の電線が何者かに切斷されてゐるのを發見し直に警官隊守備隊が現場に赴き取調べの結果犯人は二人らしく高粱稈二本に麻繩を卷きつけ九十一號電柱の電線を根元より竊取したもので目下搜査中である

湯崗子溫泉陸軍療養所に療養中の傷病兵十數名の慰問の爲め二十一日ラヂオ一臺を寄贈した

貧困者に寄附

【奉天】小西門內嚴利洋行主上田利一氏は貧困者救濟のため白米十俵、メリヤスシヤツ二打、金五十圓を又千代田カフエー及び千成では白米十五俵を何れも奉天署に寄附した

災害地救濟金

【旅順】旅順家政女學校生徒は數日前から日頃習つた優しい手で飴を作りこれを街頭進出して賣上げた合計金七圓二十錢を二十一日正午代表者三名が市役所を訪れ我が母國東北地方の大饑饉救濟金の一部として傳達方を依賴し隆山助役は大に感動された

愛國デーマーク賣上高

【旅順】先般擧行された青年聯盟旅順支部主催の愛國デーマーク賣上總額は三百八十九圓五十錢、支出額マーク代旅、印刷實費百二十六圓二十一錢にて殘額二百六十三圓五十九錢を軍部へ慰問金二百十三圓五十九錢、警察官へ慰問金五十圓を贈呈した、尙一中高女は各々毎月十錢宛獻金してゐたのでマークは無代提供した

露國婦人の感激 この美しい情景は 他國では見られぬ 嘉村旅團出動の點描

【長春】長春待機中であつた嘉村混成旅團が二十日午後三時四十分同五時十分、同六時十分の三回に分け臨時軍用列車で南下した際の見送り人中にあつた白系露人十數名の男女。萬歲々々と狂喜してゐたがその婦人連はハンカチを目に當てゝしく〳〵と泣いてゐる、感極まつたのであらうが感想を叩けば

若い學生さん（商業生）たちがバンドを奏して門出を送る眞情この寒さに男女子供老人までが旗を振つて萬歲を浴せかけるこの美しさは實際日本を除いて他には求められますまい、而かも兵隊さんが故鄕へでも歸るやうな嬉しさを以て勇しく出動する光景は寒さもなければ兵匪の彈丸なども何等考へてゐないのでせう、日本の兵隊さんが強いのも當然です、學生が歌（此處はお國を何百里）を歌へば兵隊さんもこれに應じて列車の窓から歌ふ、何の邪念などがありませうやほんとに感激のほかはないのです、嬉しさも悲しさも胸一パイで泣かされてしまひます

と日本軍隊を何處までも謳歌して暗い宵暗の警路をホームから街頭に歸つて行つた

各方面の美擧

盆金を寄附

【金州】去る十八日小學校講堂に於て行はれた金州小學校同窓會主催の活動寫眞の會費の純益金二十五圓九十錢（內加世田彌二郎氏から同窓會に寄附したる金五圓をも含む）を金州時局後援會を通じて寄附を爲したので、後援會では近く委員會を開き寄贈先を決定すると

小學生の獻金

【鳳凰城】鷄冠山小學校の三年以上の兒童は今回各自思ひ〳〵の物品を販賣し、之によつて得た利益金を軍隊に獻金すべく、二十日の日曜日を利用して健氣にも各戶を訪問し注文をとつてゐたが、この美擧に對して在住民は非常に感激してゐた

兵營で餅搗き

【大石橋】當地機關區を中心とする修養團に於ては當地守備隊慰問のため二十日午前九時より守備隊炊事場に於て糯米二石を以て餅搗きを成し隊員四百名に分與出動の前途を祝福する誠意を表した

山田一等兵に 金一封を贈る

【安東】敵彈のため負傷し不幸敵軍のため捕はれの身となつた山田一等兵は愛國心に燃ゆる同胞監守のため九死に一生を得て救ひ出された事は各通信機關に依つて知れ渡り同胞監守の此の美擧は一般より感激されてゐるが安東在住の一無名氏は金一封を同胞監守に贈りたいと安東警察署を通じ奉天關東軍司令部に傳達方を依賴した司令部に於ては更にこれを同胞監守の現住所に送附し手渡しなしたとの報は十九日安東署に達したが此の無名氏の奇特なる行爲は一般から非常に感激されてゐる

ラヂオを寄附

【鞍山】南滿電氣鞍山支店では……

軍隊慰問に藉口 不良團體擡頭す 當局でも取締に腐心

【旅順】事變以來我が國民赤誠の溢れかたは過ぐる日露戰役以上と迄云はれ此擧國一致の傾向は誠に美しい現象であるが最近各種の慰問團が怒濤の如く押寄せ軍部をして面喰はせてゐる實狀であり又慰問品の殺到は彌が上にも當局を感激せしめつゝあり一方亦在滿邦人の後援振りは正に白熱化しつゝあるも中には名を慰問に藉口し不良なる團體が現はれ非常なる迷惑を與へてゐるので當局でも之れが處置方法に就き多大の苦心を釀してゐる狀況で旅順では幸ひにかくの如き團體を耳にせない事は喜ばしい然るに昨今市民の一部では某宗教團體か傳統的行爲か事毎に排他的問題を持出し不快の念を抱かしめつゝある事實に對し璽黨の聲あるは苦々しき事で名が美名の下に行はれる事だけにその不平の聲は內面的深刻的であるので更に一部の者は何人かによつて警告を發して貰ひたいと云ふ者もある

鳳凰城

スケート大會

當地小學校では二十日午前十時より驛前スケート場に於て兒童のスケート大會を開いたが、絕好のスケート日和で觀衆非常に多く午後一時大會を終り、辻校長から全兒童にぜんざいの接待があつた

鞍山

新年の祝賀式

鞍山に於ける昭和七年元旦の在住者年賀式及び祝賀式は左記の通り擧行せられるが祝賀會出席希望者は會費金五十錢を添え二十六日正午まで各區長に申込まれたしと、尙拜賀式と祝賀會は全然別個に擧式されるから拜賀式には市民多數參列せられたしと

歲旦祭　午前九時より鞍山神社

拜賀式　午前十一時より小學校講堂に於て着席、敬禮、君ケ代合唱、御眞影奉拜（最敬禮）

祝賀會　正午より實業協會堂に於て一同着席、祝辭、祝宴、萬歲三唱閉宴

商協役員會

鞍山商店協會では二十一日午後七時より實業協會堂に於て役員會を開催し消費組合撤廢問題の件に就き協議する處あつた

糶市場休業

鞍山魚菜糶市場會社では三十日まで普通營業なし三十一日より翌年一月四日まで休業して五日初市を行ひ六日より平常通り營業すると

青訓所修了式

鞍山青年訓練所では二十一日午後七時より小學校講堂に於て第四回終了證書授與式を擧行したが定刻日向主事挨拶あり證書授與された が本年修了者は四名であつた

遼陽

年賀郵便取扱

遼陽本町郵便所では廿五日の祭日も廿七日の日曜も年末に付一般の便宜を圖る爲め午前中だけ爲替貯金事務の取扱ひをなすと

一、十二月二十五日（祭日）午前九時より午後四時迄

一、同二十七日（日曜日）午前九時より午後五時迄

一、同三十一日（休日）午前九時より午後五時迄

瓦房店

年末の郵便局

瓦房店郵便局にては年末も近づき例により年賀狀の山をなすは勿論爲替其他の事務で大多忙を極めて居るが日曜祭日には左の如く執務する由

森修一氏逝く

松樹附屬地の草分森修一氏は去る十五日胃潰瘍に罹り瓦房店醫院に入院治療中なりしが病氣急變して十八日遂に七十六歲の高齡を以て長逝した氏は青年時代より志士を以て自ら任じ內地臺灣滿洲等に於て名聲を馳せた人である晚年松樹に居を卜し農業を營み傍ら地方委員議長として地方のため盡力してゐた滿洲事變以來滿蒙の將來に大いに望みを囑し病中尙之を口にしてゐたが惜むべき事だつた葬儀は二十日自宅出棺神式にて執行盛儀だつた

普蘭店

納骨祠參拜

普蘭店警察署長牧田氏始め警官一同は二十日午前十時半當地日本人共同墓地に詣で納骨祠並に同僚の英靈に參拜するところあつた

警察武道納會

普蘭店警察署にては十九日午後一時より武道納會を開き牧田署長以下全署員演武場に出場劍道及柔道の試合を行ひ午後四時無事終了

金州

小學校學藝會

金州小學校全兒童の學藝會は十九日午後一時から同校講堂に於て開かれたが父兄を始め觀衆多數あり盛會であつた

萬事は戰時氣分 門松も影を潜む 例年にない旅順の歲末

【旅順】世を擧げて戰時氣分の年の瀨を迎へてゐる世相に加へ打ちつゞく不況の深刻化、部隊の出動と淋しき旅順市も本年末は忘年宴、贈答品、門松等も多數廢止する向多く隨つて例年なら一度十組、二十組の贈答品注文もあるのと如上の注文は絕無で僅か二圓から五六圓迄の品物が五、六組宛求に昨今の市中商人間を覗いて見ると不況ばかりでなく時局柄の遠慮も多分に含まれてゐる門松の如きも市役所、昭和園の如きは率先廢止と決定し市中でも大分取止める方面が多いことは例年に見ないことである

怪盜事件で 長春の警戒

【長春】長春警察署では最近客馬車掠奪といふ怪盜事件が頻發するのでこれに極度の憤慨をなし總動員で警戒に當つてゐるが何さまカン〳〵に凍ついた雪の上を零下二十數度の暗夜を突いての警戒であるためその苦心は並大抵ではない廿日は午後二時半頃平島、日高兩刑事一隊（張、李、周刑事巡捕）……

歲末と病院

【旅順】數十年來に無い暖氣つゞきの旅順は茲數日間は全く初秋の如き感じである、又例年續出する傳染病の如きも時局柄？人心の緊張振りで病魔の侵入を許さず療病院のスチーム煙突も力弱い煙りを吐いてゐるのみであるから惜しい年の瀨をよそに越年する關東廳旅順醫院入院の患者を調べて見ると內科の十六名、小兒科の二名、外科の十名、鼻耳科の四名、產科の九名、計四十一名であるが比較的輕病者と云はれる患者は矢張り自宅で正月を迎へたいと云ふので大晦日迄には多少の退院者を見るであらうと

入江滿電專務

【安東】南滿電氣株式會社專務入江正太郞氏は技師長古泉光男氏を從へ十九日午後九時着列車で來安田村安東支店長其他に迎へられホテルに旅裝を解いたが記者に語る 朝鮮總督府並に電燈關係方面の挨拶に行く途中一寸田村君と打合せ事項があつたから下車したのだが二十日午後九時三十分發で京城に行きます奉天にも一寸下車したが漸く省政府の樹立を見形丈けは出來た樣である關東軍と哀金鎧の仲は未だ氷解して居ない模樣であるがこれは最初關東軍が袁の了解を得ずして四民維持會を組織したのが袁の反感を買ひ仲違ひになつたものらしい

不景氣故の多忙 安東署保安係の昨今

【安東】金錢貸借の說諭願其他保安關係の事件は毎月安東署に持込まれ多忙を極めてゐるが不況と歲末の昨今は益々增加の傾向を示し平月の二倍にも達してゐる有樣にて保安係は輸手古舞の光景を呈してゐるが矢張り金錢貸借、工事關係の賃金支拂說諭願等が首位をしめ次には家出人の搜査願等で夫婦關係の離婚等のゴタ〳〵は餘り無いとの事であるが安東署の保安係を通じて見ても不況の深刻が窺はれる

……は城內西關道街に於て趙子珍ほか四名の一味を逮捕署に引揚げたがこの一團は拳銃二挺彈丸二十六發を所持してゐた、更に二十一日午前一時頃には唐、呂の二刑事巡捕が白換章ほか二名を吉野町四丁目料理店双寶堂、同町長樂堂、三笠町四丁目金順堂の三ケ所で一名宛逮捕したがこの一組は拳銃二挺彈丸二十七發を所持してゐた、何れも附屬地を襲擊すべく計畫中だつた旨自白してゐるが最近長春城內及附屬地內には二三名から五六名組の小團體で入込んだ匪賊が相當あるらしく歲末を控へ警戒特に嚴重を極めてゐる

旅順青年義勇 警備隊後援會

【旅順】十九日午後一時から市役所に於て開催された旅順青年義勇警備隊後援會發起人會の結果事務所は市役所內に置き幹事は六十四名とし常務幹事には隆山助役を推す事となりて募集せる會員は特別會員として毎回五十錢、通常會員は二十錢いづれも醵出する事とし必要に應じ徵收し警備を徹すると同時に本會は解散する事と決定

滿鐵現業員 河北へ派遣

【大石橋】河北驛に於ける列車機關車修繕の爲め齋藤機關區長以下修繕方二十名本日午前九時十分發列車にて出發宮下保線區長以下八名は午後零時發列車にて出發したなほ修繕方乘務員保線區員十五名（三十名）は不日出發の豫定であるがこれが補充は大連瓦房店より派遣される筈

匪賊威嚇射擊

【安東】匪賊の一團が林家臺驛を襲擊し驛夫二名の死傷者を出した事は既報の如くなるが其後も同地附近は不安去らぬ爲め連山關守備隊では十九日林家臺西方の山中に向け山砲一七發、曲射砲九發、平射砲八發計三十六發の威嚇射擊を爲す處あつた

驛員家族避難

【遼陽】遼陽管內十里河沙河間には最近全勝等の率ゆる有力なる匪賊が絕えず出沒附近部落を掠奪しつゝあり何時驛附屬地に襲來するやも知れずと同驛員六家族は二十二日遼陽に引揚ぐることになつた

遼陽着陸場の 附屬建物竣工

【遼陽】遼陽の飛行機着陸場の附屬建物百六十餘坪は長谷川組出張所の請負で施行中のところ二十日全部竣工したと

海城送電工事

【鞍山】南滿電氣鞍山支店でかねて計畫中であつた海城々內に送電する工事は總工費約五萬圓を投じ鞍山及び海城の變電所を新設することに決定し現在三千三百ボルトを六千ボルトに昇壓工事に着手し一月十五日までに之が竣工を了へ十六日より送電開始する豫定であるが海城々內では一般に點燈を期待されて居る

蓋平民會成立

【大石橋】蓋平城內に於ては從來十五日會なる會合ありて居住邦人十二名の和親を計つて來たが時局に際し軍部の慰問その他代表者選出等の場合必要上居住民會設立の議起り十九日午後一時より城內俱樂部に於て居留民會を發會したの役員を推擧した

蓋平城內居留民會々長木村國太郞、同副會長小川俊三、會計係青木正吾

鐵嶺中學校長

【鐵嶺】鐵嶺縣立中學校長楊春霖は事變勃發後何れへか逃亡して行方不明となり爾來校長缺員の儘であつたが縣教育局では人選の結果銀州小學校長鄭祿氏を任命し小學校長後任には同校主席訓導宋傳如氏を任命二十一日就任した

旅順

本年火災件數

一月六日午前九時から開始する昭和園前空地の消防出初式は既報の如く竹梯子試乘救助演習、消火演習を行ふが本年度における旅順市の火災度數及び發火原因損害額は左の如くであつた

▲出火度數十二回▲損害價格一萬四千七百九圓▲火氣の傍で油類取扱の不注意四▲煙突の破損及掃除不充分五▲煙草吸殼の不仕末三

兎耳鷲目

上京中の竹中市會議員は二十日永山市長宛左の如き電報を寄せた 新國家建設其他の地に在滿邦人は熱狂してゐる際奉天中心主義を唱へるものあり滿蒙經濟の本據たる關東州を見捨てんとす、北際州內商工者の總動員を起し將來滿蒙開發に處する經濟上大方針を決定し政府は勿論軍部滿鐵に意見書を提出し州內を滿蒙の商工業者の中心たらしむべく徹底を期せられたし

◇

旅順觀世流正謠會では來る廿七日午後一時から同會に於て辛未忘年謠曲會を開催するが出し物は

▲素謠　和布刈、葛城、班女、鉢木、舟辨慶

▲仕舞　熊野（難波愛子）紅葉狩（笹本滿子）小子洗小町（澤口好子）網の段（齋藤清子）松風（古島節子）蟬丸（阿部かなめ）經政（澤治子）笠の段（高木美喜子）殺生石（石稻本勇）

▲番外　玉葛、稻本新右衞門

◇

獻金

井原半三、橋爪集二氏は二十日附を以て巡查を拜命した

金三圓加藤春子▲五圓土屋信民▲五十圓長尾豐治累計一四四八圓▲十圓（在旅順戰傷者へ）小路次郞

沿線往來

▲山西滿鐵理事　廿日夜來奉

▲多門第二師團長　廿一日朝來奉同日北行同夜鐵嶺一泊、二十二日朝北行

▲佐野關東軍經理部長　廿一日遼陽へ

▲嘉村少將　二十日夜來鐵一泊二十一日早朝離鐵

戰死者弔慰金

【鐵嶺】馬家寨の激戰に陣歿せる勇士に對し滿鐵正副總裁より弔慰金として奥村少尉に金六百圓、嘉納曹長、小林、齋藤伍長に金四百圓づゝが贈られた、尙小林、齋藤伍長の遺骨は廿一日より觀音寺に安置されてあるにつき心ある人達は隨時參拜されたしと

鞍山の銘酒

【鞍山】鞍山大和町白松酒造合資會社釀造場では內地銘釀の賀茂鶴そのまゝの白松が愈々釀造されたので來る二十五日正午より北三條町盛海洋行分店において發賣することゝなつたが一般左黨に期待されてゐる同會社では全滿的に販路を擴張し賣出すと

奉天施粥開始

【奉天】奉天省政府では既報の如く大東門、大西關、北市場、南市場工業區、大北關の六ケ所に粥廠を設け貧民の救濟をなす事となり諸般の準備を急いでゐたが今回愈々整つたので一兩日中開始することになつた、尙救濟方法は一日に高粱粥一萬人分を給し百日間これを續行する筈である

新年互禮會

【遼陽】遼陽在住者は元旦正午公會堂に於て新年の互禮會を催し一般の廻禮を廢止することに決定したので參會希望者は會費金三十錢を添へ地方事務所、各區長、居留民會へ申込まれたしと

長崎縣慰問團

【遼陽】長崎縣在鄕軍人聯合會長伊吹大佐、東彼杵郡朝長大佐、南高來郡樋市郞左衞門大尉の一行は軍隊慰問として二十一日來遼師團司令部を初め軍部慰問衞戍病院に傷病兵を見舞ふた

第二の反抗（110）

三宅やす子　阿部金剛畫

女同志（十四）

「うちに歸るの？ぢや丁度いゝ。一緒に行かう」

「……？」

「……？」

二人の女は驚いて敷衞をみまもつた。

冗談か、ほんとか——どうしたことか。

二人の女性の驚きを後目にかけて、敷衞は、すら〳〵と云つてのけた。

「君のお父さんには用事があるんだ」

その御用なら——とお靜は喉まで……すべつて……

其代りに、出來ることは、勞力で手傳つてほしいと云つたのに……」

「父は、いつでも働きに伺ふと云つて居ります」

「アハヽヽ。よぼ〳〵なおぢいさんは、もう若い者の半分にも通用しないよ。仕方がないから若い者が代りに」

「と云つても、今、うちでは—」

「畠の仕事許りが働きぢやない。お靜さんに家事を手傳つてくれと云つても、親父、頑固で、きつい事りやうだ。まるで、俺が何かわるい者のやうに疑つてるんだ。失敬な話ぢやないか。意地になつたのはそこんとこだ。親父さんさい……折れて出りや、こつちも少し許りのことを、急に兎や角云ふんぢやない。一寸した意地づくで、話はこぐらかつてくるんだ」

「…………」

「聞けば東京に嫁入りするつていふことだが、いつ嫁入りするの？相手はどこの男？、人の噂ぢや、それは表向きの逃口上で、藝者に賣られて周旋屋の手に渡るんだつて評判が專らだよ。どうだい、その方がほんとうらしいな」

「あなた」

佐枝子が良人の袂をひいた。

「そんなこと、よその方の事に立入ることないぢやないの——歸りませう」

「歸つてもいゝさ——ぢや、お靜さん。明日一杯の約束に間違ひはあるまいなつて、よくお父さんに念を押さとくれ、今度こそ、こつちも出やうがあるから」

「ハイ」

とお靜は興然に答へた。

「きつと、持つて伺ふやうに、よく申傳へます」

「待つてくれたら待ちもし……」

「……？」

「世話になつたといふ氣持が少しもないんだよ」

「そんなことは——決して」

「でなけれやあ、少しは、こつちの云ひ分も立てゝくれさうなものぢやないか」

「そのうち——か。それはもう聞き倦きた。つまり、君の親父には誠意がないんだよ」

「…………」

お靜が、なだめるやうに云ふのだ。

「父もそのうちお伺ひしますから」

佐枝子は、白けてくれて立つた。

「何の御用かしらないけど、夜なんて駄目よ」

一つぶつてうつむいた。

……たら何にもならない——お靜は目を……。しかし、懷にいまいれたものは、佐枝子の懷だ。その佐枝子の懷が、もしこゝで暴露してしまつ……立派にあなたのこゝろに、父が持つて上ります。と云ひたいところだ。

SANTE

醫學博士 藤澤好雄氏創見
臨床大家四十餘博士實驗推奬

肺結核の革命的治療藥

サンテ

「サンテ」を實驗推奬せられたる

臨床諸大家

【イロハ順】

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山暢昂氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 濱田良輔氏
醫學博士 半田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 豐田正達氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 渡邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 高橋三千彦氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 内藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 内田謙益氏
醫學博士 内野淺次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 黒岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 増田貞一氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 蘆名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寛氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀潔氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂保氏
醫學博士 杉田貞之氏

何が故に革命的治療藥と云ふか？

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

勿論、熱が高く、食慾進まず、盜汗甚だしく、下痢を伴ふ、などといふ場合には、患者の疲勞を救ひ、不快感を除く爲めに、此等症狀に對する對症的處置を講ずべきであるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の産生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の効を爲さないのである。又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絶滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。

斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて、舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上効果あるべしと稱せられたもので、臨床上の効果擧がらず、期待の裏切らるるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい効果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せらるる所である。

藤澤博士は、その報告書の中に於て、結核に對する自己の信念を述べ、本藥發見の苦心を多大の滿足を以て回顧せられてゐる。

其他四十餘氏の著名なる諸博士が「サンテ」を臨床に應用して、如何にその驚異的偉効を讃嘆して居られるか、如何にその効驗に滿足して居られるか、委しくは各博士の報告書に依つて知る事が出來るが、斯くまでに知名の諸博士が口を揃へて賞讃せられてゐる事は他に全く例のない事である。

◎「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、**一號**（有熱用）、**二號**（無熱用）、**三號**（虚弱質用）、の三種がある。これも藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有効に働く事か云ふ迄もない事である。

◎「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用、習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徴としてゐるから、他の藥物と併用する場合があつても何等妨げないのである。

【適應症】 肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管支加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】
「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虚弱質、榮養不良に適す

【藥價】
「サンテ」一號　一二〇錠 二円八十錢　三六〇錠 八円十錢
「サンテ」二號　一二〇錠 二円八十錢　三六〇錠 八円十錢
「サンテ」三號　一二〇錠 二円五十錢　三六〇錠 七円二十錢

◎別に醫家調劑用粉末の用意あり

◎先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核豫防劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に

結核藥オンパレード の感がある

位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわずらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す効力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制限するとか、食慾を進めるとか、咳嗽を抑へるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜藥にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる筈がない。その正體に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は、自分自ら

治る希望を捨てた人 と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか―

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾、結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理効果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見えやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し、而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに

その源を究めずして 單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その効果の手近な證明は、「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

―食慾大いに増進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
―微熱去り、平温となる
―ねあせ止み、夜間安眠する事を得
―胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
―咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
―肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
―ラッセル消失す
―下痢鎭靜す

斯くの如き著明な症狀の減退が、「サンテ」の服用後、早きは四五日

おそくも一週間目頃 からメキメキと現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、日増しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も増加し、歩一歩全快への堅實な歩みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられ、その効果を賞讃せられてゐる。

單なる症狀の沈靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏効を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ操作用して忽ち殺菌排毒の効果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ

始めて本當の治癒が そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又、少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれども其の必要なし）唯一劑のみにて充分各種の効果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せらるる所である。

御注文方法

◎御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◎御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用が御便利、前金の御注文には送料を要せず
◎代金引換便ならば御注文主にて送料御負擔の事

大阪市東區北濱一丁目

參天堂株式會社學術部

振替貯金大阪三五七番

婦人世界

新春雜誌界の花形

本号特價八十錢（郵稅五錢）

新年五大附錄號

滿蒙生命線の擁護に立つ婦人　本社特派員飛行便

★遼陽の留守宅に多門師團長夫人と語る★不安の長春に長谷部旅團長夫人を訪ふ★北滿の曠野に可憐な乙女の活躍★滿洲を守る婦人（歩兵第三旅團一磨大尉夫人瀧本せつ）

◎出征兵士慰問の大役を果して……東京日日根岸順子・出高女澤道子

一將校の戰地日記

……滿洲派遣軍×××聯隊附中尉

今年から斯うして家庭生活の無駄を省きませう

■日用品の上手な買ひ方■私の實行してゐる小額貯金法……（田中良）■豫算生活による現金買ひのお勸め……（島田房吉）■中產家庭の家計簿公開

（そしてここに浮んだ時間とお金とで、今日に處する方策と明日に生きる用意とをゆつくり考へませう。）

澁澤榮一傳　白柳秀湖

明治日本が晴やかな産聲をあげた時、澁澤翁はその産婆にも等しい人でした。以來、進みゆく我が國運の中には、翁の血のにじむやうな大勢力が織り込まれてゐます。今この巨人の終焉に當つて、翁が日本史に描いた一筋の太い線を辿つてその功績を偲ぶことは私共の義務です。

時事問題の解說……前田多門
誰れにもわかる銀行の話……松村金助
新聞經濟面の見方……芳川徹
經濟封鎖と婦人の覺悟……道野久
經濟封鎖と自給自足……下田將美
實修で特殊な男女共學……特派員
畫人の舞臺……田口掬汀

米國婦人にわれら何を學ぶか……賀川豐彦
嫁姑和合の秘訣……前内相夫人安達雪子
冬生れの赤坊の育て方……宮川浩
子供の躾け方についての注意……青木誠四郎
變つた婦人の生活探訪　處女を捧ぐる巫女の生活……三條榮

早川雪洲第二世をめぐる愛の三重奏

雪洲と青い眼の名女優との間に生れた混血兒雪夫君をめぐる父性愛と母性愛の痛ましい物語

■猿蟹合戰後日物語・松井翠聲■衣服整理十二ケ月（正月の巻）・山下榮藏
■猿と人とのロマンス・藤澤衛彦■（洋裁講座）子供服の作り方實際・牛込ちゑ
■猿廻しのアトモスフエア・堀川與二郎■（奥様大學）醬油と砂糖の使ひ方・一戸伊勢子

創作欄

小說　秘密の信賴……廣津和郎
小說　心中櫛……佐々木味津三
連載小說　鳩笛を吹く女……吉屋信子
小說　慰屈夫人……里見弴
連載小說　焰姫……三上於菟吉
連載小說　スペードの女王……大佛次郎
長篇小說　半處女……丸木砂土
諧謔小說　求婚五十三次……高田保

花形選手の母を訪ふ

リーグの花　早大の至寶　伊達投手の巻……柳川麗子

渡邊崋山と母……笹川臨風
映畫俳優自傳　黑い胡蝶……高田稔
美容小說　第二の誕生……早見君子・草村三四郎
長篇飜譯小說　四人姉妹……松本惠子
この他料理、手藝、スポーツ、映畫記事滿載

漫畫
浪費癖と貯へ癖……前川千帆
孫悟空物語……水島爾保布
ケンチヤンのお正月……麻生豐
モダン人情百人一首……田中比左良

今月の衞生
子供の齒痛の應急手當……杉山不二一
凍瘡ひびあかぎれの豫防と手當……田村石市
女教員の冬の衞生……平石貞花
婦人病によく効く溫泉の話……谷口梨花
私の實踐鬪病術……岡戸武平
冷え込みを手輕に癒した體驗

第一附錄　山脇敏子女史創案　四五歲女兒用外套　着色假縫型紙

第二附錄　本社編輯部新案　直ぐに役たつ一年中のお料理寶典

第三附錄　牛込ちゑ先生考案　三四歲兒　胸継ぎ型スモツクドレス　型紙

（一目見れば直ぐ誰にも出來る着色型紙）

第四附錄　本社編輯部案　愛兒のための玩具の選び方與へ方

第五附錄　本誌編輯部新案　一家族で樂しめる野球双六

十六日發行

今すぐ書店へ御申込下さい

東京市芝區愛宕下町二ノ一
振替東京二三三七七番
婦人世界社

曙の鐘 (147)

倉田潮

河野想多畫

冬の旅（二）

あけみは人力車からおりて、薄暗い農家の敷居をまたいだ。十坪も敷かろ、だゞ廣い土間が家の右側にあつて、その一番奥のながしもとに紅々と火が燃えてゐた。が、幾度訪れても、返事が無かつた。留守なのかと思つて其の火のあたりをよく見ると、四十五六の袢纏を着た女房が片面を紅く灯の色に染めながら焚木をくべてゐる。農家の人の耳には小さい聲は這入らぬのかと思つて、今度は鋭く、

「もし〳〵」と叫んだ。「こちらにたえ子さんと云ふ人はをりませんか」

女房は吃驚して、火の前で振り返つた。顔が暗く、ごましほの髪が明るく見えた。彼女はやゝ暫くあきれてゐたが、長い火箸を持つたまゝ、あけみの側に歩みよつて

「春木さんは警察によばれて行きやんしただよ。それに、たえ子さんて人は昨日嬉しいとか云つて外へ移つて行きやんしただがれ」と答へた。「あんたはハア東京から御越しでござんすかい」

「さうですわ」とあけみは暫く考へこんでゐたが、「で、たえ子さんは何ちらへ移つて行かれたの」

「あんでもハア梨木とか云ふ赤城山のふもとの鑛泉だとか溫泉だとか云つてましただよ。とてもハア安くてひびてえ五十錢であがるとかで、春木さんが別れるときに、『そけへ行つてろ、警察へつながれても直ゆるされべえから、そけへ行つて養生してろ』ちつたもんで……」

「その梨木と云ふのは何處から行くんですの」

「あんでもあしゆう（足尾）鐵道へ乘んだとか云つてたつけが、何處から何う行くもんだかハアちつともわしにあ解んれえだがれえ」

あけみは車夫に聞いたら解るだらうと思つて、一と先づ其の家を辭した。車夫は案の條道順を知つてゐた。こゝからは伊勢崎へ出た方が早いとのことだつた。あけみは殆ど失望を感じなかつた。何處までも追つて行つてやれ――さういふ烈しい氣持で、すぐまた車上の人となつた。

人力車は利根川の岸の雜木林の路を川下に下り初めた。夜が來て梢をすかして星をちりばめた冬空が薄青く、車夫の吐く息が暗がりに白く見えた。林の絶え間には岸の下に唸つて流れる川水が凄く光つて、反對の側には赤城の山腹に野火が紅い一文字を畫いてゐた。

あけみは夜を恐ろしいとは思はなかつた。夜氣は冷たかつたがガラスの切口のやうに清くすんで快よかつた。

足尾鐵道を赤城山麓でおりたのは夜の十時過ぎだつた。驛の前に將棋の駒のやうに散つてゐる寂しい人家は、總て戸をとざして眠つてゐた。驛に戻つて訊くと、梨木まではまだ山路二里あるとのことだつた。あけみは大膽に其の山路をたつた一人で歩いて行かうと思つた。

道は割合にひろく、斷崖の上に切りひらかれてあつた。が、右の深い谷間をのぞくと渡良瀬川の溪流が蛇の鱗のやうに光つて流れてゐた。左には杉林が空に高い黒壁を立てかけたやうに見えた。

あけみは寂しいとも思はなかつた。しかし落つきはらつて、フエルト草履の歩みをゆつくりと運んで行つた。

道は川と別れると、杉の壁をも捨てゝ、雜木林の中に這入つた。左には細い谷川がせんかんとして流れてゐる。夜更けて出る冬の月が利鎌のやうに梢の梢に引つかゝつて、薄白い煙草の煙に似た雲を切つてゐた。

あけみは清い山の空氣にますます心が澄んで來るのを覺えた。自然がそつと人間に隱しておいた冬の夜の秘密の中に、一人足を踏こんだやうな神秘的な氣持がした。

と、其の時忍びやかな小さい人の聲が、下の谷川の中からかすかな山彦を伴つて聞えて來た。や、驚いて立ち止まつて崖の灌木の間からそつと下をのぞいて見た。鐵線の束を投げたやうに月光に輝いた水を横切つて、黒い二つの人影が何事をか小聲に語りながら、こつちの岸に近づいて來るのが見えた。近づくと炭燒きの人夫だつた。あけみはその二人から梨木礦泉がすぐ近くに迫つてゐることを聞いた。

新刊紹介

▲毒鼓（十二月號）新樂土の建設（田中智學）國民性と社會的實踐（山川智應）妙法蓮經如來神力品講義（長瀧智大）重大時局と國民の覺悟（星野武男）價五十錢、東京下谷鶯谷天業民報社

▲愛誦（新年號）詩話（三木露風）討篇愚かしき英雄（加藤介春）ほか十篇、我が郷土の謠と傳説（大塚徹）詩壇人國記東海の卷（澁谷榮一）民謠、小曲童謠に水仙の花（生田花世）悲劇 間司恒美）など十二篇、短歌に星を仰ぐ（生田蝶介）谿（小瀧空明）など（價四十錢、東京市小石川區江戸川町十八交蘭社）

▲實業の滿洲（十二月號）價三十五錢、大連市紀伊町八十五番地滿洲農事協會

▲青泥（第二十一號）價十錢、大連市久方町五大連川柳社

▲東京パック（新年號）現代日本の國運を賭した大問題たる滿洲事變のその波紋を受けて編輯された東京パックを見るのも面白いだらう 價二十錢、東京府巣鴨町宮下一六六三番地東京パック社

▲報告（創刊號）創刊の辭に、我々は報告すべきものを持つが故に報告する、とある（價三十錢東京市外入新井町本原山一七二番地チップトップ書店）

▲進撃（十二月號）價十五錢、東京市外代々幡町代々木初臺六二一大衆日本社

▲神道の友（一月號）價二十錢、東京市外目黒町下目黒九六四双人社

▲極東評論（第三十卷）價五十錢東京市麴町區内幸町一ノ六極東評論社

けふの放送

大連 JQAK 十二月二十三日

▲午前七時ラヂオ體操

▲午後五時二十八分（内地中繼）家庭電氣講座「電氣治療の効果各種家庭用保健衛生器具に就て」醫學博士田村春吉（以下大連放送局より六時）

▲ニュース（以下内地中繼六時三十分）

▲座談會「今年の景氣を顧る」（大阪より）東洋紡績株式會社社長阿部房次郎、大阪商船會社專務村田省藏、大阪鐵工所專務倉島幡、大阪商工會議所理事法學博士高柳松一郎、大阪商科大學長法學博士河田嗣郎、三井物産大阪支店長田島繁二、山口銀行常務佐々木駒之助、東京火災保險取締役平生釟三郎（司會者）大阪毎日新聞社經濟部長下田將美（東京より）「來年の景氣は」愛國生命保險會社長原邦造、日本商工會議所理事渡邊鐵藏、慶應義塾大學教授向井慶松、東京朝日新聞編輯局顧問牧野輝智、王子製紙會社長藤原銀次郎（司會者）中外商業新報社長簗田欽次郎

（以下大連放送局より）

▲合唱（イ）四部合唱サンタルチヤ（ロ）三里祭「山田耕作作」（ハ）三部合唱野ばら「シユーベルト作」滿鐵音樂會、演奏部員

▲職業紹介事項

▲天氣豫報

▲ニユース

少年倶樂部の威容

新年號少年倶樂部は山を守る兄弟（大佛次郎）仰げ榮へ（三上於菟吉）地底の影（野村胡堂）その他新蔵八篇は兒童讀物として清新潑剌、附録は軍艦三笠の大模型、公極探險大双六、熱狂大野球盤、日本一大畫報、少年美談讀本、漫畫愉快文庫

キング新年號

正月の家庭讀物として材料精選豐富なる點に於て又安價なる點に於て、讀界の王と歌はれるキングは特に紐育の或女優のキツス代收入の慈善會の話や發明王エヂソンの話等社會萬般物知り漫畫讀本の名を縱しいまゝにしてゐる

メンソレータムの美擧

世界的家庭常備藥として有名な同品は今般滿洲軍慰問品として大連關東軍司令部あてに一萬五千個を寄贈した由

滿洲日報

別働隊本據地へ向ひ けさ七時進擊を開始

わが部隊の士氣振ふ

廿一日夜高中橋、古城子に假泊した獨立守備第○大隊は廿二日朝七時を期して通江口方面の匪賊討伐のため進擊を開始し、石佛寺、娘々廟に假泊した第○及○○旅團は廿二日朝七時共同動作の上、法庫門方面に向け進擊中である【開原電話】

【別報】兵匪の夜襲に備へつゝ肌を劈く寒氣の中に一夜を鐵嶺西北方七里老爺廟に宿營した○○旅團は二十二日朝六時三十分同地出發いよく別働隊の本據たる○○○へ向つて進擊を開始した、將卒意氣軒昂にて午後二時頃○○○の敵を一擧に殲滅し入城を期してゐる

掃蕩區域二十五邦里 昌圖奉天間に亘る廣範圍

二十一日午後五時守備隊發表＝獨立守備隊第○大隊は自動車にて奉天より進軍し廿一日夜石佛寺に宿營の筈なほわが軍は目下行動中のもの約○○○名にして賊の掃蕩區域は昌圖奉天間百三十キロ三十五邦里に及ぶ廣範圍である【開原電話】

第○大隊營口に到着

廿一日午後臨時列車にて營口に到着した○○○○第○大隊は同夜民家に分宿した【營口電話】

對日開戰進言 榮臻、馬占山から學良に

【天津二十二日發】榮臻、馬占山から張學良に宛て次の如く對日開戰を進言した

戰機愈々切迫す一日遅れる事はそれだけ日本軍に準備の餘裕を與へるものである、日本軍は皇姑屯で大々的戰備を整へてゐるからこの際卽日對日態度の決定をなし積極的軍事行動開始命令を發せられたし

匪賊掃蕩行動 終日繼續

奉天以北滿鐵線以西の三角地帶の匪賊殲滅行動は廿一日終日繼續され匪賊の大部分を西方に驅逐し日沒と共に一日討伐を中止し逆襲を警戒野營してゐる【奉天電話】

河北驛への渡航中止

營口に待機中の第○○聯隊は廿二日早朝某重大任務を帶びて河北驛へ渡航の豫定を以て廿一日全部非常な緊張裡に出發の準備を整へ夜となつてから碎氷船奉天丸およびライターに積込を終へ準備を整へてゐたところ同夜深更に至つて突然出動は取止めとなり積込みの荷物もまた再び元へ卸された【營口電話】

退却する兵匪を追擊

二十一日午後五時守備隊發表＝四平街を二十一日午前七時出發せる第○大隊は正午慶雲堡に到着せしが兵匪はわが軍の前進を知り西方に退却しつゝあるをもつて全部隊はこれを追擊しつゝ前進中なり二十一日夜は前双樓臺二道溝（四平街西方六邦里位の地點）に宿營の筈である【開原電話】

わが驅逐艦二隻 今曉秦皇島へ 同方面の形勢惡化し

旅順在港中の十六驅逐隊刈萱、芙蓉の二艦は廿二日出港豫定のところ、同日午前二時秦皇島附近形勢不穩のため急遽緊急呼集を行ひ同四時同方面に向け出港した、また港外碇泊中の軍艦八雲は二十五日大連に廻航される筈のところ中止され旅順碇泊のまゝ待機を命ぜられた

驅逐隊某方面へ

在港第十三驅逐隊吳竹、若竹の二隻は二十日午前八時旅順出港某方面に向つた

各地別働隊が相呼應

開原の西方莊老臺に四百名の匪賊廿一日夕來活動を始めたが更に通江口にも四百名の別働隊あり康平には六千名あり此等匪賊は莊老臺と相呼應せんと策動中である【奉天電話】

支那調査委員決定 委員長にリツトン卿

【パリ二十一日發】ジュネーヴよりの報道に依れば聯盟の支那調査委員會は大體左の顏觸で組織される事に決定した

委員長 リツトン卿（英前印度總督）
委員 クロノデル將軍（佛軍事評議會委員）
同 シュネー博士（獨前獨領東アフリカ總督）
同 アルドブランヂーニ伯（伊前駐獨大使）
同 ハインズ大佐（米國鐵道專門家）

但し右の中には承諾を回答せるものあり又日本にも今のところ正式承認を求めてゐない

顧部長の聲明

【南京二十一日發】外交部長顧維鈞氏は本日滿洲は支那に取り缺くべからざる部分であるとの意味の聲明を發したがその中で滿洲は支那の確保に依り平和の障壁となるが、日本で占領せば戰爭の搖籃地とならうと虫のよい事を述べてゐる

英米兩國を救ひの神 學良頻に策謀

【北平廿一日發】張學良は北方各省主席會議を開き又は政務委員會の組織等新に活路を開かんと努めて居るが、一方得意の遠交近攻策を以てイギリスの援助、アメリカの支援を求めんとし、米人顧問ドナルド氏を最近南下せしめ米公使ジョンソン氏と會見せしめて居るが、北平歸來後は英、米を救ひの神と祭り上げ日本を牽制すべく策謀をめぐらして居る

民衆が信頼し得る滿洲新政權が必要 釜山にて南大將語る

【釜山二十二日發】政府と軍部の重大使命を帶び急遽渡滿の軍事參議官前陸相南大將は川添副官帶同連絡船で釜山上陸直に九時十分發特急で北行したが、大將は往訪の記者に左の如く語つた

滿洲問題の軍事行動は既に一段落を遂げなほ錦州政府ありと雖もこれを除けば意とするに足らぬ、只問題は今後の政權問題で今回の事變は滿洲に一つの革命が起つたものでその主眼は舊政權の驅逐に在る、故に

舊政權に 關するものは全部山海關內に撤退しなければならぬ、要するに根本原則は獨り日本のみならず支那といはず諸外國といはず、完全なる治安維持をなし得る政權を確立してその幸福を圖るに在る、幸ひその後奉天、吉林、齊々哈爾、洮南等各々新政權の一大進展を來し去る九月十八日事變發生以來僅か三ケ月に過ぎざるもほとんど舊政權の存在を見ず逐次改編せられつゝある、日本は今の政權が四省聯立であらうが何であらうが論ずる必要はない、要するに確乎たる民衆の生活を保障し眞の

交涉相手 となり得る政府であれば良い、若し日本の依頼し得ざる政府が出來るとすればその政府は一日の存在も出來ないといつて良い、今回の視察は所謂事變後の行政、產業、治安等一般的視察をなし來月九日歸京する豫定であるが、この結果が滿蒙問題を解決するかどうかは諸君の考へにまかす、事變の餘波が北滿より次第に安奉線方面にも及んで來たと聞くが口ばかりで彈もろくに持たぬ支那兵のことだ、大したことはあるまい

閻、馮兩氏に出馬懇請 太原市民大會

【北平廿一日發】太原の市民大會は二十日開會され、閻、馮兩氏に出馬を乞ふこと及び更に學生請願……

我軍便乘の列車顚覆 昨夕北寧線で

【天津特電二十二日發】二十一日午前十一時天津を出發せる警備中尉の指揮せる三十名が乘車せる列車が午後五時頃灤州近くの沙河附近にて支那兵により鐵道が破壞されてゐた爲め同列車が數輛脫線したるも幸ひに我軍の死傷者なく十時半遅れて無事山海關に到着した

……團を武力で彈壓し死傷者を出すに至らしめた省黨部員を銃殺に處すべしとの決議をなした

政治分會を再設 滿洲問題を交涉 あす全體會議に提案

【南京二十二日發】明日から開かれる全體會議に政治分會再設置案が上程され、北平に設けらるゝ北方分會は李石曾を主席とし中央、閻、馮、學良各派から四十名の委員を選んで組織する事に內定してゐる而して右政治分會の成立と共に東北政務委員會は解消する事となり滿洲事變の直接交涉も中央が當り東北は中央に接收される譯である

滿蒙問題を中心に日露意見を交換 芳澤大使露都に立寄

【ハルビン廿一日發】ロシア側消息によると、新外相に擬せられて居る芳澤大使は歸朝の途ベルリンより飛行機でモスクワへ向ひ同地でロシア側より外相リトヴヰノフ氏、同次官カラハン氏、日本側より芳澤大使、駐露廣田大使出席 **滿蒙問題を中心に日露外交官の重大な意見交換が行はれる筈** であるといふ、なほ芳澤大使はモスクワよりハルビン迄列車によりハルビンよりは最近開設されたハルビン奉天間の旅客航路を利用しハルビンより飛行機で奉天へ向ひ歸朝を急ぐと

沿線警備に關し輿論を喚起 議會出席のためけふ東上の 塚本關東長官語る

塚本關東長官は室田秘書官を帶同二十二日出帆ばいかる丸で上京の途に就いた、旅順よりは三浦內務局長、河相外事、日下殖產、有田保安、星子衛生各課長、安岡檢察官長、櫻井遞信局長等大連より辛島民政署長、小川市長をはじめ各警察署長、滿鐵より松本秘書役の代理として江口副總裁と共に別れの挨拶を交した甲板上「これで七遍目の船の旅ですよ」と例によつて靜かな口調で語り出す

政變來で又東京の政界の空氣もすつかり變つたらう、自分が辭めるとか、辭めないなんて事は口には出せない、だが出來得べくんば官吏は濫りに更迭したくないものだ、殊に植民地はその感を深くする、わが生命線たる滿洲に問題の渦卷く今日自分としても色々考へさせられる、上京の用件は議會に出席の爲で歸るにしても明春の話だ、今も永上署長の報告に接したんだが又安奉線で兵匪の爲わが警察官がやられたらしいが痛ましい限りだ、上京したら滿洲の最近情勢を各方面に知らすと共にこんな方面の事に關しても充分輿論を喚起したいと思ふ、どうだ今日のこのなぎ方は精進の好い故かな、荷物？トランクが三四個だけだ自分の旅行は奉天に行くんでも東京に行くんでも常に荷物はトランク三四個だよ

長官は氣安げに語つたが「太田臺灣總督は仲々腰が強いやうですよ」と水を向けると「そうく却々元氣な樣だね」と輕く笑聲でまぎらした【寫眞は乘船した塚本長官】

あす召集日を前に 朝野兩黨異常に緊張

【東京二十二日發】第六十議會は二十三日を以て愈々召集されるので民政、政友の朝野二大政黨は二十二日何れも議員總會を開き對議會陣容を整へる事になつた、卽ち政、民兩黨は議會劈頭議長、全院委員長、常任委員長選擧を行ひ攻防兩樣の戰備を爲す譯だが犬養內閣は既に議會解散說で進み二十六日の奉答文議事において野黨の出やう如何に依つては年內の解散をも辭せずと臍を固めてゐるので召集日を前に政、民兩黨は異常に緊張してゐる

解散は休會明に 野黨の態度如何で

【東京二十二日發】第六十議會は二十三日召集されるが、議會に直面して成立した犬養內閣は與黨の少數に鑑みて議會解散の準備を整ふる必要あり差當り地方長官の大異動を斷行したが更に內務部長、警察部長の更迭も年內に行ふ豫定である、しかし地方長官會議の召集は到底時日を許さぬので來春に持越すこととなつた、而して政府の年內における對議會策は二十二日與黨の議員總會を開き勢揃ひをなすが久原幹事長は暫く留任せしめることゝなり、年內の議事は議長選擧、常任委員の選擧等で終るが、議長、委員等はいづれも野黨に獨占せられるのも已むを得ない窮地に陷いるやうな作戰は殆ど有り得ないから來春休會明けにおける解散、非解散について反對黨の動きを探りこれに善處せば可なりとしてゐる譯である

貿易局存置か

【東京二十二日發】前田商相は政友會の傳統的政策たる產業立國の立前から前內閣の行財整理に依る貿易局廢止案を復活せしむべく決意し近く閣議においてその存置理由を力說強調する事となつた

貴衆兩院 各派分野

【東京二十二日發】議會召集を前にして二十一日現在における貴衆兩院各派の分野は左の通りである

貴族院	
皇族	御十六方
研究會	一四八
火曜會	二八
公正會	六六
交友俱樂部	三九
同和會	四〇
同成會	二九
無所屬	三四
計	四〇〇
缺員	三

衆議院	
民政黨	二四九
政友會	一七一
第一控室	二八
無所屬	二
計	四五〇
缺員	一六

近く發令の 陸軍異動

【東京二十二日發】近く發令さるべき參謀總長等の異動に際し參謀次長も更迭することゝなつた、而して異動の內容は嚴秘に附せられてゐるが、その主なる者は次の如く見られてゐる、卽ち閑院元帥宮參謀總長、金谷參謀總長の軍事參議官、臺灣軍司令官眞崎甚三郎中將の參謀次長、第三師團長川島義之中將の教育總監部本部長は動かぬところで臺灣軍司令官には第四師團長阿部信行中將、第三師團長には參謀次長二宮治重中將と豫想される

問題は阿部中將が臺灣軍司令官に廻る場合何人が第四師團長となるかであつて、第九師團長梅田謙吉、第五師團長寺內壽一、第十四師團長松井直亮三中將の內誰かゞ廻るか或は二宮中將が第四師團長に廻つて右三中將の一人が第三師團長に廻ることゝなるか未定の如くである、但しいづれの場合においても工兵監若山善太郎中將が師團長に親補されることは確實である

九州健兒は明朝門司を出發 御用船平榮丸にて

【久留米二十二日發】風雲愈々急を告ぐる滿洲へ出征の首途を急ぐ九州健兒第○○師團精鋭進發の日は來た、昨夜は營內における最後の一夜で近親知己との惜別送別宴等にゴッタ返したが、明くれば二十二日初冬の空は冴えぐと晴れ渡つてゐる、輜○○臺と機材器具を積載した貨物軍用列車は夜中既に全部の積み込みを終へ四時門司驛に先送され百武大尉の指揮する將士○○名は遙かに宮城を拜し聯隊旗に最後の訣別を告げた後ラッパの音も勇ましく步武堂々と營門を出で驛頭を埋める人の波、旗の波を分けつゝ乘車萬歲々々の動搖めきに送られて午前八時三十一分雄々しくも征途に上つた、斯くて十一時二十分先發の木原師團長以下幕僚に迎へられ門司驛發此處で山本少佐指揮の小倉部隊と合し出征部隊の編成を終へ故國における最後の一夜を明かし明日早曉御用船平榮丸に乘船出發する筈

久留米部隊 武運を祈願

【東京二十一日發】出動切迫した久留米第○○隊の派遣兵は武運長久を祈るため二十一日朝十一時百武隊長に率ゐられ高良神社に參拜修祓を受け御酒を戴いた、又小倉○○派遣兵は終日砲車馬匹の手入をなしたが正午には殘留兵との最後の交驩をなし冷酒を汲み交した、が明二十二日は午前九時營門發練兵場にて木原師團長の訓示を受けて後いよいよ出征の途に就くことになつた

勞働會議 使用者代表 片岡博士に決定

【東京二十二日發】明年開催の第十六回國際勞働會議に出席すべき日本の使用者側代表は關西側から詮衡中の處大阪工業會々長片岡安博士に決定した

人事

▲塚本清治氏（關東長官）二十二日ばいかる丸にて上京
▲室田寅雄氏（同秘書官）同上
▲伍堂卓雄氏（滿鐵理事）同上
▲斯波忠三郎博士（滿鐵顧問）同上
▲第十師團管下慰問團狩野育彥氏外八名 同上
▲首藤正壽氏（滿鐵理事）二十一日夜奉天へ
▲稻葉好延氏（大連基督教青年會總主事）新任挨拶のため二十二日市內各方面歷訪す

蛇角

顧維鈞、滿洲は支那の確保により平和の壁となるといふ、その確保が問題なのだ。

◇

北平政治分會は李石曾を主席とし、中央、閻、馮、學良各派から四十名の委員を出す豫定、豫定はどこまでも豫定。

◇

但し此れが成立するとき、特殊の東北政權といふものは解消して影が無くなる。

◇

それで東北の外交軍事權は法理上中央に移る、之れも法理上の問題だ。

◇

國際支那調査委員會の日本側參加委員に押されて居る吉田大使は曾て北平で代理公使を勤めた人、ロンドンに居てもトルコに居ても自分は生涯對支外交をやつて居ると云つて居る人。

◇

芳澤大使歸路露都に立寄る、露國外交官との會見、樂觀出來ない

全滿日本人代表けさ入京す 午後荒木陸相を訪問

【東京特電二十二日發】全滿日本人聯合會代表奉天上田統一、守田福松、庵谷忱、長春四戶友太郎、安東荒川六平、旅順柳中延太郎、大連仙波久良、田淺敏行、小澤太兵衞氏等は今朝上京、關東廳出張所に集合をなして本社東京支社に來訪し午後荒木陸相を訪問した、一行の目的は滿洲四頭政治の弊害を除くため最高統一機關設置の急務、滿洲新政權樹立の必要、この際滿蒙懸案の解決促進運動をなすことにあつて約三週間の間犬養首相その他關係各大臣を歷訪、また民間實業團等にも同樣希望を述べ協力を求める筈であると

東亞の謎（156）

國枝史郎 挿畫 伊藤順三

戰ひ（七）

五分經つて援兵が來なかつたらもう駄目だと次郎は思つた。勝目は無いと次郎は思つた。

「さあみんな、しつかりしてくれ テーブルを抑へろ！障碍物を押へろ！」

かう次郎は喚きながら、自分から懸命に力一杯に、扉を押への障碍物へ、ダニのやうに喰らひ付いて、扉をあけさせまいと押へ付けた。

みんなも一緒になつて押へ付けた。

しかし扉の開いた隙から、差し出されてゐる丸太ン棒は、だんだんその先を長く出し、其處から隙が廣くなり、其處から幾挺かの小銃の身が、室の方へ突き出された。

障害物を押へてゐる女達は、ヒツタリ床へ顏を伏せて、顫えながら喘ぎ、喘いだ。

併し遂々扉は開けられた。

テーブルや椅子がひつくり返り、一杯に開けられた戶口から、數十人の蒙古兵達が、雲のやうにムクムクと亂入して來た。

叫喚、悲鳴が室を充たし、おびえた女達は室の隅へ、ぼろのやうにかたまつて了つた。

兵を搔き分けて武村俊三が、ピストルを片手に握りながら、室の中央へ飛び出して來た。

彼は洋子と小夜子とを認めた。

「こいつだ！この女だ！この二人の女だ！他の奴等には用は無い！この二人の女を擔いで行け！」

かう蒙古語で彼は叫んだ。

併しその時戶外にあたつて、烈しい小銃の一齊射擊が起り、戶口に立つてゐた蒙古兵の中、五人あまりが仆れて死んだ。

すぐに續いて一齊射擊が起つた。

また五六人が床へ仆れた。

大變な混亂が湧き起つた。

也速該の部下達は逃げ出した。

彼等は口々に言つた。

「どうしたんだ！」

「敵か！」

「同志討ちぢやァないのか！」

「いや背後へ廻はられたんだ！」

武村もすつかり膽を奪はれた。何がどうしたのか解らなくなつた。

洋子も小夜子も見すてゝしまつた。一緒になつて逃げ出した。

「おのれ！」

其處へ飛びかゝつた次郎は、背後から武村へ組み付いた。

二三人の女が足へ取り付いた。

伯爵がピストルを片手に握り、戶口から室の中へ飛び込んで來た。

「武村か！」

「あッ、伯……」

「洋子、小夜子さん！次郎君も無事か！……武村、動くな、動くと擊つぞ！」

伯はピストルを突きつけた。

既に以前に武村俊三は、ピストルを手から叩き落されてゐた。

戶外では依然射擊の音が——伯が率ゐて來た十人の兵が、也速該方の兵の逃げ行く背後を、擊ちすくめてゐる銃の音が、やゝ緩漫に聞えてゐた。

武村はこの時縛られてゐた。

完全に捕虜にされたのである。

× × ×

ダットが向つてゐる散兵壕に於ける攻防戰もこの頃が、その最も烈しい時であつた。みんなの止めるのを振り切つて、ダットは先頭に立つてゐた。

と、敵の一人の兵が、そのダットの胸を狙つて傍女の肩ごしに射擊した。

ダットはうしろざまに地に仆れた。

高麗門驛と派出所に今曉匪賊來襲す

藤内巡査と支那人驛員殉職 安奉線の不安募る

二十二日午前三時半頃約百名の匪賊は高麗門驛と同地警官派出所を同時に襲撃し藤内巡査及び支那驛員は即死殉職した、折柄貨物列車が驛構内に入つたため賊は應援隊と思ひ湯山城方面に逃走した、急報により鳳凰城より軍隊警官隊直に急行したが鷄冠山、安東よりも救援隊出動し手分けして目下追跡中【鳳凰城電話】

助役驛員守備兵三名で應戰中貨物列車來る

賊は救援隊と誤認して逃亡

高麗門驛襲撃に關し廿二日午前五時廿五分滿鐵本社に入つた情報によれば二十二日午前三時四十分ごろ約九十名の匪賊高麗門驛及び警官派出所を同時に襲撃し此ため中國人驛手呂芳林(三四)氏は驛舍内で、巡査藤内晃二(二四)氏は派出所入口で何れも即死を遂げた、匪賊襲撃の方法は秋木莊驛の襲撃方法と大體同樣で匪賊は先づ驛舍の東西北の窓を破壞し三方から射擊したので勤務中の是枝助役、今村驛務方は守備兵一名と共に驛舍から應戰中午前三時四十四分第二一一列車が進入して來た、この時匪賊は同列車を應援隊の來たものと考へたゝめか漸次東方山中に退却し當時守備兵二名驛舍から百米を距る兵舍で休養中であつたが銃擊によつて直に應援驛員と協力交戰した、なほ急報により四時四十五分鳳凰城よりモーターカーにて警官六名、五時四十七分湯山城より第八〇三列車にて兵四名、警官七名、五時二十七分鷄冠山より第二三四列車にて兵二十名、、五時四十七分安東より第八〇一列車にて兵二十名、警官二十名が來援した、なほ社宅その他には被害はなかつた

右肺部を射たれて藤内巡査殉職

派出所を守つて奮戰

二十一日夜湯山城驛方面不穩の兆ありしを以て移動警官隊後藤部長は部下二十名の警官を率ゐて湯山城驛を警戒中のところ午前三時三十分多數の匪賊は高麗門驛を二隊に分れ襲撃し來り一隊は驛舍、構内より亂射亂擊を加へたゝめに是枝助役及驛員守備兵一名は直に應戰したが一隊は派出所前方より事務室及び寢室に向け攻擊し來るとにその一部は表門を破壞し舍内に入り警備中の江上巡査、王巡捕及び休憩中の勝吉、藤内の兩巡査は直に應戰し賊と警官隊との間に猛烈な銃火が交へられ遂に藤内巡査は右肺部に盲貫銃創を受け即死した、驅つけた應援隊は一面山及び高麗城址方面に向つて追擊中である、安東署からは高山署長以下三十名守備隊より〇〇名應援に急行した――寫眞は殉職した藤内巡査が大連で愛甥を抱いて寫した記念撮影と絶筆の署名――【安東電話】

本月一日拜命し元氣よく出發

秋木莊驛事件後に高麗門派出所勤務

殉職した晃二氏の令兄藤内晃氏は廿二日午前九時發列車にて急遽現場に赴いたが同氏留守宅市内聖德街二丁目六九を訪へば親友沙河口署勤務瀬口部長等が驅つけ晃二氏夫人と共に後始末に忙殺されてゐるが晃二氏について瀬口部長は語る

晃二君は除隊後一年以上も遊んでゐたので今度警察官に採用された際にも僕の家に飛んで來ていよいよ採用されて奧に行くことになつたが官服を着た以上どうせ死ぬるのであるが一發や二發彈丸が當つたところで心臟に當らぬ限り突貫し決して恥の名を辱めるやうなことはしないと非常に元氣のよいことを言つてゐたが本人は既に出發する時から死と言ふことを豫感してゐたのではないかと思はれるが昨日勤務先きから來たハガキにも大いに奮鬪してゐるから安心してくれとありこれが最後の手紙となつたがまさかこんな不幸があらうとは夢にも思はなかつた

なほ藤内巡査は大分縣出身本月一日巡査を拜命し十八日奉天署勤務となり偶々安奉線秋木莊襲擊事件のため應援に向ひ高麗門驛派出所勤務となつたばかりで前途ある同氏の殉職は非常に惜まれてゐる

鐵道部長弔電

村上鐵道部長は取敢ず藤内氏の殉職に對し關東廳警務局長、安東警察署長宛左の弔電を發した

高麗門驛において不幸匪賊の襲擊に遭ひ交戰中殉職せられたる警察官藤内氏に對し謹みて御悔み申上ぐ

けさ入營兵の華々しい出發

祝ひの旗でばいかる丸埋まる

入營を祝ふ旗のぼりに船腹をすつかり飾られた廿二日出帆の定期船ばいかる丸は全く入營兵を送る御用船のやうな華々しさだ、岸壁では町内旗や會社の旗がはためき「萬歲、左樣なら、元氣で行つて來い」の掛聲が勇ましい、その新しい希望に燃えて内地各隊に向つた入營兵は野砲五聯隊浦本正男君、山砲三聯隊宮崎新三君、重砲大隊堂下繁君、歩兵九聯隊西川嘉一君、歩兵廿聯隊木持武雄君、歩兵三十一聯隊吉田武夫君、四十二聯隊西山伴作君、同四十五聯隊福留義則君、同二十三聯隊鈴木秀夫君、同四十五聯隊山下秀光君、同廿聯隊加藤喜一君、同六十五聯隊桑本要君である【寫眞はばいかる丸の出帆】

守備兵を增員

安奉線の全驛に

十八日の秋木莊驛匪賊襲擊事件突發後滿鐵では軍部に對し安奉線の警備兵增員方を請願してゐたが今回いよいよ安奉線全部の驛に守備兵を增員することに決定、なほ安奉線の旅客列車に警乘する警官も從來より二倍に增員することゝなつた

急を守備兵に告げ賊彈に斃れた呂驛手

悲壯な殉職をとげた高麗門驛々手呂芳林氏の當時の模樣につき滿鐵に入つた情報によれば同氏は當時宿直として列車監視の任務にあつたさき突如匪賊の來襲を認めたのでこの由を守備兵に報告に赴き共に匪賊に對し交戰せんとした瞬間無殘にも賊彈に斃れたのである、なほ氏の殉職に對し滿鐵にては最高の表彰を行ふと同時に取敢ず鐵道部長より弔電を發することゝなつた

次驛の湯山城嚴戒

附近の部落を脅迫中

廿一日午後九時廿分滿山城驛(高麗門驛の次驛)々長から滿鐵々道部に達した情報によれば同驛から北方一里十五町の地にある村落の村長方に約百五十名の匪賊押入り、銃器二十挺を明日までに湯山城より持參せよと脅迫して來た、その後の情報は不明で湯山城では非常警戒中である

巡察中交戰し守備兵重傷

昨夕廟子溝附近にて

四平街驛守備尾中尉の麾下に在る森軍曹は二十一日午後六時兵士二名を連れて警備のため四平街驛をモーターカーにて出發し滿井驛に向つたが途中廟子溝にさしかゝつた際鐵道線路の西側から射擊を受けたので森軍曹は直に停車させてこれに應戰同六時五十分賊を擊退したがこの射擊に遭つて宮城縣名取郡下增田村獨立守備隊第五大隊第四中隊歩兵二等兵庄司準作氏は右上膊部に貫通銃創腹部に盲貫銃創を受け卒倒した、直に四平街滿鐵病院に入院したが生命危篤【開原電話】

祭日と日曜日も爲替貯金取扱ひ

取扱ひ時間は局前に揭示

來る二十五日は大正天皇祭、二十七日は日曜日で郵便局の爲替貯金事務は休日になつてゐるが歲末多忙の際であり特に一般公衆の利便のためそれぞれ爲替貯金事務を取扱ふ事になつた、また遼陽では二十八日から三十一日まで奉天局、同青葉町郵便所および鐵嶺局では三十日、三十一日の兩日に瓦房店局では三十一日に何れも一時間宛延伸して五時まで同事務の取扱ひをなす事に決定したがなほ右休日に取扱ふ各局所の時間は區々になつてゐるもそれは各その局所前に揭示する事になつてゐる、因に二十五日爲替貯金を取扱ふ局所は南山麓、薩摩町、信濃町、伏見町、東公園町、常盤町、沙河口聖德街、沙河口臺町、三十里堡瓦房店、松樹、蓋平、營口、海城、千山、鞍山、同製鐵所構内遼陽本町、蘇家屯、撫順、同千金寨、奉天、同驛前、同十間房同青葉町、鐵嶺、同北五條、昌圖、四平街、范家屯、長春、本溪湖、鷄冠山、安東縣、同六道溝

以上三十六局所で廿七日爲替貯金を取扱ふ局所は左記各局所を除きたる管内全局所である

新臺子、鷄冠山、安東縣旭橋、關東廳構內、廿井子、城子疃、熊岳城、新城子

總會決議の花代値下

認可を申請

大連三業組合の花代値下問題は久しく料理屋、待合側と藝屋側との意見衝突から紛糾を續けつゝあつたが、妥協成立せず組合ではさきに總會に於て決議した約束花十本四圓をもつて當局の認可を受けて實施するより外なしと、田中組合長は廿一日大連署保安係に出頭し經過報告書と共に認可の申請を行つたがこゝまでもつれた花代問題

吊慰、慰問金を市民から募集

國難の犧牲者に贈る

今回の滿洲事變に出動して北滿の各地に轉戰し不幸名譽の戰歿を遂げた帝國軍人ならびに警察官に對しわが大連市民は衷心より敬弔の意を表すると共に戰歿者遺族および傷病者に對し滿腔の同情を寄せてゐるが今回宇島民政署長、小川市長、村井商工會議所會頭は大連滿日兩新聞社の後援を得左記方法を以て全市民から弔慰および慰問金を募集しこれ等國難の犧牲者に對し哀弔慰藉の意を表する事にした

一、弔慰及慰問金額は一人金十錢以上とす
二、募集締切期日は昭和七年一月三十一日とす
三、弔慰及慰問金受付は大連市役所總務課
四、弔慰及慰問金の分配方法は發起人に御一任を乞ふ

英米煙草大罷業

裏面に共產分子策動

【上海二十一日發】當地英米煙草會社職工七千名は今朝十時半から
一、工人の言論出版集會罷業の自由
二、米及家賃、病院手當の支給
その他八項の要求を提出し突如大罷業を開始した、罷業團は現在の工會否認のスローガンの下に百名の直接行動團を煙草工會本部に押掛けしめて強制引繼を行ふと共に武裝糾察隊を組織して罷業團本部を固め不穩の空氣を漲らせてゐるが彼等の背後には十九日成立と共に全國工會の改組を宣言した共產系總工會が動いてゐるので成行重大視されてゐる

興隆店附近の村落掠奪放火

二十一日午後六時頃北寧線興隆店南方大荒地村に約五百名の賊團襲擊し來り村落を片つ端から掠奪を行ひ支那家屋二十備を燒拂ひ逃走した、なほこれら賊團は附近の土匪を合して猛威を振ひ掠奪を擅にしてゐるので同地居住民は續々避難中である【奉天電話】

西園寺公の容體惡化

衰弱し來る

【興津廿二日發】一進一退してゐる西園寺公の病狀は廿一日夜來又復病勢つのり二十二日午前一時四十分名古屋より勝沼博士の來診を求めたが發熱卅八度內外咳嗽頗るはげしく肺炎併發の惧れあるに加へて衰弱の色濃厚に現はれて來たので坐漁莊內は憂色にとざされてゐる

青島から慰問使

三團體の代表

廿二日入港奉天丸で青島の佛教團青島佛教聯合婦人會並に青島婦人會の三團體より慰問使が選ばれ來連した一行は青島新報社久慈寬一氏を團長に細川禪英氏陣川信隆氏それに婦人慰問使として山口富子小澤タツ、竹田津米子さんが來連した、一行を代表し久慈氏は語る

今度は軍隊慰問も大きな目的ですがむしろ警察官の慰問を主にしたいと思つてゐます、青島市民からも熱誠の献金をなして軍隊へ千五百圓、警察官へ千二百圓持つて來ました、今日すぐ奉天に行き本庄軍司令官に敬意を表し引返して關東廳を訪ひ奉天丸で歸青します、私達と別働隊として天津へも軍隊警察官に千五百圓程慰問使が持つて行きました、第二遣外艦隊へも二千三百五十圓程送りました

伊國首相の令弟慘死

自動車操縱中

【ミラン二十一日發】イタリー首相ムツソリニー氏の令弟アルナルド・ムツソリニー氏は本日自動車操縱中過つて慘死を遂げた、同氏はファシスト系新聞の主筆として令名高かつた人である

天氣豫報 二十三日 北東の風 曇但し驟雲模樣あり

各地溫度 廿二日午前十一時 廿一日最低

	廿二日午前十一時	廿一日最低
大連	零下三、二	零下六、五
旅順	同 三、〇	同 六、八
營口	同 七、八	同 一五、五
奉天	同 八、九	同 一八、八
長春	同 一一、九	同 一八、四

けふの小洋相場(九時) 金百圓は一七四圓四〇錢

匪賊に襲はれた高麗門驛

父是枝定助儀長崎縣愛野村字和川病院に於て病氣療養中の處養生不相叶本月十七日午後六時四十五分死去致候間此段謹告仕候

追て葬儀は來二十三日はるびん丸にて遺骨到着に付二十五日午後二時途中行列を廢し東本願寺に於て相營可申候

昭和六年十二月二十三日

男 是枝 勇 隆 定

親戚總代 是枝 留 平

友人總代 古澤 丈 一
高橋 利 作
池田 龍 吉
伊藤 三 雄
西山 幹 治

武門血笑記 (4)

下村悦夫作　工藤義正挿畫

謎の行方不明(二)

「おい白井氏、白井、もういゝ加減に起きたらどうだ」

今迄、腕組をしながら、凝つと考へ込んでゐたらしい一人の若侍が、ふと顔を上げて、側の壁の上にごろりと寝たまゝ、ぐうぐう鼾をかいてゐる友達に呼びかけた。

部屋の隅には先程まで、飲んでゐたらしい空の銚子が三四本轉がつてゐる。四邊はもうしんと寝靜まつて、床下で鳴いてゐる蟋蟀の聲が淋しく聞えるばかりである。

「うむちやないよ、もう眞夜中だぜ、起き給へ」

と、若侍は、いぎたなく寝こけてゐる友達の肩に手をかけて二三度揺すつた。

「あゝ、失禮、失禮……」

と、眼を擦りながら、大きな欠伸をして、むつくりと起き上つた、――白井と呼ばれた若侍

「ほう、陣野氏か、俺はもう、貴公と露木氏が入れ代つたのかと思つてゐた。」

「笑談ぢやない、露木が未だ歸らないので、先程から一人で心配してゐるんだ」

陣野と呼ばれた男は、友達の呑氣な樣子に、呆れながらも、むつつりと苦りきつた……。その才走つた端正な目鼻立と、きちんとした身體は、見るからに大身の子弟らしい。彼は池田の藩中で、大目附八百石、陣野長門の次男で、同姓織馬と呼ぶ若侍であつた。またその前に座つて、子供のやうな間の延びた廣い顔と、鬢の薄い、眼の細い、童顔に薄笑ひを浮べてゐる、ずんぐりむつくりとした小男は、同じく同家中で、御徒士組頭百五十石白井作之進の三男、同姓作樂と云ふ若者であつた。いづれも未だ二十の上を餘り出てゐないらしい年格好。

この二人は、同門の露木源之丞と一緒に今宵、劍道の師である藩の指南番磯田太郎右衛門から、不思議な命令――各自一人づゝで、兇賊黒兵衛の獄門首を竊して來るようにと云ひつかつて、籤引の結果、眞先に行つた源之丞の歸りを、刑場に近い城下外れの茶屋の離れ座敷で、待ち合せてゐるのであつた。

「露木氏が行つてから、もうかれこれ一刻餘りにもなるが、此處から鴬ケ原の刑場までは、たかだか八九町、いくら繪を描くに暇をとつたところで、半刻位の間には歸つて來る筈だ。何か變つた事でもなければよいが――と、先刻から一人で心配してゐるのだ」

織馬が氣を變へて話し出すと、作樂も眞顔になつて

「少し變だな」

「若しかするぞ、我々を出し抜いて、師匠のところへ、眞直に歸つたのではないかとも考へて見たのだが――」

織馬は、何故か、こう言つて、顔の筋肉を一寸緊張させた。

と、それをヂロリと見た作樂は口の邊へ薄笑ひを浮べて

「いや、そんな事はあるまい」

「何故?」

「はつはつ、いくらお梨花どのに會ひたくつても、露木氏はそんな男でない」

「うむ……」

すつぱりと、心の中の何ものかを云ひ當てられたらしく、織馬が、うろたへ氣味に口を閉ぢると、作樂は笑ひながら刀を引き寄せて

「兎に角、仕置場まで行つて見よう。二人で行つて見れば、何もかも解ることだ」

と、立上りかけた。

キネマと演藝

中央映畫館 開館興行 愈よ明日から

西廣場に新築された中央映畫館は既報の如く廿二日午後一時から開館式を行つたが愈々豫定通り廿三日から開館記念興行として松竹蒲田作品、城田二郎入社第一回作品「青春圖繪」及び市川右太衛門主演「さんど笠」を上映し、松竹映畫封切場として活躍することゝなつた

舞踊生京城へ

かれて傷兵金募集の目的で舞踊行脚に出かける計畫を發表した大連舞踊研究所代表生四名が助教師吉井正子孃引率のもとに廿二日出帆の平安丸で京城に向つた。日程は廿五日朝鮮軍司令部訪問、並に衛戍病院に傷病兵を慰問し夜七時より鐵道倶樂部に鐵道従事員を慰問、廿六日、廿七日は夜七時より京城日報及本社支局の後援のもとに一般公開、廿八日は學生のために特別公演をなし廿九日夜出發陸路歸連の豫定で選拔された代表生は稻垣滿壽子孃、小野京子孃、倉橋泰子孃、大政喜代子孃の四名で櫛木氏は先發して準備を整へて待つてゐる

河合映畫支社の開設記念映畫會

收入全部を同情週間に寄附　各館解説者贊助出演

峰島一郎氏を支社長として今回開設された河合映畫大連支社では河合映畫の忌憚なき批評を求めて共に同情週間慈善興行大連支社開設披露映畫會に河合映畫時代劇、西山稔監督、小金井勝主演「村上喜劍」八巻及び現代劇、吉村操監督琴糸路主演「女工」十巻を提供し大連プレイガイド主催にて來る廿八日午後六時半から協和會館にて支社開設第一回映畫會を催し、會場費その他一切の費用は支社にて負擔し當夜の收入全部を揚げて社會事業協會の同情週間に寄附することになつたが、この美擧に贊同し大日活石川天涯、帝國館瀬田流嘯・常盤座白藤六郎、中央映畫館式純三の四氏が解説することになり近來にない解説者觀演會となり人氣を呼ぶものと期待されてゐる

素人から映畫界に飛込み帝國館から南座を經て新館建設へと惡戰苦鬪した南信次氏の努力の結晶である中央映畫館が新裝成つてけふ開館式を擧げた▲この日を迎へるまで波瀾萬疊の松竹映畫爭奪戰を乘り切つた氏の手腕が今後に期待される▲出來上つた館は内地の新館を思はすやうな感じで特に道頓堀の朝日座の俤を偲ばすものが多分にある▲また朱塗のシートは先斗町の一現客お斷りのカフエーふくやを思はす好みで支那の映畫館らしいとの惡口を聞くが感じが赤いネオンより上乘の好みである▲また大日活館主が「内地の一流都市の盛場につくつたやうな映畫館だ」と批評してゐるが、これが最もうがつた批評だらう▲また映寫距離が近くてシンプレックスを使つてゐるから映畫効果も期待されていゝだらう

浪人の群 金子洋文の原作により渡邊邦男監督が日活に復歸した河部五郎の第一回作品として製作したもので相手女優も亦新花形菊田爵美子である【帝國館來週上映】

本社特選 新棋戰（其八）

平手香交　五段▲齋藤銀次郎
先番　四段△樋口善雄

【圖は三一玉迄の局面】

▲齋藤氏「持駒」金銀銀歩

△樋口氏「持駒」角金銀歩歩歩

△七五角　▲七七銀
△六九玉　▲六八銀打
△同　飛　▲同　銀
△同　玉　▲三八飛
△六七玉　▲六六角成
△同　角

【土居八段講評】△樋口君は攻防兩用の意味を以て七五角と打つたのは良策である▲此時齋藤君は此形では自陣の防戰は困難故七七銀と打込み攻勢に努めたのは已むを得ない。

【萩原六段解説】先手の七五角は攻守兩樣の好手で次に四一桂成の先を窺ふものである。後手の七七銀は自玉の受けも利かないから決戰に出たものである。若し敵同銀なら同歩成、同玉、七五角成で優勢となる。先手の六九玉も同銀と取ると七五角を取られる順になるから至當な手である後手六八銀と逼り次に三八飛と打つて強襲したのは中々六ケ敷い變化を含んで頗である先手六七玉は五八に合駒しては敵に七七金や又七五歩成の順があつて六ケ敷いから六七玉は輕い手である。後手の六六角は敵同玉なら六八飛成を窺ふものでこれは敵に同角と取らし敵七五角の利き（四一桂成の順）を消す意味に角を犠牲にしたのである。